令和４年度版

市川市の教育

人をつなぐ　未来へつなぐ　市川の教育

市川市教育委員会

いつも新しい流れがある　いちかわ

目　　次

市川市の概要…… 2

第１章　教育行財政…… 4

第１節　教育委員会…… 5
第２節　組織及び事務分掌……11
第３節　教育財政……15
第４節　第３期市川市教育振興基本計画……16

第２章　学校教育……18

第１節　令和４年度学校教育の指導方針……19
1　幼稚園　編
2　小・中学校、義務教育学校　編
3　特別支援学校　編
第２節　コミュニティ・スクール……33

第３章　生涯学習……35

第１節　生涯学習の推進……36
第２節　家庭・学校・地域の連携推進……38
第３節　学校施設の開放……42
第４節　青少年の健全育成の推進……43
第５節　文化財の保護と活用……50

第４章　教育機関……51

1　市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）……52
2　市川市教育センター……54
3　市川市立図書館……57
4　市川市公民館（社会教育課）……65
5　市川考古博物館……68
6　市川歴史博物館……70
7　市川自然博物館……72
8　市川市少年自然の家……74

資料編…… 76

Ⅰ　学校施設関係……77
Ⅱ　学校教育関係……94
Ⅲ　生涯学習関係……109

市川市の概要

１　市川市の沿革

市川の地域に人々が住みはじめたのは今から約２万年前にさかのぼるといわれる。当時の市川は海と陸地に二分され、前者は現在の市川、八幡、中山、行徳、南行徳など市の南側の地域や低地が相当し、後者は貝塚などの遺跡の多い北側の台地すなわち須和田、国分、中国分、北国分、曽谷、大柏等が相当する。縄文時代、人々は海辺に近い場所に住居を構え、海と陸地からそれぞれの幸を食糧として生活し、相当大きな集落を形成していたと思われる。これら祖先の歴史は、堀之内、曽谷及び、姥山といった大貝塚をはじめ数多くの貝塚やその他の遺跡により知ることができる。

７世紀、大化の改新の後、今の国府台周辺に下総国を統治するために国府が設けられ、その後聖武天皇の代（天平14年）に国分寺が全国60余カ国に建立されることになり、下総国の国分寺は現在の市川市国分に建てられ、国分、国府台周辺を中心に非常に発展したものと考えられる。

江戸時代になると、幕府直轄の所領は寺社領等に属したが、廃藩置県後の明治６年、千葉県所管となった。同22年市制、町村制の施行により、市川町、八幡町、中山村及び国分村に分立したが、大正13年に至り中山村が町制を施き、昭和９年11月３日、市川町、八幡町、中山町及び国分村とが合併して市制を施行した。千葉県では、千葉市、銚子市についで３番目の市、当時の人口は約４万だった。更に昭和24年11月３日大柏村、昭和30年３月31日行徳町、昭和31年10月１日南行徳町をそれぞれ合併した。

また、京葉工業地帯開発の一環として昭和32年以降51年１月まで公有水面埋立事業を行い、二俣新町、高谷新町、千鳥町、高浜町、塩浜、東浜、新浜３丁目がそれぞれ市域に編入され、現在（令和３年10月１日）市の面積56.39K㎡、人口495,970人となっている。

２　位　置・地　勢

市川市は、千葉県の北西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市、鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区及び葛飾区と相対している。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、東西方向はJR総武線をはじめとする７路線の鉄道や、京葉道路、国道14号などの都市計画道路が整備されている。

市川市の地形は、北部から南部に向かってやや傾斜しているが概して平坦であり、北部は標高20m程度の台地、南部は標高２m程度の低地帯を形成している。台地は粘質壌土、低地は砂質壌土である。

北部には梨栽培などの農業が盛んで屋敷林などの緑も多く、また私立の幼稚園、小・中・高等学校、短大、大学なども多い文教・住宅都市である。南部は東京湾に臨み、京葉工業地帯の一翼を担っているとともに、新しい都会的な住宅都市が形成されている。

3 世帯数および人口の推移（各年10月1日現在）

年	世帯数	人口 総数	人口 男	人口 女	人口増加率（%）	人口密度（1Km²当たり）	世帯人員（1世帯当たり）	性比（女=100）	備考
大正 9 年	3,217	17,921	9,717	8,204	－	781	5.57	118.4	国勢調査(第1回)
14	6,003	29,528	15,351	14,177	64.8	1,287	4.92	108.0	〃 (第2回)
昭和 5 年	7,467	37,789	19,067	18,722	28.0	1,647	5.06	101.8	国勢調査(第3回)
9	8,347	40,869	19,376	21,493	8.2	1,781	4.90	90.2	推計人口(市制施行11.3)
10	8,895	46,711	22,637	24,074	14.3	2,035	5.25	94.0	国勢調査(第4回)
15	11,706	58,060	28,324	29,736	24.3	2,530	4.96	95.3	〃 (第5回)
19	15,691	69,711	32,073	37,638	20.1	3,038	4.44	85.2	人口調査(2.22)
20	16,876	74,522	35,828	38,694	6.9	3,247	4.42	92.6	〃 (11. 1)
21	18,483	84,855	40,790	44,065	13.9	3,697	4.59	92.6	〃 (4.26)
22	20,275	92,719	44,874	47,845	9.3	4,040	4.57	93.8	臨時国勢調査(第6回)
23	20,710	95,091	46,422	48,669	2.6	4,143	4.59	95.4	常住人口調査(8. 1)
24 ※	21,738	100,252	48,974	51,278	5.4	3,039	4.61	95.5	大柏村合併(11. 1)
25	22,199	102,506	49,675	52,831	2.2	3,107	4.62	94.0	国勢調査(第7回)
30 ※	26,851	126,959	62,095	64,864	23.9	2,772	4.73	95.7	行徳町合併(3.31)
30	27,559	129,700	63,598	66,102	2.2	2,832	4.71	96.2	国勢調査(第8回)
31 ※	29,917	141,528	69,280	72,248	9.1	2,752	4.73	95.9	南行徳町合併(10. 1)
32	31,314	145,175	71,349	73,826	2.6	2,823	4.64	96.6	
33	32,476	148,352	73,104	75,248	2.2	2,885	4.57	97.2	
34	34,048	151,299	74,514	76,785	2.0	2,942	4.44	97.0	
35	37,647	157,301	78,220	79,081	4.0	3,059	4.18	98.9	国勢調査(第9回)
36	40,150	160,195	79,745	80,450	1.8	3,115	3.99	99.1	
37	45,356	168,914	84,311	84,603	5.4	3,285	3.72	99.7	
38	49,515	179,233	89,376	89,857	6.1	3,381	3.62	99.5	
39	54,650	191,256	95,990	95,266	6.7	3,608	3.50	100.8	
40	56,549	207,988	105,731	102,257	8.7	3,923	3.68	103.4	国勢調査(第10回)
41	58,770	215,338	109,887	105,451	3.5	4,062	3.66	104.2	
42	63,935	228,446	116,381	112,065	6.1	4,276	3.57	103.9	
43	67,487	238,580	121,457	117,123	4.4	4,448	3.54	103.7	
44	70,765	247,700	126,073	121,627	3.8	4,608	3.50	103.7	
45	77,618	261,055	132,787	128,268	5.4	4,856	3.36	103.5	国勢調査(第11回)
46	81,610	271,094	137,894	133,200	3.8	5,043	3.32	103.5	
47	86,024	280,603	142,723	137,880	3.5	5,219	3.26	103.5	
48	90,647	290,484	147,726	142,758	3.5	5,350	3.20	103.5	
49	95,174	301,952	153,680	148,272	3.9	5,464	3.17	103.6	
50	102,678	319,291	163,179	156,112	5.7	5,730	3.11	104.5	国勢調査(第12回)
51	106,991	331,019	169,113	161,906	3.7	5,917	3.09	104.5	
52	110,451	341,387	174,176	167,211	3.1	6,103	3.09	104.2	
53	114,004	351,618	179,252	172,366	3.0	6,280	3.08	104.0	
54	115,869	356,925	181,893	175,032	1.5	6,380	3.08	103.9	
55	127,775	364,244	184,969	179,275	2.1	6,469	2.85	103.2	国勢調査(第13回)
56	131,026	372,478	189,287	183,191	2.3	6,615	2.84	103.3	
57	134,635	380,126	193,095	187,031	2.1	6,751	2.82	103.2	
58 年	138,166	386,823	196,722	190,101	1.8	6,870	2.80	103.5	
59	141,452	393,748	200,458	193,290	1.8	6,993	2.78	103.7	
60	141,437	397,822	202,454	195,368	1.0	7,055	2.81	103.6	国勢調査(第14回)
61	146,710	407,548	208,131	199,417	2.4	7,227	2.78	104.4	
62	151,294	415,073	212,333	202,740	1.8	7,361	2.74	104.7	
63	157,169	422,577	216,671	205,906	1.8	7,494	2.69	105.2	
平成 元 年	162,022	428,709	220,337	208,372	1.5	7,603	2.65	105.7	
2	169,836	436,596	225,177	211,419	1.8	7,742	2.57	106.5	国勢調査(第15回)
3	175,340	443,378	228,909	214,469	1.6	7,863	2.53	106.7	
4	179,741	446,897	231,204	215,693	0.8	7,925	2.49	107.2	
5	181,576	447,165	231,457	215,708	0.1	7,930	2.46	107.3	
6	181,568	444,468	230,034	214,434	△ 0.6	7,882	2.45	107.3	
7	181,213	440,555	227,873	212,682	△ 0.9	7,813	2.43	107.1	国勢調査(第16回)
8	183,081	440,627	228,077	212,550	0.0	7,814	2.41	107.3	
9	185,683	441,893	228,870	213,023	0.3	7,836	2.38	107.4	
10	189,031	444,575	230,184	214,391	0.6	7,884	2.35	107.4	
11	191,932	447,335	231,551	215,784	0.6	7,933	2.33	107.3	
12	193,582	448,642	232,473	216,169	0.3	7,956	2.32	107.5	国勢調査(第17回)
13	198,203	454,858	235,556	219,302	1.4	8,066	2.29	107.4	
14	203,210	461,603	238,796	222,807	1.5	8,186	2.27	107.2	
15	205,024	463,103	239,192	223,911	0.3	8,213	2.26	106.8	
16	206,963	464,873	240,050	224,823	0.4	8,244	2.25	106.8	
17	208,168	466,608	239,659	226,949	0.4	8,275	2.24	105.6	国勢調査(第18回)
18	210,519	468,113	240,213	227,900	0.3	8,301	2.22	105.4	
19	213,411	470,074	241,009	229,065	0.4	8,336	2.20	105.2	
20	216,655	473,064	242,477	230,587	0.6	8,389	2.18	105.2	
21	219,184	475,751	243,836	231,915	0.6	8,437	2.17	105.1	
22	220,582	473,919	239,222	234,697	△ 0.4	8,404	2.15	101.9	国勢調査(第19回)
23	220,782	471,694	237,515	234,179	△ 0.5	8,365	2.14	101.4	
24	219,645	469,224	235,766	233,458	△ 0.5	8,321	2.14	101.0	
25	220,993	469,523	235,810	233,713	0.1	8,326	2.12	100.9	
26	224,124	472,338	237,092	235,246	0.6	8,376	2.11	100.8	
27	228,845	481,732	242,652	239,080	2.0	8,543	2.11	101.5	国勢調査(第20回)
28	233,002	486,017	244,608	241,409	0.9	8,619	2.09	101.3	
29	236,824	489,696	246,370	243,326	0.8	8,684	2.07	101.3	
30	240,224	492,752	247,632	245,120	0.6	8,738	2.05	101.0	
令和 元 年	243,880	495,592	248,718	246,874	0.6	8,789	2.03	100.7	
2	242,970	496,676	251,351	245,325	0.2	8,808	2.04	102.5	国勢調査(第21回)
3	**244,539**	**495,970**	**250,701**	**245,269**	**△ 0.1**	**8,795**	**2.03**	**102.2**	

資料 総務部総務課

注：大正9年から昭和5年までの国勢調査人口は、昭和9年11月3日市制施行時の市域（市川町、八幡町、中山町、国分村）をもって合算したものを示したもの。

年次欄の※印は町村合併。 国勢調査年以外は、国勢調査の結果にその後の毎月の出生、死亡、転入、転出を加減したもの。

人口増加率は、前行の人口と比較した数値。

令和4年版にて、令和2年10月1日現在の数値を令和2年国勢調査結果に差し替えた。

第１章　教育行財政

第１節　教育委員会・・・

第１章　教育行財政

第１節　教育委員会

１　教育委員会の沿革

昭和

27.11　教育委員会法（昭和23年法律第170号）により市川市教育委員会設置
　事務局　市役所内（旧庁舎）庶務課、学校教育課、図書館、公民館をもって発足
　　委員長　　内田安右衛門
　　教育長　　島津新治
　　公選委員　山越亮治、広瀬安之、岩間義定、大原留吉
　　議会選出委員　内田安右衛門

28. 4　平田小学校開校
　　4　事務局八幡小学校内へ移転
　　第１回市川市美術展覧会開催（公民館）
　　11　委員長　岩間義定就任

29.11　委員長　山越亮治就任

30. 4　事務局　八幡２丁目地先へ移転
　　7　市川市公民館運営審議会設置
　　9　行徳小学校校舎落成
　　11　委員長　広瀬安之就任

31. 1　第１回成人式式典挙行（和洋女子大）
　　4　鬼高小学校開校
　　4　稲荷木小学校開校
　　5　委員長　大原留吉就任
　　10　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31.6.30 公布）により教育委員が任命制となる
　　委員長・越田穣、教育長・島津新治

32. 4　菅野小学校開校
　　4　養護学校（中学部）開校
　　5　八幡宮境内に図書館新築・移転、同時に事務局図書館内に移転

33. 7　市内各小学校のプール設置始まる（中山小、冨貴島小、菅野小）

34. 4　第六中学校開校
　　7　市庁舎落成、同時に事務局移転
　　10　委員長　伊東教順就任

35. 1　市民会館開館
　　4　市川市文化財審議会設置
　　6　機構改革により指導課設置

36. 4　機構改革により教育研究所設置

37. 4　第七中学校開校
　　6　市川市スポーツ振興審議会設置

38. 4　機構改革により保健体育課設置
　　4　言語治療教室はじまる（八幡小）
　　7　委員長　神納木与志雄就任

39. 6　市立図書館行徳分館開館
　　7　教育次長制実施

40. 4　情緒障害学級はじまる（国府台小）
　　7　教育長　富田英夫就任

41. 4　留守家庭児童会(現保育クラブ)発足（市川小内）
　　10　委員長　吉田真就任

42. 4　第八中学校開校
　　4　鶴指小学校開校
　　7　新舞子に市立海の家開設

43. 4　機構改革により青少年補導センター設置
　　4　宮久保小学校開校
　　5　市立図書館新館開館
　　12　共同調理場方式による学校給食開始(鶴指小、第八中)

44. 3　市川市青少年補導センター運営協議会設置
　　4　機構改革により青少年課設置
　　7　市川市奨学生選考委員会設置

45. 4　二俣小学校開校

46. 4　二俣、信篤、稲荷木各幼稚園開園
　　10　機構改革により施設課設置

47. 4　中国分、曽谷各小学校開校
　　4　養護学校（高等部）開校
　　4　難聴学級はじまる（稲荷木小）
　　11　市立博物館開館
　　11　市立市川博物館協議会設置
　　12　委員長　渋谷寿光就任

48. 4　大町小学校開校
　　4　養護学校（小学部）開校

4　鬼越・鬼高青少年館開館
9　国府台公園に市民体育館開館、同時に名称をスポーツセンターに改称

49. 4　北方小学校開校
4　宮田青少年館開館
4　市川市心身障害児就学指導委員会設置
9　大洲幼稚園開園
10　機構改革により企画調査課設置
10　機構改革により市民会館が市長部局総務部へ移管される
11　西部公民館設置、同時に従来の公民館を中央公民館に改称

50. 4　市川青少年館開館
4　新浜小学校開校
4　委員長　甲田義男就任
4　南行徳幼稚園開園
4　平田青少年館開館
4　市川市幼児教育振興審議会設置
7　百合台幼稚園開園
9　移動図書館みどり号開設
10　宮久保青少年館開館

51. 11　湊青少年館開館
12　長野県菅平に菅平高原いちかわ村（林間施設）開設

52. 2　委員長　富山新一就任
4　百合台小学校開校
市立新舞子海の家閉鎖

53. 1　社会教育会館開館
4　機構改革により部制実施（学校教育部、社会教育部設置）　社会体育課及び文化課設置、企画調査課廃止
4　富美浜小学校開校
4　新浜幼稚園開園
7　信篤小学校、原木 2-16-1 へ移転
9　行徳公民館開館（行徳支所に併設）
10　鬼高公民館開館

54. 2　信篤図書館開館（信篤小跡地）
2　市立図書館行徳分館を行徳図書館に改称
2　八幡青少年館開館
2　富美浜青少年館開館
4　柏井、大洲、幸小学校開校
4　下貝塚、高谷、福栄中学校開校
4　東部公民館開館
5　機構改革により管理部設置（二部制より三部制へ）
8　教育長　山口重直就任

55. 3　柏井公民館開館
4　機構改革により管理部内に企画調整課設置
4　大野、南新浜、新井小学校開校
4　東国分中学校開校
4　本行徳公民館開館
4　行徳図書館・移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
4　行徳、新井青少年館開館
4　コミュニティスクール　モデル校５校指定

56. 4　稲越、塩焼、塩浜小学校開校
4　市川市立小・中学校通学区域審議会設置
5　委員長　前川峯雄就任
5　市川駅南公民館開館（総合福祉センターに併設、現 こども発達センター）
9　大野公民館開館（大柏出張所に併設）
10　市立行徳図書館新館開館（行徳支所に併設）
10　委員長　富山新一就任
10　稲越、塩焼小学校に市民図書室開設

57. 4　信篤公民館開館
4　大洲、塩浜中学校開校
4　大洲中学校内に夜間学級開設
4　塩焼幼稚園開園
4　本八幡、奉免青少年館開館
7　市民プール開設
7　少年自然の家開所
10　委員長　伊藤一郎就任
11　歴史博物館開館（従来の博物館が考古博物館となる）

58. 4　大和田小学校開校
5　曽谷公民館開館
10　市立南行徳図書館開館
11　教育研究所を市川市教育センターに改称、南八幡５丁目へ移転

60. 4　福栄小学校開校
4　南行徳中学校開校
4　香取青少年館開館
5　信篤市民体育館開館
10　福栄小学校に市民図書室開設

61. 4　妙典中学校開校
10　文化振興基金設置

62. 4　自然博物館開館準備室開設
5　若宮公民館開館
6　市民プールに太陽熱利用プールハウス設置
10　平田図書室開館
12　青少年教育国際交流基金設置

63. 4　妙典中学校新校舎落成

平成

元. 3　大畑・教育基金設置
4　行徳図書館移転（行徳支所隣）
4　全校コミュニティスクール実施
5　幸公民館開館
7　中央図書館等建設準備室開設
10　市川自然博物館開館（市川市動植物園内）
10　塩浜市民体育館開館

2. 4　スクールコンサルタント室開設
5　南行徳公民館開館
7　機構改革により文化スポーツ部設置（三部制より四部制へ）文化課、社会体育課を移管

3. 4　大柏小学校に市民図書室開設
5　市川公民館開館

5. 4　教育長　最首輝夫就任

6. 4　委員長　多田實就任
4　青少年補導センターを少年センターに改称
7　機構改革により社会教育部を生涯学習部に、社会教育課を生涯学習課に改称
管理部中央図書館等建設準備室を中央図書館等開設準備室に改称し生涯学習部へ、図書館を文化スポーツ部から生涯学習部へ移管
11　市川市生涯学習センター「メディアパーク市川」開館
中央図書館、映像文化センター、教育センター、中央こども館（児童福祉部）を設置
機構改革により中央図書館等開設準備室を廃止し、映像文化センターを設置
市立図書館を廃止し、中央図書館を設置

7. 3　教育委員会事務局が東大和田1-2-10に移転
4　委員長　長谷川千代就任
4　ライフカウンセラー配置
10　「市川市余裕教室活用基本方針」策定
10　公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施

8. 8　「市川市生涯学習振興指針」策定

9. 1　宮久保青少年館閉館
4　ナーチャリングコミュニティ事業の実施
4　通学区域の弾力化開始
9　今後の地方教育行政の在り方について、創意と活力のある学校づくり事業開始

10. 4　委員長　緑谷一雄就任
6　国府台小学校に「国府台デイサービスセンター」開所

11. 4　妙典小学校開校
4　機構改革により文化スポーツ部廃止（四部制より三部制へ）管理部を教育総務部に、庶務課を教育総務課に、学校施設課を教育施設課に、学務課を義務教育課に、生涯学習課を生涯学習振興課に、社会体育課をスポーツ振興課に改称
文化スポーツ部を生涯学習部に統合
文化課を市長部局に移管
少年センターを生涯学習部青少年課の所管へ
4　「市川市生涯学習推進計画」策定

12. 3　石井秋蔵教育振興基金設置
4　機構改革により就学支援課を新設
4　学校評議員制度
4　給食民間委託化

13. 1　「市川市教育計画」策定
4　機構改革により七中建設担当室、公民館センターを新設
8　教育長　西垣惇吉就任

14. 4　機構改革により七中建設担当室を七中建設担当とし教育施設課の所管へ
青少年課を廃止し、地域教育課を新設
少年センター、少年自然の家を地域教育課に所管替え
4　委員長　大熊徹就任
7　市川市教育改革懇話会設置
9　教育委員会事務局が市役所本庁舎へ移転

15. 4　全国高校総体推進担当室を設置
コミュニティサポートシステムの発足

16. 4　組織改正により全国高校総体推進担当室を全国高校総体推進担当としスポーツ振興課の所管へ
6　中央公民館菅野分館開館
9　ＰＦＩにより七中建替工事完了
12　「市川市子どもの読書活動推進計画」策定

17. 4　委員長　五十嵐芙美子就任
妙典小学校区改編実施
中国分スポーツ広場開設
ヘルシースクール事業本格開始
8　全国高等学校総合体育大会　女子ハンドボール競技大会開催

18. 4　市川の学校教育３ヵ年計画策定・実施
総合型地域スポーツクラブ設立（国府台）

19. 4　組織改正によりスポーツ振興課、映像文化センターを市長部局に移管
青少年育成課を市長部局から移管

4　新井小学校区改編実施
7　少年自然の家をリニューアル

20. 4　組織改正により企画調整課と教育総務課を統合し、教育政策課へ
4　特別支援学校小学部を稲越小学校内に移転するとともに、校名を須和田の丘支援学校（本校）、須和田の丘支援学校稲越校舎（分校）に改称
4　市川市教育振興会議を設置
7　幼児教育振興プログラム策定

21. 3　市川市教育振興基本計画策定
4　教育長　田中庸惠就任
4　委員長　宇田川進就任
4　市川駅南口図書館開館

22. 8　第三次生涯学習推進計画策定

23. 4　市川市立図書館中期計画策定
4　市川市教育振興審議会を設置
4　菅野公民館開館

24. 4　市川市特別支援教育推進計画策定

25. 4　組織改正により地域教育課を廃止し生涯学習振興課と青少年育成課へ事務移管
公民館センターを社会教育課に名称変更し、生涯学習振興課より一部事務移管
自然学習課を新設し自然博物館と少年自然の家を所管
少年センターが青少年育成課所管へ

26. 1　市川市教育振興基本計画（第２期）策定
2　教育行政運営方針の策定開始
3　菅平高原いちかわ村閉村
3　稲荷木幼稚園廃園
4　「校内塾・まなびくらぶ」開始
5　教育委員会が南八幡仮設庁舎へ移転
11　中央図書館開館二十周年記念行事開催

27. 3　市川市立図書館運営基本計画策定
4　教育長　田中庸惠就任（新教育委員会制度）
4　市長が市川市総合教育会議を設置
4　塩浜小・中学校において小中一貫教育を開始
4　第四次生涯学習推進計画策定
4　市川市立幼稚園は特定教育・保育施設となる
4　組織改正により教育委員会が三部体制（教育総務部・学校教育部・生涯学習部）から一室二部体制（教育政策室・生涯学習部・学校教育部）へ
自然学習課を廃止し、少年自然の家を青少年育成課所管へ、自然博物館を考古博物館所管へ
4　市川市教育支援委員会を設置
10　市長が「市川市教育振興大綱」を策定

28. 4　二俣幼稚園休園
4　塩浜小・中学校が小中一貫校の義務教育学校「塩浜学園」として開校
5　市川版コミュニティ・スクール（学校運営協議会・地域学校協働本部）導入開始

29. 4　組織改正により教育政策室を廃止し、一室二部体制（教育政策室・生涯学習部・学校教育部）から二部体制（生涯学習部・学校教育部）へ
教育政策課が教育政策室から生涯学習部の所管へ
少年センターが青少年育成課から教育センターの所管へ
就学支援課が生涯学習部から学校教育部の所管へ
学校地域連携推進課を新設し、青少年育成課及び社会教育課より一部事務移管
4　市川市特別支援教育推進計画（第２期）策定

30. 3　二俣幼稚園廃園
4　組織改正により教育政策課を廃止し、教育総務課と教育施設課へ事務移管
4　市立幼稚園に関する事務について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の７の規定に基づき、市長の補助機関である職員に委任
9　塩浜学園校舎等新築工事着工

31. 1　市長が「市川市教育振興大綱」を策定
1　市川市教育振興基本計画（第３期）策定
4　学校運営協議会　全校設置

令和
2. 4　組織改正により学校環境調整課を新設し、教育施設課より一部事務移管
8　塩浜学園校舎等供用開始
9　院内学級建替工事完了、供用開始

3. 1　市川市学校環境基本計画策定
3　地域学校協働本部　全中学校区・義務教育学校区設置
4　小中一貫型小学校・中学校「（通称）東国分爽風学園」開始
11　学習交流施設　市本開館
11　中央公民館閉館

4. 4　小中一貫型小学校・中学校「（通称）信篤三つ葉学園」開始
9　須和田の丘支援学校特別教室棟供用開始
5. 1　市長が「市川市教育振興大綱」を策定

２　教育委員会

教育委員会は、教育長及び５人の教育委員をもって組織している合議制の執行機関である。
教育長及び教育委員は、市長が市議会の同意を得て任命し、任期は教育長は３年、教育委員は４年である。

（１）教育委員会の会議（令和３年度）

① 開催状況

定例会　１２回

② 議決内訳　（件）

	件　　名	議案等			議決結果等		
		議案	報告	計	原案可決	審議未了	計
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	8	0	8	8	0	8
2	教育委員会の規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	9	3	12	9	0	9
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	0	0	0	0	0	0
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	21	9	30	21	0	21
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	2	1	3	2	0	2
6	法第２７条（幼保連携型認定子ども園に関する意見聴取）及び第２９条（教育委員会の意見聴取）に規定する意見の申出に関すること	2	15	17	2	0	2
7	教育機関の敷地を設定し、又は変更すること	1	1	2	1	0	1
8	教育機関の施設の整備計画を定めること	0	0	0	0	0	0
9	教育功労者を表彰すること	1	0	1	1	0	1
10	学校の通学区域の決定に関すること	2	0	2	2	0	2
11	教科書の採択に関すること	4	0	4	4	0	4
12	重要文化財の指定及び解除に関すること	0	0	0	0	0	0
13	教育委員会がその当事者である争訟に関すること	0	0	0	0	0	0
14	職員団体との重要な交渉に関すること	0	0	0	0	0	0
15	請願及び陳情に関すること	0	0	0	0	0	0
16	上記に掲げるもののほか、重要かつ異例に属するもの	3	0	3	3	0	3
	合　　計	53	29	82	53	0	53

（２）教育長及び教育委員

教育長　田中　庸惠

教育委員　平田　史郎

教育委員　島田　由紀子

教育委員　大高　究

教育委員　山元　幸惠

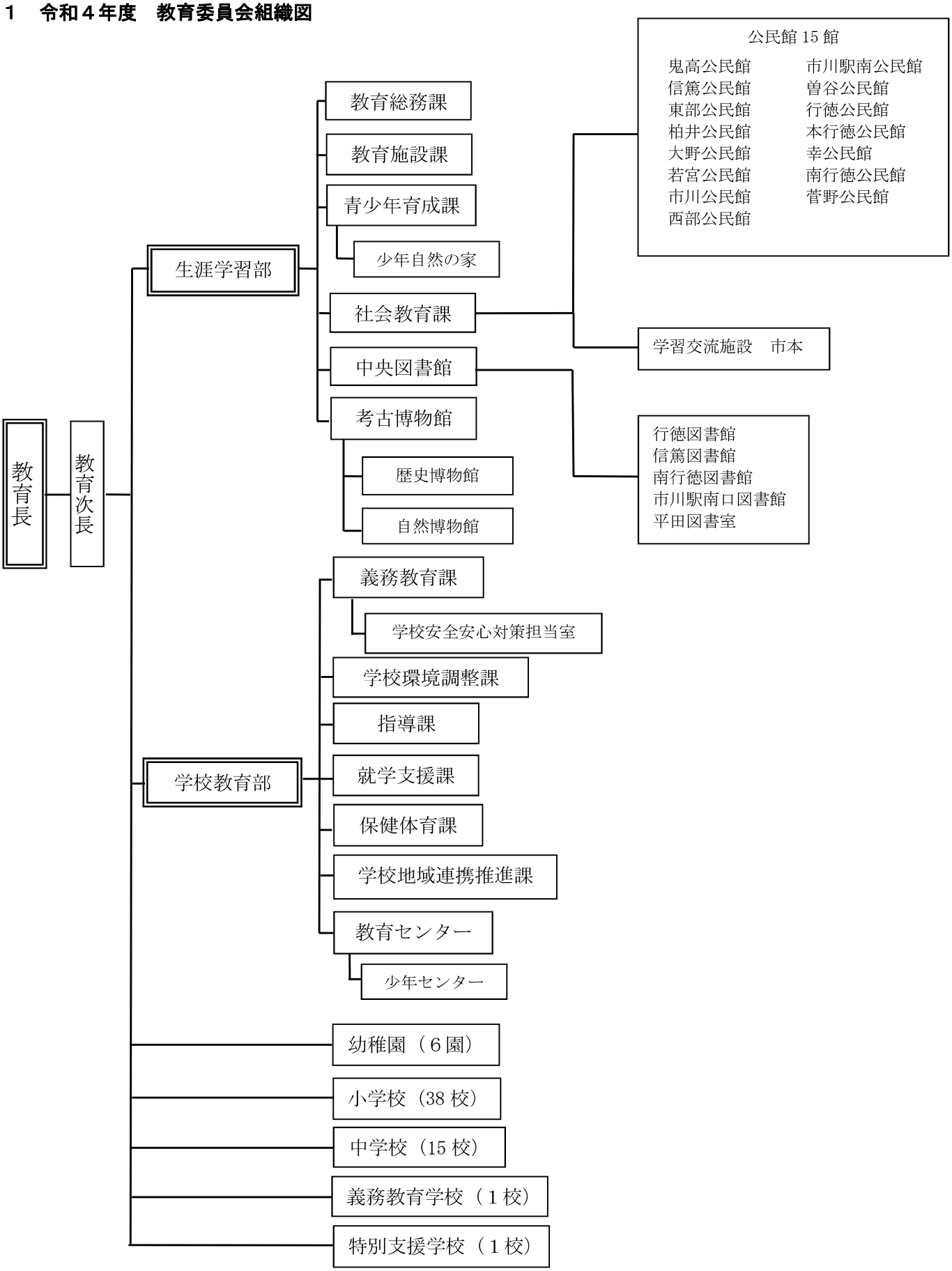
教育委員　広瀬　由紀

令和４年 10 月１日現在

職　名	氏　名	任　期	主な経歴等
教 育 長	田 中　庸 惠	令和　３年　４月　１日～ 令和　６年　３月 31 日	
教育委員	平 田　史 郎	平成 31 年　４月　１日～ 令和　５年　３月 31 日	学校法人平田学園理事長 国府台女子学院学院長
教育委員	島 田　由紀子	令和　２年　４月　１日～ 令和　６年　３月 31 日	國學院大學教授
教育委員	大 高　究	令和　３年　７月　１日～ 令和　７年　６月 30 日	医師
教育委員	山 元　幸 惠	令和　４年　４月　１日～ 令和　８年　３月 31 日	元市川市立中学校長
教育委員	広 瀬　由 紀	令和　３年　８月　２日～ 令和　７年　８月　１日	共立女子大学准教授 保護者

第２節　組織及び事務分掌

１　令和４年度　教育委員会組織図



２　事務分掌

【生涯学習部】

《教育総務課》
（１）　課の庶務に関すること。
（２）　教育振興基本計画に関すること。
（３）　委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関すること。
（４）　教育行政の総合的な連絡調整に関すること。
（５）　委員会の組織及び定員の管理に関すること。
（６）　委員会の予算の調整に関すること。
（７）　委員会の会議に関すること。
（８）　委員会の公印の統括的管理に関すること。
（９）　儀式及び表彰に関すること。
(10)　教育長の秘書に関すること。
(11)　教育行政に関する相談窓口に関すること。
(12)　職員の任免及び給与に関すること。
(13)　職員の服務に関すること。
(14)　職員の研修及び福利厚生に関すること。
(15)　教育振興審議会に関すること。
(16)　幼児教育振興審議会に関すること。
(17)　生涯学習部の所管に係る事務事業の連絡調整に関すること。
(18)　部内他の課の所掌に属しない事項に関すること。
(19)　他の部の所掌に属しない事項に関すること。

《教育施設課》
（１）　課の庶務に関すること。
（２）　教育機関の整備計画に関すること。
（３）　教育機関の火災保険に関すること。
（４）　学校の用に供する財産の管理に関すること。

《青少年育成課》
（１）　課の庶務に関すること。
（２）　青少年健全育成事業の計画及び実施に関すること。
（３）　青少年団体に関すること。
（４）　放課後児童健全育成事業に関すること。
（５）　少年自然の家に関すること。
（６）　自然体験活動に関すること。

〈少年自然の家〉
（１）　少年自然の家の管理に関すること。
（２）　事業の企画、調整及び実施に関すること。
（３）　生活指導に関すること。
（４）　学習活動の指導及び援助に関すること。

《社会教育課》
（１）　課の庶務に関すること。
（２）　社会教育の振興に関すること。
（３）　社会教育関係団体に関すること。
（４）　社会教育委員に関すること。
（５）　公民館に関すること。
（６）　公民館運営審議会に関すること。
（７）　学習交流施設　市本に関すること。
（８）　社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）に基づく事業等の実施に関すること。
（９）　生涯学習施策の調整に関すること。
(10)　生涯学習推進の企画立案に関すること。

〈公民館〉
（１）　社会教育法に基づく事業等の実施に関すること。

〈学習交流施設　市本〉
（１）学習交流施設　市本の管理に関すること。
（２）事業の企画、調整及び実施に関すること。

《中央図書館》
（１）　館の庶務に関すること。
（２）　図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）に基づく事業の実施に関すること。
（３）　行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館並びに市川駅南口図書館及び平田図書室に関すること。
（４）　生涯学習センターの施設等の管理に関すること。

〈行徳図書館、信篤図書館及び南行徳図書館〉
（１）　図書館法に基づく事業の実施に関すること。

《考古博物館》
（１）　館の庶務に関すること。
（２）　博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）に基づく事業の実施に関すること。
（３）　博物館協議会に関すること。
（４）　博物館関係団体に関すること。
（５）　歴史博物館に関すること。
（６）　自然博物館に関すること。
（７）　文化財保護に関すること。
（８）　文化財の管理に関すること。
（９）　文化財保護審議会に関すること。

〈歴史博物館及び自然博物館〉
（１）　博物館法に基づく事業の実施に関すること。

【学校教育部】

《義務教育課》
（1）　課の庶務に関すること。
（2）　学校（幼稚園を除く。）の設置及び廃止に関すること。
（3）　児童及び生徒の入学、転学等に関すること。
（4）　学級編制に関すること。
（5）　通学区域の設定及び変更に関すること。
（6）　小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会に関すること。
（7）　教職員の任免、給与及び服務に関すること。
（8）　教職員の福利厚生に関すること。
（9）　学校運営の指導及び助言又は支援に関すること。
(10)　学校の防災及び情報管理に関すること。
(11)　学校の安全施策に関すること。
(12)　いじめ問題対策連絡協議会に関すること。
(13)　いじめ防止対策委員会に関すること。
(14)　学校長・園長会に関すること。
(15)　学校教育部の所管に係る事務事業の連絡調整に関すること。
(16)　部内他の課の所掌に属しない事項に関すること。

〈学校安全安心対策担当室〉
（1）　担当室の庶務に関すること。
（2）　学校運営の指導及び助言又は支援に関すること。
（3）　学校の防災及び情報管理に関すること。
（4）　学校の安全施策に関すること。
（5）　いじめ問題対策連絡協議会に関すること。
（6）　いじめ防止対策委員会に関すること。
（7）　学校長・園長会に関すること。

《学校環境調整課》
（1）　課の庶務に関すること。
（2）　学校教育行政に関する重要施策の企画立案及び総合調整に関すること。
（3）　学校施設整備計画の策定及び総合調整に関すること。

《指導課》
（1）　課の庶務に関すること。
（2）　学校における教育内容の充実のための調査及び企画に関すること。
（3）　学校における教育課程、学習指導、進路指導等に関すること。
（4）　教職員に対する学校教育についての専門的事項の指導に関すること。
（5）　教職員研修の計画立案に関すること。
（6）　学習支援事業に関すること。
（7）　青少年教育国際交流基金の管理（運用を除く。）及び処分に関すること。
（8）　教育センターとの連絡に関すること。
（9）　幼稚園園児、児童及び生徒の安全政策に関すること。

《就学支援課》
（1）　課の庶務に関すること。
（2）　学校の予算に関すること。
（3）　学校の備品の管理に関すること。
（4）　要保護及び準要保護児童生徒援助費に関すること。
（5）　特別支援教育就学奨励費に関すること。
（6）　奨学資金に関すること。
（7）　奨学生選考委員会に関すること。
（8）　大畑忞教育基金の管理（運用を除く。）及び処分に関すること。
（9）　入学準備金の貸付けに関すること。
(10)　私立学校等に係る補助に関すること。

《保健体育課》
（1）　課の庶務に関すること。
（2）　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
（3）　学校の保健に関すること。
（4）　学校給食（学校給食の実施に必要な施設の整備計画を除く。）に関すること。
（5）　交通安全指導に関すること。
（6）　学校体育に関すること。
（7）　学校体育団体に関すること。
（8）　独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。

《学校地域連携推進課》
（1）　課の庶務に関すること。
（2）　学校と地域の連携推進に関すること。
（3）　こどもの居場所作り事業に関すること。
（4）　コミュニティクラブ事業に関すること。
（5）　青少年相談員に関すること。
（6）　家庭教育に関すること。
（7）　学校施設の開放に関すること。

《教育センター》
（1）　センターの庶務に関すること。
（2）　教育課程の調査研究に関すること。
（3）　教育内容及び方法の調査研究に関すること。
（4）　教育におけるデジタル化の推進に関すること。
（5）　教育実践に参考となる資料の収集及び作成に関すること。
（6）　教職員の研修に関すること。

（7）　教育相談に関すること。
（8）　適応指導教室に関すること。
（9）　教育支援委員会に関すること。
(10)　少年センターに関すること。

〈少年センター〉
（1）　補導員事業に関すること。
（2）　少年相談事業に関すること。
（3）　児童生徒の防犯対策に関すること。
（4）　少年センター運営協議会に関すること。

【総務部】

《人事課》
（1）　市立幼稚園の教職員の任免に関すること。

《人事課　人材育成担当室》
（1）　幼稚園の教職員の研修（幼稚園の園児に対する指導等に係る研修を除く。）に関すること。

《職員課》
（1）　幼稚園の教職員の給与に関すること。

【財政部】

《管財課》
（1）　幼稚園の火災保険に関すること。

【こども政策部】

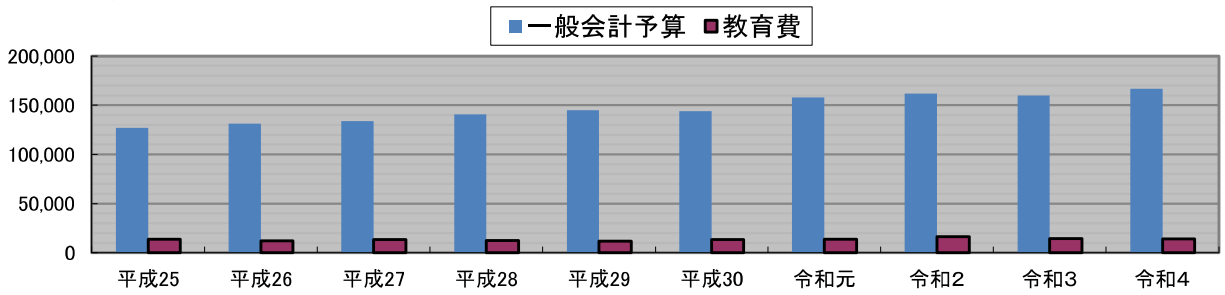
《こども施設入園課》
（1）　市立幼稚園の入園及び退園に関すること。
（2）　市立幼稚園保育料の徴収に関すること。
（3）　市立幼稚園保育料の滞納処分に関すること。

《こども施設運営課》
（1）　市立幼稚園に勤務する職員の服務に関すること。
（2）　市立幼稚園の施設及び備品の管理に関すること。
（3）　市立幼稚園の運営に関すること。
（4）　市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
（5）　市立幼稚園の園児の保健管理及び交通安全に関すること。
（6）　市立幼稚園の環境衛生に関すること。

《こども施設計画課》
（1）　市立幼稚園の整備等に関すること。

第３節　教育財政

1 市川市一般会計予算と教育費※の推移

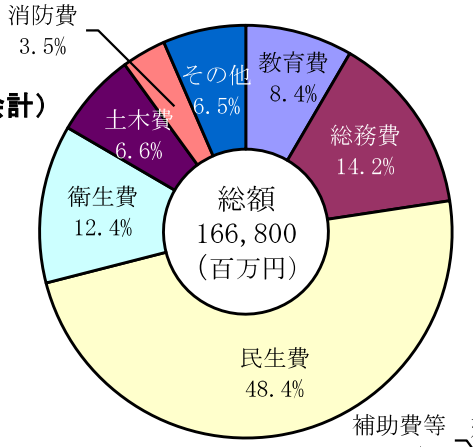


（単位：百万円）

年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和２	令和３	令和４
一般会計予算	127, 100	131, 100	134, 000	140, 800	144, 800	144, 000	157, 800	162, 000	159, 800	166, 800
教育費	13, 916	12, 000	13, 455	12, 447	11, 890	13, 427	13, 922	16, 403	14, 364	14, 010
割合（%）	10. 9	9. 2	10. 0	8. 8	8. 2	9. 3	8. 8	10. 1	9. 0	8. 4

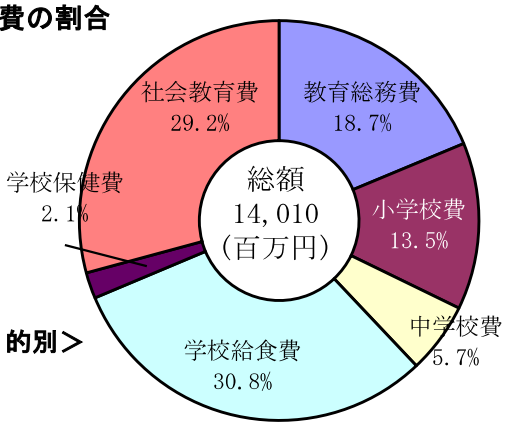
2 令和４年度当初予算（一般会計）

	構成比（%）	予算額（百万円）
教育費	8. 4	14, 010
総務費	14. 2	23, 648
民生費	48. 4	80, 693
衛生費	12. 4	20, 682
土木費	6. 6	11, 036
消防費	3. 5	5, 788
その他	6. 5	10, 943
計	100. 0	166, 800

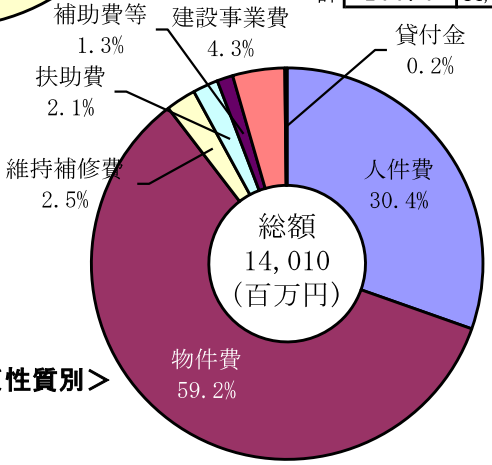


	構成比（%）	予算額（千円）
人件費	30. 4	4, 252, 413
物件費	59. 2	8, 290, 220
維持補修費	2. 5	359, 148
扶助費	2. 1	301, 613
補助費等	1. 3	178, 617
建設事業費	4. 3	602, 689
貸付金	0. 2	25, 300
計	100. 0	14, 010, 000

3 教育費の割合



＜目的別＞



＜性質別＞

4 教育費の単位（市民１人、１世帯、児童生徒園児１人、１学級）あたり比較表

【令和４年５月１日現在】

当初予算額（千円）		市民１人あたり（円）		１世帯あたり（円）		児童・生徒・園児あたり（円）		１学級あたり（円）	
総額	14, 010, 000		28, 475		55, 434				
教育総務費	2, 621, 167		5, 327		10, 371				
小学校費	1, 890, 434		3, 842		7, 480		86, 152		2, 458, 302
中学校費	803, 637		1, 633		3, 180		84, 808		2, 617, 710
学校給食費	4, 306, 570		8, 753		17, 040		137, 069		4, 002, 388
学校保健費	293, 247		596		1, 160				
社会教育費	4, 094, 945		8, 323		16, 203				
（参考）									
幼稚園費	492, 458		1, 001		1, 949		1, 487, 789		25, 918, 842
		男	248, 761	世帯数	252, 734	児童数（小）	21, 943	学級数（小）	769
		女	243, 250			生徒数（中）	9, 476	学級数（中）	307
		総数	492, 011			園児数（幼）	331	学級数（幼）	19
						総数	31, 750	総数	1, 095

※幼稚園費は平成30年４月から民生費へ移行した。

第４節　第３期市川市教育振興基本計画（計画期間：令和元年度～令和５年度）

市川市の教育の目指すべき姿とその実現に向けた今後５年間で取り組む施策を明らかにし、市川市における教育政策を実効あるものとするため、第３期市川市教育振興基本計画を策定しました。計画期間は、令和元年度から令和５年度までの５年間です。

１　市川の教育の基本理念

人をつなぐ　未来へつなぐ　市川の教育

人は、多様な人と関わりながら生活をしています。また、自然との共存や、文化的な利益の享受は、人として生きていくために欠かせないものとなっています。このようなさまざまな関わりを通して、自らの思考や感情、興味や関心を育み、心を豊かなものとしています。

技術革新の進展、長寿化に伴い、産業構造や私たちの生活が大きく変わっていく未来社会においては、誰もが自分の個性を伸ばし、可能性を広げ、夢の実現につなげる先見的な教育と、生涯を通じて主体的に学び続けることのできる教育環境の実現が不可欠です。
さらに、教育によって、人と自然、人と社会との成り立ちを学び、自らの生き方について考え、実践する力を養うなど豊かな人間性を育んでいくことがさらに重要になります。

これらのことから教育委員会では、市川市第３期市川市教育振興基本計画においても、「人をつなぐ未来へつなぐ　市川の教育」を基本理念として、それぞれのライフステージにおける学びや家庭・学校・地域の連携・協働を大切にした「つなぐ教育」を進めます。

教育は、家庭・学校・地域が連携・協働し、それぞれの役割を果たすことで成し得ることです。

「人をつなぐ教育」とは、家庭・学校・地域が一体となって、子どもを育てていく教育です。「教育の共有化」という理念の下、コミュニティ・スクールなど地域とともにある学校づくりと地域教育力を組織化し、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりをさらに推進します。

「未来へつなぐ教育」とは、学びと育ちの連続性を大事にして、個性の伸長を図り、子どもの夢や思いを実現する教育です。「教育の接続化」という理念の下、中学校ブロック単位※における指導の一貫化の取組や特別支援教育の視点を生かした指導・支援を通して、進学・進級時のなめらかな接続と一人一人のニーズに応じた適切な段差の設定を図り、長期的な視野に立った教育、そして、自分らしく輝くための学びを実現します。

※ 中学校ブロック単位…市川市では、中学校とその学区内にある小学校でグループを作り、地域の小・中学校が連携している。
　15 のブロックがある。

２　計画の基本的な考え方

基本理念をふまえて、今後５年間を通して実施するさまざまな施策の実現にあたっては、次の３つの考え方を重視します。

Ⅰ　多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます

Ⅱ　一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進めます

Ⅲ　学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進めます

３　方針と目標

基本理念と基本的な考え方をふまえ、家庭・学校・地域の連携・協働の下、計画期間を通して市川市が取り組む教育政策の方針を３つに整理し、目標を掲げて取組を進めています。

家庭・学校・地域の連携・協働	【方針１】 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる	《目標１》自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育む
		《目標２》主体的に学びに向かい、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する
		《目標３》健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する
		《目標４》社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成する
		《目標５》家庭・学校・地域の教育力の向上に向けた取組を推進する
	【方針２】 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する	《目標６》人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する
		《目標７》特別支援教育など、教育的ニーズに応じた支援を充実させる
		《目標８》グローバルに活躍する人材を育成する
		《目標９》新しい地域づくりを推進する
	【方針３】 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する	《目標１０》持続可能な学校指導体制を整備する
		《目標１１》教育の未来環境を整備する
		《目標１２》安全・安心で充実した教育環境を実現する

第２章　学校教育

第１節　令和４年度学校教育の指導方針……19
１　幼稚園 編……19
（１）　確かな学力をはぐくむ
（２）　豊かな心をはぐくむ
（３）　健やかな体をはぐくむ
（４）　信頼される開かれた園をつくる
２　小・中学校、義務教育学校 編……23
（１）　確かな学力をはぐくむ
（２）　豊かな心をはぐくむ
（３）　健やかな体をはぐくむ
（４）　信頼される開かれた学校をつくる
３　特別支援学校 編……29
（１）　確かな学力をはぐくむ
（２）　豊かな心をはぐくむ
（３）　健やかな体をはぐくむ
（４）　信頼される開かれた学校をつくる

第２節　コミュニティ・スクール……33

第２章　学校教育

第１節　令和４年度学校教育の指導方針

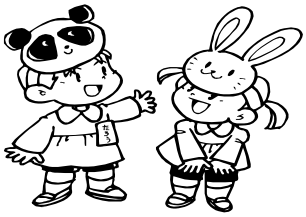
この「学校教育の指導方針」は、「幼稚園教育要領（平成 29 年告示）」「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）」「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）」、「特別支援学校学習指導要領」（平成 29 年公示）、「学校評価ガイドライン（平成 28 年改訂）」、千葉県教育委員会の「第３期千葉県教育振興基本計画」及び市川市教育委員会の「第３期市川市教育振興基本計画」に基づき、本市における学校教育の現状と課題を踏まえて作成したものである。

市川市の教育理念である「人をつなぐ　未来へつなぐ　市川の教育」の主旨と以下に示す「指導方針」の内容を十分に踏まえた上で、創意と活力にあふれた教育活動を推進してもらいたい。そして、現在の激しく変わる社会の中で子どもたちが自ら課題を解決し、人生を切り拓くことが出来るよう、「生きる力」をしっかりと身に付けさせてほしい。

１　幼稚園　編

（１）　確かな学力をはぐくむ

○　基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

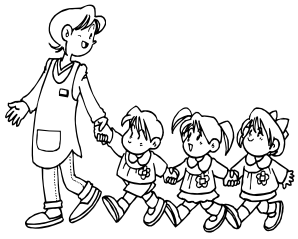


・幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を踏まえ、園や地域の特色、幼児の生活習慣等の実態を把握し、心身の発達の特性に応じた具体的なねらいと内容を明確にした指導計画を作成し、保育の充実を図る。

・身近な環境に自ら主体的に関わり、発見を楽しんだり考えたりする充実感、満足感を味わえるように、環境構成の工夫改善を図り、適切な指導と多様な援助を行う。

・遊びを通した総合的な指導を中心として、身近な事象に対する興味や関心を引き出し生活の中で感じたことや考えたことを表現する活動を充実させることにより、豊かな感性や思考力、判断力、表現力等の基礎を培う。

・自分の思いを言葉で伝えるとともに、相手の話を理解しようとする態度を育て、伝え合いができるように言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。



・さまざまな活動を通して試行錯誤しながら、あきらめずにやり遂げることの達成感や見通しをもって、自分の力で行うことの充実感を味わえるようにし、幼児の自立心を育てる。読み聞かせやお話会を実施したりするなど、読書活動を推進する。

・幼児の道徳性の育成に資する体験活動を推進したり、教材「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」の活用を図ったりすることで、豊かな感性を育むとともに、基本的な生活習慣の基礎を培う。

○　教職員の資質能力の向上を図る

・幼児一人一人に適切な評価を行い、一人一人のよさや可能性を把握し、指導方法の工夫改善に努め、個に応じた指導の一層の充実及び指導と評価の一体化を図る。

・園の教育ビジョンを明確にし、組織マネジメントの手法を生かしながら、全教職員が自己研鑽に努める環境をつくる。

・保育実践研究を積極的に行うとともに、保育園や小学校等の研究会に参加し、指導力の向上を図る。

・幼児の発達や子育てに関する相談に応じるなど、地域の幼児教育のセンターとしての役割を果たせるよう、教職員の指導力の向上を図る。

・幼児教育相談員等を活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた保育の充実を図るとともに、園全体で取り組む特別支援教育の体制の整備を推進する。

（２）　豊かな心をはぐくむ

○　人との関わりを重視した教育活動を進める

・園の教育活動全体を通して、挨拶の意味を理解させ、いつでも進んで挨拶する子どもを育成する。

・発達段階に応じた交流体験、自然体験等を推進する。

・異年齢集団による遊びや学び合いを進めたり、保育園や小学校との交流を計画的に進めたりする中で、人と関わる力を育成する。

・小学校への円滑な接続ができるよう、幼児と児童との交流の機会を設定し、小学校生活に期待をもたせる。

○　道徳心を培う取組を進める

・全教師が協力して道徳教育を推進し、集団での生活を通して規範意識の芽生えを培う。

・飼育活動や栽培活動を通じて、命を大切にする教育活動を推進する。

○　幼児期からの読書教育を進める

・リズムや響きなど言葉の美しさを体感できる読み聞かせを実施し、美しい日本語が使える子どもを育成する。

・発達段階に応じた読み聞かせやお話会等を通して、絵本や物語への興味を持たせる。

・幼児が本に親しめるよう、環境づくりを工夫するとともに、地域と連携し、読書教育の充実を図る。

・幼・小・中の連携した読み聞かせ等の読書活動を推進する。

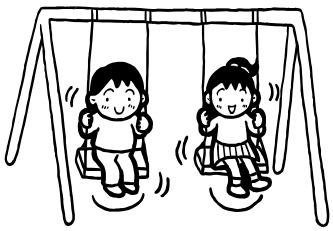
○　教育相談活動の充実を図る

・園内教育相談体制の充実を図り、保護者との連携により心身の健やかな発達を促す。

・必要に応じて家庭や地域社会、関係機関及び関係する学校等と連携して対応を行う。

（３）　健やかな体をはぐくむ

○　包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）



・園庭での遊びの時間を確保し、全身を使ったり、身近な物や遊具を使ったりするさまざまな遊びを体験することによって、体を動かす楽しさを味わえるようにする。

・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、排泄などの生活に必要な習慣が身に付くようにするとともに、自立心を育てる。

・家庭との連携を図り、幼児が栄養のバランスのとれた食事や早寝、早起きなどの望ましい生活のリズムを身に付けられるよう適切な援助をする。

・食への興味や関心を持ち、食べることを楽しみながら、進んで食べようとする気持ちを育てる。

・家庭との連携により、望ましい食習慣の形成を図る。

・ハンカチ、ティッシュを正しく使うことや、手洗い、うがいの習慣が身に付くようにすることで、自分の健康に関心を持ち、清潔を保つことの大切さを理解させ、病気の予防などができるようにする。

○　安全な生活を実践する能力と態度を育成する

・遊びを通して、危険な場所や物事などを理解させ、状況に応じて安全な行動が取れるようにする。

（４）　信頼される開かれた園をつくる

○　園評価による園運営の改善を図る

・評価の精度を高める工夫や、年２回の自己評価の実施による形成的な園評価によって、継続的で主体的な園運営の改善に努める。

・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。

・「保護者アンケート」を積極的に実施する。

・自己評価の結果の公表、園参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。

・園長は、園関係者評価を次年度の園経営に生かすとともに、教職員への周知を図り、次年度の教職員の実践の改善に役立てる。

・園評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、園の取組についての理解・協力を求め、家庭・園・地域の連携協力の推進を図り、園を活性化させる。

・園評価により「いちかわ学校三ヵ年計画」の検証を図り、各園におけるカリキュラム・マネジメントの確立を図る。

・「幼稚園における学校評価ガイドライン」に沿って学校関係者評価を重点にした適切な園評価を実施し、ＰＤＣＡサイクルに基づき、改善を図るとともに家庭や地域等への情報提供に努める。

○　家庭との連携を図る

・いじめの早期発見と適切な対応を促進するために、家庭・園・地域の連携を推進する。

・家庭や地域等に対して、ホームページや園だより等を活用して積極的に園の状況を情報提供したり「幼稚園公開日（週間）」を設定したりして、地域に幼稚園を開いていくよう努める。

・園施設の開放や子育て相談の実施、「学校から発信する家庭教育プログラム」の活用等により、地域における幼児教育のセンターとしての役割を果たす。

○　子どもたちの安全・安心を守る

・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、園独自の危機管理マニュアルを見直すことにより、家庭・地域・市関係部局と連携し、安全・安心な園づくりを推進する。

・非常災害時における保護者との連絡方法を確立するとともに、小・中学校、地域や家庭と連携した避難訓練や防災訓練を実施する。

○　小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図る

・幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を踏まえ、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、幼小が円滑に接続し、教育の連続性・一貫性を確保し、子どもに対して体系的な教育が行われるよう適切な教育課程「アプローチカリキュラム」の編成を工夫する。

２　小・中学校、義務教育学校　編

（１）　確かな学力をはぐくむ

○　基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

・全国学力・学習状況調査を活用するなど、児童生徒の学力や学習状況及び生活行動の現状を把握・分析し、実態に基づいた指導計画を立案するとともに、指導内容、指導方法の工夫改善を行う。

・単元や題材など内容のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

・自ら学び思考し表現する力の育成を目指し、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習、問題解決的な学習、学んだことを活用する学習、探究的な学習の充実を図る。

・言語活動や体験活動を意図的、計画的に授業に取り入れる。

・ねらいに応じて習熟度別指導、課題別指導、ティームティーチングの活用を図るとともに、教科の特性を生かした少人数指導の充実を図る。

・放課後や長期休業中における学習機会「校内塾・まなびくらぶ」を運営することにより、児童生徒に基礎的・基本的な学習や発展的な学習に取り組む場を与え、学習意欲の向上を図る。

・学校や地域の実態に応じ、専門性の高い外部人材の活用や、個別学習・グループ学習に対応するための学習ボランティアの活用などの取組を推進するとともに、地域の学習環境（自然・文化や伝統・社会教育施設等）の活用を図る。

・学校図書館の学習センター機能の充実を図り、学校図書館の活用を各教科の年間指導計画の中に位置づけるとともに、教科の特質に応じて、情報の収集→整理・分析→まとめ・　表現の過程を取り入れた授業を展開する。

・言語活動の充実を実現するため、国語科においては、課題に対して思考し、場・相手に応じてわかりやすく伝え合い、自分の考えを深めたり広げたりできる交流の場を設定する。各教科等においては、国語科で培った言語能力を基本とし、記録、要約、説明、論述、話合いなどの学習活動を推進する。

・学習者用端末や大型提示装置などの効果的な活用が図れるように、ＩＣＴを系統的・計画的に活用するためのカリキュラムを作成し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図ることで、児童生徒の学力向上及び情報活用能力や情報モラルの育成を目指す。

・小学校高学年において教科担任制（交換授業）を推進していくことで、授業の質の向上や学校全体で多面的に生徒指導を行うことで、児童の学習意欲や学力の向上を図る。

・「家庭学習の手引き」などを作成し、家庭学習が習慣化されるよう家庭へ啓発し、学習内容の基礎基本の定着を図る。

・小学校の外国語教育においては、カリキュラムの工夫や研修の充実を図る。

・小学校においては、「学びの突破口ガイド」や「ちばっ子チャレンジ１００」、中学校においては、「ちばのやる気学習ガイド」等を活用し、補充・発展的な学習を取り入れるなど、学習活動を工夫する。

・特別活動を要とした全教育活動の中で、キャリア教育を意図的・継続的に推進し、キャリア発達を踏まえた目標を設定して、教育課程に適切に位置づける。

・「職場体験」等の体験活動や外部人材の活用等を通して、地域社会と連携・協働するとともに、「キャリア・パスポート」を活用し、中学校ブロックでの系統的なキャリア教育を推進する。

・特別支援学級においては、実生活に即した言語活動・体験活動の充実を図り、日頃の学習の成果を活用できるように計画する。

・特別な支援を必要とする児童生徒、及び特別支援学級、通級指導教室等の児童生徒については、個別の指導計画を作成し、具体的な目標と手立てを明確にして学習の充実を図るとともに評価改善に取り組む。

・市川市特別支援教育推進計画（第３期）に基づき「市川スマイルプラン」を活用して、ライフステージに応じた支援が引き継がれるようにする。

・特別支援学級、通級指導教室等においても、ＩＣＴ機器を活用し個に応じた効果的な指導の充実を目指す。

・必要な合理的配慮の提供について、保護者と十分な合意形成が図れるようにする。

○　教職員の資質能力の向上を図る

・生徒指導の３つの機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」を重視した「わかる授業」の定着に向け、学校全体で研修等に取り組む。

・目標を明確にし、指導と評価の一体化を図った授業づくりや個に応じた指導の充実を図るなど、指導方法の工夫改善を図る。

・教職員自身による研修計画作成にあたって、管理職は組織マネジメントの手法を生かしながら、指導・支援を行う。

・研究授業を積極的に行い、全教職員が自己研鑽に努める体制をつくる。

・近隣校との相互参観や交流授業等を積極的に実施するとともに、ブロックの教職員が参加する研究授業を展開し、協議会で力量を高め合うなど、中学校ブロックの連携を視野に入れた自主公開、研究授業を実施する。また、塩浜学園での成果を各小中学校間の連携に生かしていく。

・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかる授業」づくりについて研修を進める。

（２）　豊かな心をはぐくむ

○　人との関わりを重視した教育活動を進める

・さまざまな活動の中で、人と関わることの大切さを気付かせ、進んで挨拶する子どもを育

成する。

・交流・宿泊・ボランティア活動等、発達段階に応じた体験活動の充実を図る。

・「豊かな人間関係づくり実践プログラム」や「グループエンカウンター」などを活用して、人間関係づくりに必要な基本的な力を育む。

・児童生徒の多様なニーズに対応したインクルーシブ教育の推進に向け、効果的な指導や支援の充実を図る。

・「学校いじめ防止基本方針」について、毎年点検、見直しを行う。

・異年齢集団での活動や地域の人たちとの交流を通して、人と関わる力を育成するとともに、思いやりや感謝の気持ちを育て、自分の成長を自覚できるようにする。

・障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒とが、共に活動する中でお互いを思いやる心をはぐくめるよう、交流及び共同学習に積極的に取り組む。

○　道徳性を養う取組を進める

・教育活動全体を通じて行われる道徳教育の要として、位置付けられた「特別の教科　道徳」を、教科書教材や映像教材、『道徳教育の手引き』等を活用し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養えるよう、学習指導過程や指導方法の工夫改善を図る。

・各学校の方針の下に、道徳教育推進教師が中心となりながら、全教職員が協力し合う指導体制の充実を図る。

・児童生徒の発達の段階に応じた規範意識や人権意識等が身に付くよう、地域の教育力を生かした道徳教育を積極的に実施・公開する。

・市内共通の指針「いちかわ子ども宣言」の活用を図る。

・動植物を育てる活動や獣医師会等の専門家による講演会の開催等を通して、命を大切にする意識を育む。

○　未来につながる読書教育を進める

・読み聞かせをはじめとする多様な読書活動や、学習活動における図書の活用などの読書教育を推進する。

・発達の段階に応じた読書を推進し、そこから得た感動を、読書意欲につなげていく。

・物語や伝記の主人公の生き方に触れることで、自らの生き方について考え、将来について夢を抱ける子どもを育成する。

○　教育相談活動の充実を図る

・教育相談活動を充実させ、児童生徒・保護者等の不安や悩みを理解し、解決に向けた支援を行うことで、問題行動や学校への不適応が起きないようにする。

・ＳＯＳの出し方教育について、児童生徒への定着を図る。

・不登校の児童生徒への支援のために、不登校児童生徒支援教室の環境を整え、当該児童生徒と深く関わる教育関係者によるケース会議を定期的に開き、共通理解を図る。

・近隣の幼稚園や保育園と情報交換を密にし、小一プロブレムを未然に防ぐよう努める。
・中学校ブロックごとに連絡会議を実施し、中一ギャップを未然に防ぐよう努める。
・教育相談の方法や具体例について研修し、児童生徒理解を深めるための相談活動を定期的に実施する。
・カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフ、及び専門機関との連携体制の更なる充実を図り、チーム学校体制で取り組む。

（３）　健やかな体をはぐくむ

○　包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

・業間休み時間の活用や運動週間・集会、さらに千葉県教育委員会が実施している「遊・友スポーツランキングちば」等を活用し、積極的に外で遊ぶ機会を設け、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる。
・新体力テストの結果を考察し、改善に向けての具体的な取組を実施する。

・学校と家庭が連携を図り、生活習慣チェックカード等を通して、望ましい生活習慣を身に付けられるようにする。また、千葉県教育委員会が実施している「いきいきちばっ子健康・体力づくりモデルプラン」「いきいきちばっ子元気アップ・プラン大作戦」等を活用し健康、体力づくりを推進する。
・学校園等での栽培活動や学校給食等の生きた教材を通して、食に関する学習を教育課程に位置付け、実践する。その際、栄養教諭、学校栄養職員等、専門的な立場からも、望ましい食習慣等、食の大切さについての指導を進める。
・すこやか検診の結果を通して栄養面等の個別指導を行い、望ましい食習慣の形成を図る。
・委員会活動の機能を生かし、手洗いの励行、ハンカチの使用、給食時のエプロン・三角巾の着用の徹底等、環境衛生面の指導を行い、健康的な生活を送るための自主的・実践的態度を育成する。

・学校環境衛生基準に基づいて、教室の照明等環境に係る事項について適切な対応をするとともに、学校備品等の安全管理の充実を図る。
・「新たな学校生活スタイルガイドライン」を参考に新型コロナウイルス感染防止対策を行い、感染防止教育を推進する。

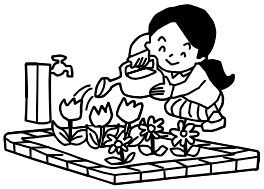
○　安全な生活を実践する能力と態度を育成する

・身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動が取れるようにし、自他共に安全に生活する態度の育成に努める。

（４）　信頼される開かれた学校をつくる

○　学校評価による学校運営の改善を図る

・評価の精度を高める工夫や、年２回の自己評価の実施による形成的な学校評価によって、継続的で主体的な学校運営の改善に努める。
・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
・「児童生徒アンケート」や「保護者アンケート」を積極的に実施する。
・自己評価の結果の公表、学校参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。
・校長は、学校関係者評価を次年度の学校経営に生かすとともに、教職員への周知を図り次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
・学校評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、学校の取組についての理解・協力を求め、学校・家庭・地域の連携協力の推進を図り、学校を活性化させる。
・学校評価により「いちかわ学校三ヵ年計画」の検証を図り、各校におけるカリキュラム・マネジメントの確立を図る。



○　家庭との連携を図る

・家庭学習計画表の作成、「家庭学習のすすめ」リーフレットの配付など、具体的な手立てをとるとともに、保護者へ理解・協力を求め、家庭学習の習慣化を図る。
・規則正しい生活リズムの定着や、挨拶、正しい言葉遣い等の習慣化、情報モラルの理解など、児童生徒の望ましい生活習慣・規範意識の向上を図るため、家庭と連携して取り組む。
・いじめの早期発見と適切な対応を推進するために、学校・家庭・地域の連携を推進する。

○　児童生徒の安全・安心を守る

・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、学校独自の危機管理マニュアルや安全マップを見直すことにより、学校と家庭・地域とが一体となって安全・安心な学校づくりを推進する。
・通学路の安全チェックを行い、家庭や地域・関係機関等と連携して、児童生徒が安心して登下校ができるようにする。
・地震や津波等も含めた災害発生時を想定し、家庭への確実な連絡方法を確立しておくとともに、家庭や地域・関係機関等と連携した避難訓練や防災訓練等を実施する。
・ＰＴＡや地域ボランティアによる青色防犯パトロール隊を編制し、活動を推進するとともに、中学校ブロックによるパトロール活動の充実を図る。

○　学校と地域の連携を進める

・環境整備、環境美化及び施設の開放等に努め、「地域とともにある学校」として、地域から愛される学校づくりを行う。
・学校運営協議会の充実を図る。
・地域学校協働本部や学習支援クラブ等を活用し、地域の教育力を積極的に取り入れる。

○　幼児期の学びや体験を生かした教育活動の工夫を図る

・子どもの発達や学びの連続性を保障するため、幼保小が円滑に接続し、子どもに対して体系的な教育が行われるよう適切な教育課程「スタートカリキュラム」の編成を工夫する。

３　特別支援学校　編

（１）　確かな学力をはぐくむ

○　基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

・障がいの状態や特性及び発達の段階、生活の様子等の実態を把握し、一人一人の教育的ニーズに応じた個別の指導計画を作成し、個に応じたきめ細かな指導を展開する。

・個別の指導計画に基づき、学習の目標を達成するための手立てや教材・教具等を工夫し、指導の一層の充実を図るとともに、その評価・改善に努める。

・ねらいに応じて指導の形態（各教科の指導、教科等を合わせた指導）や指導の場（個別指導、グループ指導等）を工夫するなど、多様な教育活動を展開し、その指導の充実を図る。

・家庭や地域と連携・協力し、生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。また、地域の人材、自然環境、社会教育施設等を活用し、体験的・問題解決的な学習活動の充実を図り、自ら考え判断し、活用できる力を育成する。

・学校生活全体を通し、人と関わる機会を多く設け、積極的に人と関わろうとする意識や気持ちを育てる。

・さまざまなコミュニケーション手段の活用を含めた言語活動の充実を図り、個に応じたコミュニケーション能力を育成する。

・学校図書館の活用の仕方を工夫し、本に親しむ機会を充実させる。

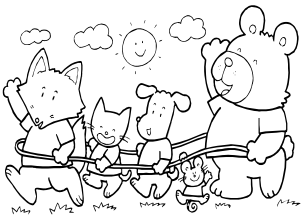
・ＩＣＴ機器の活用を年間計画に位置付け、児童生徒の学力向上及び情報活用能力や情報モラルの育成を図るための効果的な活用を目指す。

・小学部の外国語活動、中高等部の外国語科においてＡＬＴを活用する。

・市川市特別支援教育推進計画（第３期）に基づき「市川スマイルプラン」を作成し、一人一人のライフステージを見据え、保護者・学校・関係機関が連携しながら、小・中・高等部を通じて一貫した支援を行っていく。

○　教職員の資質能力の向上を図る

・特別支援学校の職員として多様な障がいに対応するための専門性と指導力の向上を図る。



・市川市全体の特別支援教育を推進する役割を担う教員の育成を目指す。

・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて学習の目標を明確にし、指導と評価の一体化を意識した指導方法の工夫改善を行い、個々の能力の伸長を図る。

・教職員自身による研修計画作成にあたって、管理職は組織マネジメントの手法を生かしながら、指導・支援を行う。

・校内授業研究や個々の授業研修を積極的に行い、全教職員が自らの授業改善に取り組む。

・ユニバーサルデザインの視点を生かした環境づくり・授業づくりを推進する。

（２）　豊かな心をはぐくむ

○　人との関わりを重視した教育活動を進める

・障がいの状態や特性及び発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりを行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

・生徒会を中心とした挨拶運動を実施し、進んで挨拶する子どもを育成する。

・校外学習、宿泊学習、その他の体験学習を通じて、色々な人と関わる力や色々な場面に適応する力を育てる。

・小・中・高等部の学部間の交流や進路学習、職場体験、産業現場等における実習等の学習を通して、一人一人の自立と社会参加に向けたキャリア教育・職業教育の一層の推進を図る。

・地域や近隣の学校との連携を図りながら、子どもたちが地域の一員として活動できるよう、交流及び共同学習を進める。

・道徳教育の推進と授業の工夫改善を図る。

○　生きる力の基礎をはぐくむ教育を進める

・学習活動全体を通し生活に結びついた体験を積み重ね、人と関わる力を培い、進んで社会に参加しようとする力を育成する。

○　道徳心を培う取組を進める

・日常的な関わりの中で、自己や他者を尊重する態度や言葉づかいを身に付け、人権意識を育む。

・障がいの状態や特性及び発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて、学校生活でのルール、公共交通機関や施設の利用時のマナーなどの規範意識を育む。

・動植物を育てる活動や友達と協力して行う活動などを通し、命を大切にする意識や相手を思いやる気持ちを育む。

○　読書教育を進める

・読書活動や読み聞かせなどの学習を通し、お話の楽しさ、言葉の面白さを感じ、自ら伝え表現しようとする子どもを育成する。

・自由に本に親しめる環境づくりを進める。

○　教育相談活動の充実を図る

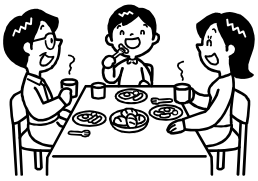
・児童生徒の抱える課題に早期に対応できるよう、児童生徒の様子を丁寧に観察し、その変化に気付けるようにする。

・保護者が感じている課題や不安に対し、いつでも相談を受けられる体制を作り、必要に応じて関係機関との連携を図って対応する。

（３）　健やかな体をはぐくむ

○　包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

・障がいの状態や特性及び発達の段階に応じ、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに体力の向上を図る。
・家庭と協力して基本的な生活リズムを整え、望ましい生活習慣を確立する。
・発達の段階に応じ、家庭と協力しながら、望ましい食習慣（「よくかんで味わって食べる」「三食規則正しく食べる」「好き嫌いをなくして食べる」「マナーを守り人と楽しく食べる」等）の形成を図る。



・発達の段階に応じ、健康についての教育（手洗い・うがい等を通して体を清潔にすること、病気やけがの予防や手当てについて考えることなど）を学校全体で計画的に推進する。
・食事・運動・生活習慣を見直し、卒業後の健康的な生活のために個別の相談・指導に取り組む。
・委員会活動の機能を生かし、手洗いの励行、ハンカチの使用、給食時のエプロン・三角巾の着用の徹底等、環境衛生面の指導を行い、健康的な生活を送るための自主的・実践的態度を育成する。
・学校環境衛生基準に基づいて、教室の照明等環境に係る事項について 適切な対応をするとともに、学校備品等の安全管理の充実を図る。
・「新たな学校生活スタイルガイドライン」を参考に新型コロナウイルス感染防止対策を行い、感染防止教育を推進する。

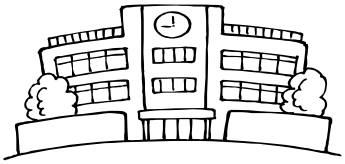
○　安全な生活を実践する能力と態度を育成する

・安全な生活や行動をとることができるように、個に応じて、危険を予測し、回避する能力の育成に努める。

（４）　信頼される開かれた学校をつくる

○　学校評価による学校運営の改善を図る

・評価の精度を高める工夫や、年２回の自己評価の実施による形成的な学校評価によって 継続的で主体的な学校運営の改善に努める。
・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
・「保護者アンケート」等を積極的に実施する。
・自己評価の結果の公表、学校参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。
・校長は、学校関係者評価を次年度の学校経営に生かすとともに、教職員への周知を図り次年度の教職員の実践の改善に役立てる。



・学校評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、学校の取組についての理解・協力を求め、家庭・学校・地域の連

携協力の推進を図り、学校を活性化させる。

・学校評価により「いちかわ学校三ヵ年計画」の検証を図り、カリキュラム・マネジメントの確立を図る。

○　家庭との連携を図る

・学校での学習の内容・成果等を報告し、理解と協力を得ながら、家庭での学習の習慣化を目指す。

・規則正しい生活リズムの定着や、挨拶、正しい言葉遣い等の習慣化、情報モラルの理解など、児童生徒の望ましい生活習慣・規範意識の向上を図るため、家庭と連携して取り組む。

・いじめの早期発見と適切な対応を推進するために、家庭・学校・地域の連携を推進する。

○　子どもたちの安全・安心を守る

・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、学校独自の危機管理マニュアルを見直すことにより、学校と家庭・地域が一体となって安全・安心な学校づくりを推進する。

・通学路の安全チェックを行うとともに、随時登下校指導を行い、家庭や地域・関係機関等と連携して、子どもたちが安心して登下校ができるようにする。

・家庭・地域の協力を得て、スクールバスの安全な運行を行う。

・地震や津波等も含めた災害発生時を想定し、家庭への確実な連絡方法を確立しておくとともに、家庭や地域・関係機関等と連携した避難訓練や防災訓練等を実施する。

○　学校と地域の連携を進める

・環境整備、環境美化及び施設の開放等に努め、地域住民みんなの学校として、地域から愛される学校づくりを行う。

・地域学校協働本部や学習支援クラブ等を活用し、地域の教育力を積極的に取り入れる。

○　特別支援学校のセンター的機能の充実を図る

・地域の小・中・義務教育学校、高等学校、幼稚園、保育園等の求めに応じ、教職員への指導・助言を行う。

・地域の特別支援教育に係る研修会への協力、情報提供など、理解・啓発を図る活動を推進する。

・他の特別支援学校や地域の相談支援機関等、他機関との連携を図り、必要な支援を進める。

・理学療法士を含めた、より専門的な視点での指導・助言を行う。

・関係機関と連携した早期からの教育相談の充実を図る。

第２節　コミュニティ・スクール

１　ねらい

＜平成 27 年中央教育審議会答申より＞

① 地域とともにある学校への転換
これからの公立学校は、「開かれた学校」から更に一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していく。

②子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築
地域の一部の人々だけが参画し協力するのではなく、地域全体で子どもたちの学びを展開していく環境を整えていく。また、子どもを軸に据え、さまざまな関係機関や団体等がネットワーク化を図り、子どもたちを支える一体的・総合的な教育体制を構築する。

③学校を核とした地域づくりの推進
一方的に、地域が学校・子どもたちを応援・支援するという関係ではなく、子どもたちも地域で学ぶ、あるいは、地域課題の解決に向けて学校・子どもたちが積極的に貢献するなど、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、学校と地域の双方向の関係づくりを推進する。

学校と地域の連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築

⇩

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入
○地域学校協働本部の整備

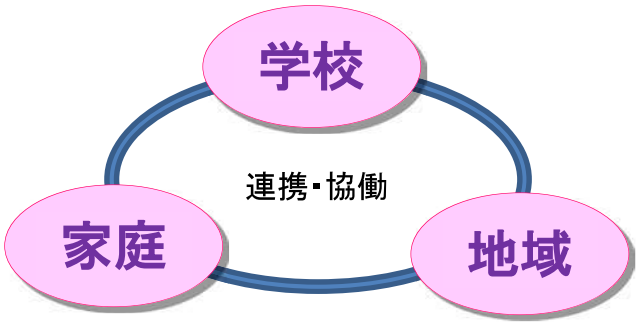
２　市川市の方針

○学校運営協議会をすべての市立幼稚園・学校に設置。
○地域学校協働本部を中学校ブロック及び義務教育学校区単位で整備。

①園長・校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョン（目標）の達成に向かって家庭・地域が応援団となり、力を発揮する。
②地域の力を生かした学校運営を行い、子どもたちの成長を多くの大人が支えていく。

⇩

“未来の子どもたち”を育むためのしくみ
「生まれ育った土地に愛着を持ち、このまちに住み続けたい」と思える子どもたちを育む。
“地域とともにある学校”を目指すためのしくみ
学校と地域住民・保護者が心を合わせて子どもたちを育む。



３　市川市の学校運営協議会のしくみ

「市川市学校運営協議会の設置等に関する規則」より

①委員

地域住民、保護者、対象学校の運営に資する活動を行う者、学識経験者、園長・校長、教職員、その他教育委員会が適当と認める者から 15 人以内で構成（２以上の学校について一の協議会を置く場合、教育委員会が別に定める人数により組織可）。

②役割

⑴校長の作成する学校運営の基本方針を承認する

園長・校長が学校運営協議会委員へ経営方針を説明し、承認を得る。

⑵学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる

「挨拶の指導に力を入れてほしい」「校舎のバリアフリー化を進めてほしい」等、学校行事や授業改善、生徒指導、教育環境等について意見を述べる。また、家庭・学校・地域連携の視点から情報や意見の交換、さらに少年の健全育成を図るための意見交換を行う。

⑶教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる

「地域連携の核となる社会教育主事資格者の教員の配置」「情報機器活用のスキルを持った教員の配置」「小学校に中・高の英語の免許を所有する教員の配置」等、学校の課題解決や教育の充実のために校内体制の整備充実を図る観点での意見を述べることができる。

⑷学校関係者評価を行う

学校運営協議会において、学校評価の結果を踏まえた評価を行い、その結果を公表する。

４　市川市が目指す地域学校協働本部

学校と地域が連携・協働して、学校内外で行われる地域学校協働活動を推進するため、学校と地域のパイプ役として市川市教育委員会が地域学校協働活動推進員を委嘱する。地域学校協働活動推進員を中心に、地域の様々な団体や企業、NPO、個人等による緩やかなネットワーク体制を構築し、「地域にある学校応援団」として中学校ブロック及び義務教育学校区を単位として地域学校協働本部を設置する。

学校運営協議会と一体的に協働本部が機能することで、より地域と学校が連携・協働し、学校を核として地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくことが可能になる。

第３章　生涯学習

第１節　生涯学習の推進……36
１　生涯学習の推進
２　市民協働による生涯学習

第２節　家庭・学校・地域の連携推進……38
１　地域学校協働活動・地域学校協働本部
２　学校支援実践講座
３　コミュニティクラブの推進
４　体験事業の推進

第３節　学校施設の開放……42
１　ねらい
２　概要
３　利用状況

第４節　青少年の健全育成の推進……43
１　青少年健全育成活動の推進と非行防止への取り組み
２　青少年育成団体の支援と育成
３　自主活動・社会参加の促進
４　良好な環境づくり

第５節　文化財の保護と活用……50

第３章　生涯学習

第１節　生涯学習の推進

１　生涯学習の推進

年齢、性別、国籍、経済事情、障がいの有無に関わらず、誰もが社会の一員として自立し、一人一人がライフステージに応じて主体的に活動や社会参画ができるように、多様な教育ニーズに的確に応えられる体制づくりが求められている。

そのために、地域コミュニティを核に、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指していく。

市川市では、平成 30 年度に第３期市川市教育振興基本計画を策定し、平成 31 年からの５年間の目標として、「人生 100 年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”の推進」「特別支援教育など、教育的ニーズに応じた支援の充実」「グローバルに活躍する人材の育成」「新しい地域づくりの推進」の４点を設定した。

家庭と地域の連携や地域の教育資源活用を図り、個に寄り添った学習支援の充実に取り組むとともに、地域の教育力を向上させ、地域社会での学びと活動の循環を促進する。

さらに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効活用を進め、併せて、地域にある大学との連携により、交流活動や学びの場を広げる。

２　市民協働による生涯学習

市民が生涯学習活動をとおして、自主的に活動する力を身に付けることで、市川市が抱える、さまざまな諸課題を協働により解決できるように、市民、学校、高等教育機関、行政等との連携による学習や活動を支援し推進する。

（１）家庭教育学級

家族や家庭を取り巻く環境の変化の中で、家庭でのより良い子育てについて考え、親として子どもと一緒に成長することを目指し、子育てについて学び合ったり、交流を深めたりする機会を提供している。

市立幼稚園・小中学校・義務教育学校・特別支援学校に 61 学級を開設し、各学級生が以下の講座運営に主体的に取り組む。

①各学級で講座の目標や内容を決め、企画・運営を行う「自主企画講座」
②家庭教育指導員が講師を務め、家庭教育に関する情報提供や相談対応を行う「指導員講座」
③千葉県葛南教育事務所・市川市教育委員会等が行う「子育て」や「親子のコミュニケーション」に関する講演会等を「共通講座」として紹介したり、学校地域連携推進課でオンライン講座の主催やホームページ上に子育てのヒントとなる動画公開したりするなど、幅広い学習機会を設けている。

（２）団体活動等

○市川市ＰＴＡ連絡協議会（会長：富田勇人）

市立小中学校・義務教育学校・特別支援学校のＰＴＡと連携し、各学校のＰＴＡ活動が円滑に行われるよう情報交換・研修等を行うとともに、会員の厚生に関する事業を展開している。

○市川善行会（会長：井上喜久男）

善行精神の普及を通じて、社会の福祉に貢献することを目的とする活動を行う。

○市川市婦人団体連絡協議会（会長：篠田美咲子）

地域婦人団体３団体をもって構成し、研修や社会福祉活動を展開している。

（３）いちかわ市民アカデミー講座

市内にある昭和学院短期大学・和洋女子大学・千葉商科大学の協力を得て、各大学の持つ専門的かつ高度な機能や施設と恵まれた環境の中で、社会の諸問題や生活向上のための新しい知識の習得を目的とした講座を開催している。

本事業はライフステージに応じた生涯学習の一環として、受講者それぞれが学んだ知識を地域や家庭の中で活かしていくこと、また、幅広い世代の受講者同士が講座を介して交流し、新たな繋がりを作り出すことが期待されている。

各大学で開講されるコースではそれぞれの強みを活かした多様な年間学習テーマを設定し、全 10 回の講座を通して年間学習テーマについて多角的な視点から理解を深める講座を展開している。

令和４年度は前年度と同じく各コース６回に規模を縮小し、昭和学院短期大学は、学校を会

場として対面式、和洋女子大学と千葉商科大学はウェブ会議システムを活用したオンライン形式で開講した。

コース	学習テーマ
昭和学院短期大学コース	令和の時代を楽しく生きる partⅡ
和洋女子大学コース	今、変化の時代のなかで
千葉商科大学コース	サスティナビリティ時代の暮らし・地域・社会 partⅢ～コロナ禍を生き抜く～

（４）二十歳の集い（成人式）

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、毎年開催をしている。企画、運営に関して 19 歳、20 歳を対象とした実行委員会方式を取り入れ、新成人の意見や考えを可能な限り反映させた自主的な「成人式」を実施している。なお、令和４年度より行事名称を「新成人の集い」から「二十歳の集い」に変更し実施する。

【令和３年度実績】（令和４年１月９日開催）

対象	平成 13 年４月２日～平成 14 年４月１日生
対象者	4,385 名
式典	式典動画をオンライン配信
出席者	延べ 2,642 名 ※フォトスポット来場者数
記念品	タンブラー

第２節　家庭・学校・地域の連携推進

１　地域学校協働活動・地域学校協働本部

（１）ねらい

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の目標を具現化し、地域にある個別の団体が連携・協働を深めるために、市川市立の15中学校ブロック・１義務教育学校区に「地域学校協働本部」を設置する。併せて、各幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校ごとに「地域学校協働活動推進員」を委嘱し、地域の豊かな教育資源や人材（財）を活用し、地域と学校が連携・協働して、学校を核として地域全体に未来を担う子どもたちの成長を支えていく。

（２）「地域学校協働本部」

中学校ブロック及び義務教育学校区を単位に設置する“地域にある学校応援団”のこと。地域学校協働活動推進員を中心に、学校のニーズを引き出し、地域のネットワークを活用してさまざまな教育活動や地域活動をサポートする。また、地域と学校が連携・協働して、学校を核として地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくさまざまな活動を総称して「地域学校協働活動」と言う。

（３）「地域学校協働活動推進員」

社会教育法の規定に則り、「市川市地域学校協働活動推進員等の設置に関する要綱」を規定。

地域と学校をつなぐパイプ役として「地域学校協働活動推進員」を市川市教育委員会が委嘱・育成することで、地域ボランティアによる地域学校協働活動を活性化し、地域とともにある学校づくりを推進していく。

２　学校支援実践講座

（１）ねらい

★地域コミュニティの活性化

・教育委員会が行う人権啓発事業に対する市民の参加意欲を高めるとともに、それが参加者の自己啓発に留まることなく、地域教育力の向上へと確実につながるシステムを構築する。

・地域支援者による学校支援活動が効果的に行われるための環境を整える。

★「いじめ」の未然防止

・いじめの問題は未然防止と早期発見が重要であり、どの学校においても発生する可能性があるという前提に立ち、各学校における「いじめ防止活動」の一環として交流会の開催を支援する。

・生活体験や社会体験が乏しくなっている児童生徒に対し、地域人材との温かな関わりを通して、いじめに繋がりかねない事例を多面的・多角的に考える機会を子どもたちに提供する。

（２）事業内容

市民を対象として、学校における「人間関係で生じる問題」をテーマとした社会人権講座（年間３回）を行う。受講者は「地域支援者」として小中学生との交流会（１学級に対し５～６名派遣）に参加し、この問題について、本市が独自に開発した学習プログラムに基づき児童・生徒と意見交換を行う。その取り組みを通じ、「学校支援」と「いじめの未然防止」を図る。

交流会では、学校生活で起こり得る架空の事例を子どもたちが読み合い、感じたことや考えたことを話し合う。その際地域支援者は子どもたちの意見を受容的・共感的に聴き、自他を肯定的に捉えられるように話し合いを進行する。子どもたちは自分と他人の意見が異なることや、違いを認め合うことの大切さを体験から学ぶことが可能になり、他者を受け入れる心情が養われるものと考える。また、地域の大人と肯定的な交流を持つことで、安心して地域で生活し、地域への愛着を育む機会を提供する。

令和３年度実績

交流会開催校

１４校５５学級（小１２校、中２校）

受講者数　８８名

３　コミュニティクラブの推進

（１）ねらい

地域が中心となり「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に、地域教育力を高めながら、子どもたちに自主性・社会性・創造性等のいわゆる「生きる力」を培わせること、併せて子どもたちの成長を支える地域コミュニティづくりを目的とした活動を行っている。

また、子どもたちのためのボランティア活動を通して、地域の方々の生涯学習意識の高揚や、ボランティア意識の醸成を図ることで生涯学習社会の推進・構築を目指している。

（２）活動内容

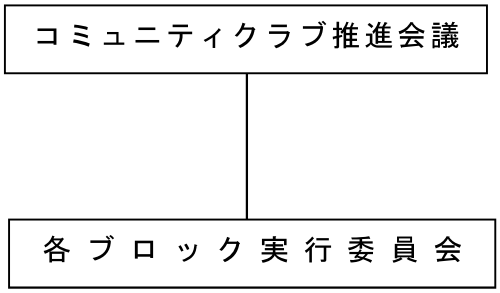
ボランティアで組織された 16 の実行委員会（15 中学校区・１義務教育学校区）が中心となり、それぞれの地域性を活かしながら「遊び」を通して、子どもたちが主体的に関われる体験的活動、スポーツ・レクリエーション的活動、文化的活動や豊かな人間関係を築いていくための異年齢交流・世代間交流が図られる活動を実施していく。

①活動計画：各ブロック実行委員会で決定
（ボランティアの意向・子どもたちの要望）
②実施：ボランティア、子どもたち、当日の協力者等による
③実績　（令和３年度）
活動回数：219 回
参加者数：子　ど　も　9,780 名
（延べ人数）　大　　人　2,471 名
ボランティア　979 名
合　　計　13,230 名
④予算：委託料としてブロックの活動内容に応じて 20 万～33 万円（総額 448 万円）を配分。

【主な活動】

	継続活動・自由遊び	イベント型活動
スポ・レク活動	スポーツ教室	親子ドッジボール大会
	グラウンドゴルフ	スポーツ体験教室
	スポンジテニス教室	ヒップホップ体験
	卓球教室	寺社散策
	早春あそび塾	宿泊体験
	自由遊び広場・教室	地域運動会
		ウォークラリー
		お化けやしき
		デイキャンプ
		親子ハイキング
		ペットボトルロケット製作・発射大会
文化的活動	囲碁・将棋教室	料理教室
	和太鼓教室	地域文化祭
	ビーズ教室	箏体験教室
	フラワーアレンジメント教室	天体観望会
	読み聞かせ活動	生け花教室
	陶芸教室	百人一首かるた大会
	マジック教室	茶道体験教室
	メロディベル	クリーングリーンマイタウン
	生け花教室	凧づくり＆凧あげ大会
	クラフト教室	和太鼓体験
	農作業体験教室	お正月作り
	人形劇	もちつき大会
	茶道教室	炭焼き体験
		科学教室
		昔遊び体験

（３）組　織



①推進会議：ブロックの代表者による会議。各ブロックの活動に関する情報交換、意見交換及び課題等を協議する。
②実行委員会：ボランティアにより構成され、活動を企画・運営する。小・中・高・大学生の参加もある。(実行委員会の中に子ども部を設置しているブロックもある)

地域学校協働活動の一環としての
中学校生徒と環境整備活動（東国分中ＢＣＣ）

（４）成果と課題

①子どもたちの成長

コミュニティクラブの活動により、子どもたちの社会性・協調性などがさまざまな体験活動により培われ、「生きる力」が育まれている。また、ボランティアとして関わっている中学生・高校生には、企画・運営することにより創造性やリーダー性が育っている。

②新しい人間関係の構築

異年齢・異世代の交流や、より広い地域での活動を通して、子どもたちの人間関係に広がりが見られ、豊かな交流が成されてきている。

③新たなコミュニティの広がり

コミュニティクラブの活動に対して、地域ボランティアの意識も、少しずつコミュニティづくりを意識したものに変化してきている。

また、子ども会、自治会等の地域活動団体との連携・協働は、地域活動を推進していく上で不可欠なことであり、家庭、学校とを含め、今後は、地域学校協働本部の一員としてさらに積極的に活動する必要がある。

④中学生以上の子どもたちの参画

豊かな体験活動を行う中で、異年齢交流が大切なことから、ボランティアとして、また、活動のリーダーとして中学生以上の子どもたちの参画を、活動内容の工夫や広報活動を通し促進していきたいと考えている。

⑤with コロナ時代の活動の在り方・進め方

子ども達の遊びの活動を通じて地域の大人もつながっていくことを目指しているが、昨今の感染症への懸念から活動を控えるブロックが多くなっている。随時情報を共有し、感染対策を講じながら活動再考・再開していく必要がある。

（５）今後に向けて

①ボランティアの発掘・育成

・小中学校や高等学校に通う子どもを持つ保護者、子どもに関わる大人や学生ボランティアの発掘、育成。
・市内および近隣高等学校、大学との人材面の連携。

②複数ブロック連携活動や他団体連携活動の推進

・各ブロック間の人材面、活動面での交流を推進する。
・他の青少年育成団体、市内及び近隣高等学校、大学との活動面の交流を推進する。

③継続的な活動の充実

・ボランティアや地域の方の専門性を生かした「○○教室型活動」の充実を図る。
・子どもたちの活動ニーズに応えた「サークル型活動」の充実を図る。

④「自由遊びの場」づくりの推進

・子どもたちが集まり、自分たちで活動を計画・実行できるような場を多く提供していく。

ロープを張った自由遊びの場（第二中ＢＣＣ）

４　体験事業の推進

１　ねらい

異年齢との共同作業による農業・稲作体験を通し、自然とのふれあいや作物の生長への関わり、さらに勤労と収穫の喜びを体験することで、心豊かな子どもたちを育てることを目的としている。

２　農業・稲作体験活動（野菜・米作り）

市川市大野町４丁目、県立市川大野高等学園北側の「小川再生親子ふれあい農園」において、小学生とその家族が農業・稲作（野菜・米作り）体験を行う。田畑の日々の管理及び野菜作り・米作りの指導と助言のため、「市川米っ人くらぶ」に事業を委託している。

【令和３年度】

○位　置　　大野町４丁目 2,398 番１　外１箇所
○耕作面積　畑　920 ㎡　　田　1,584 ㎡
○参加者　　延べ 1,087 名
○予　算　　606 千円
○生　産　物

・うるち米	479 kg	・小松菜	30 kg
・玉ねぎ	70 kg	・枝豆	36 kg
・ジャガイモ	600 kg	・南瓜	120 kg
・ニンニク	1.8 kg	・長ねぎ	200 kg
・さつま芋	200 kg	・落花生	50 kg
・里芋	105 kg	・大根	225 kg

令和３年度　農業・稲作体験活動の記録

日　付	内　　容
４月１０日	参加者説明会（中止）※
４月１７日	代かき、長ねぎ・里芋・小松菜植え
５月１５日	田植え
５月２２日	苗補植、さつま芋・南瓜植え
６月　５日	昆虫教室、田草取り、落花生植え 小松菜・ジャガイモ収穫
６月２６日	田草取り、玉葱・ニンニク収穫
７月１０日	防鳥糸張り（中止）※
８月２１日	はぜ作り、大根種植え、南瓜収穫
９月　４日	稲刈り、はぜ掛け、長ねぎ収穫
９月１１日	稲刈り、はぜ掛け、長ねぎ収穫
９月２５日	脱穀、はぜ片付け（中止）※
１０月　９日	さつま芋・落花生収穫
１０月２３日	里芋・大根収穫
１０月３０日	収穫感謝祭（中止）※

※中止とした活動については新型コロナウイルス感染症拡大防止等の理由によるもの。

子ども水田　　稲刈りの様子

長ねぎ畑　　収穫前の様子

第３節　学校施設の開放

１　ねらい

地域住民や子どもたちの、スポーツ及び文化活動の場として、学校教育に支障のない範囲で市立学校の施設を開放することにより、市民スポーツの推進及び文化活動の振興を図ることを目的とする。

２　概　要

本市には、小学校38校、中学校15校、義務教育学校１校、特別支援学校１校の計55校があり、学校教育上支障のない範囲で学校を開放している。

また、夜間照明は小学校28校、中学校２校の計30校に設置している。

令和３年度末時点で、教育委員会に登録されている学校施設開放使用団体は661団体で、登録者数については20,317人であった。

利用されている施設は、運動場や体育館のほか、教室等がある。

また、学校施設開放の一環として夏季休校期間において、開放日時を設定し、市民に小学校プールの開放も行っている。

※令和５年度については、解放を見送る予定。

３　利用状況

令和３年度　学校施設開放利用状況

運動場		体育館等		プール		計	
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
17,946回	780,411人	35,193回	737,603人	0回	0人	53,139回	1,518,014人

※プール開放については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止した。

【主な活動内容】

	活動内容
運動場	サッカー、野球、フットベースボール、ソフトボール等の練習や試合
体育館	卓球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、 ソフトバレーボール、インディアカ、体操、剣道、空手等の練習や試合
教　室	コーラス、読書サークル、華道、手芸、ダンス、吹奏楽等

第４節　青少年の健全育成の推進

１　青少年健全育成活動の推進と非行防止への取り組み

（１）ねらい

青少年問題の複雑化・多様化が進む現況を鑑み、健全な青少年を育成することは社会の責務である。学校・家庭・地域が一体となって、実態に即した青少年健全育成活動と非行防止活動に取り組むことで、本市の青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

（２）少年センター

① 設置の趣旨

少年センターは、小学校就学の始期から満20歳に達するまでの少年の非行防止と、その健全な育成を図るために、街頭補導・少年相談・少年を取り巻く環境の浄化活動及び啓発活動を、市川市少年補導員の協力と関係諸機関との連携を図りつつ推進している。

設置年月日　　昭和43年４月１日
所　在　地　　市川市鬼高１－１－４

② 主な事業

ア．街頭補導（少年非行の早期発見と専門機関への連絡）

非行の早期発見・未然防止のため、教育委員会から委嘱された少年補導員と市川・行徳両警察の協力を得て、補導活動や環境浄化活動を実施している。

令和３年度　街頭補導実施状況　　（単位：人）

実施区分	回数	従　事 延人数	計画補導 延人数	地区補導 延人数	補　導 少年数
午前（ 10:00 ～ ）	38	149	0	149	18
午後（ 14:00 ～ ）	119	483	0	483	110
薄暮（ 16:00 ～ ）	30	130	0	130	62
夜間（ 19:00 ～ ）	6	21	0	21	0
合　　計	193	783	0	783	190

※　補導員…783人　警察関係者…0人　教員…0人　少年センター職員…0人

令和３年度　補導少年行為・学職別状況　（単位：人）

	児童・生徒・学生								その他		計		合計
	小学生		中学生		高校生		その他		有無職者				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
喫　煙											0	0	0
怠　学											0	0	0
飲　酒											0	0	0
ｹﾞｰﾑｾﾝﾀｰ出入り											0	0	0
危険な遊び	36	17									36	17	53
自転車二人乗り			2	2							2	2	4
自転車危険走行	5		3		3						11	0	11
そ の 他	81	28		13							81	41	122
合　計	122	45	5	15	3	0	0	0	0	0	130	60	190

過去５年間の補導少年数の推移　（単位：人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
451	369	485	24	190

イ．少年相談（少年に関する相談活動、電話相談・ｅメール相談・面接相談）

市内の少年（小学校就学の始期から20歳に達するまで）や、その保護者からの悩みに対して支援を行うとともに、必要に応じて専門機関へも紹介している。

令和３年度　電話相談状況　（単位：件）

交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	合計
24	6	2	22	16	91	98	16	3	22	32	2	17	0	15	366

過去５年間の電話相談件数の推移　（単位：件）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
747	440	362	379	366

令和３年度　ｅメール相談状況　（単位：件）

交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	合計
6	0	0	0	0	5	34	2	0	4	49	0	3	1	0	104

過去５年間のｅメール相談件数の推移　（単位：件）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
204	102	29	37	104

令和３年度　面接相談状況　（単位：件）

交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	合計
2	0	0	0	1	12	101	8	2	13	49	3	4	0	0	195

過去５年間の面接相談件数の推移　（単位：件）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
212	123	123	136	195

ウ．少年を取りまく環境の浄化・啓発活動

ａ）少年のたまり場調査等の実施。
ｂ）市内小・中・高校への青少年問題啓発リーフレットの配付。
ｃ）少年のインターネットトラブルに関する啓発活動。

２　青少年育成団体の支援と育成

（１）ねらい

地域社会は、子どもたちにとってさまざまなことを学べる場所であり、青少年育成に果たす役割は非常に大きい。地域の活性化を図り、青少年の主体的・社会的な活動を支援するため、地域の青少年育成団体が自主運営できるように指導・援助していく。

（２）推進にむけた施策

育成団体の補助と青少年育成

（育成団体）

・市川市子ども会育成会連絡協議会

・市川市青少年相談員連絡協議会

（施策）

・青少年育成団体への支援及び指導

３　自主活動・社会参加の促進

（１）事業概要

①青少年指導者育成事業

〔わんぱくセミナー〕

目　的　・　内　容		
遊びやグループワークを通して、集団活動における協調性やリーダーシップを体験的に学び、コミュニケーション能力向上を目指す。 レクリエーションゲーム、工作及びキャンプ講習等体験型の講習を実施している。		
対象	計画回数 実施回数	令和３年度 参加数
小学５年生 小学６年生	年間　４回 実施　３回	８９人

※令和３年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習回数及び内容を変更して実施した。

爆弾処理班というゲームでの様子

〔ユースリーダー講習会〕

目　的　・　内　容		
グループワーク等を通して物事や人の意見をまとめる力をつける。 また、自分の役割を確認し、主体的に行動できるようにする。 レクリエーションゲームを中心に、青少年リーダーに必要な指導する力を体験的に養える講習を実施している。		
対象	計画回数 実施回数	令和３年度 参加数
中学生 高校生	年間　６回 実施　４回	４５人

※令和３年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習回数及び内容を変更して実施した。

わんぱくセミナーボランティアの事前練習

〔グループリーダーアカデミー〕

目　的　・　内　容		
子どもの育成者として資質向上をねらいとし、レクリエーション実技のスキルアップを目指す。 また、参加者同士の交流と情報交換を図る。 レクリエーションゲームや歌あそび、クラフトなどさまざまなあそびを紹介している。		
対象	計画回数 実施回数	令和３年度 参加数
18 歳以上 高校生除く	年間　４回 実施　０回	０人

※令和３年度は２２人の応募があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

言葉で 歌で 体で　表現を楽しもう

②青少年団体育成事業

〔子ども会育成会連絡協議会〕

目　的　・　内　容		
市内の子ども会の健全な活動と発展を図り未来を担う青少年の健全育成を推進する。 子ども会の各種行事を支援するとともに、育成会会員の研鑽に関する指導を支援する。		
対　象	実施及び 支援事業	令和３年度 会員数
子ども会員： 高校生以下 育成会員： 大学生以上	・はぜ釣り大会 ・ﾌｧﾐﾘｰｲﾍﾞﾝﾄ ・指導者育成講座 ・機関紙発行	子ども会員 2,034 人 育成会員 1,790 人

江戸川ではぜ釣り大会

〔青少年相談員連絡協議会〕

目　的・内　容		
千葉県知事と市川市教育委員会より委嘱され、スポーツ、野外活動等を通した体験学習等の促進を図り、社会環境浄化の推進を行うことで、青少年健全育成の担い手とし各地域の指導者として活動している。		
対　象	実施及び 支援事業	令和３年度 相談員数
青少年相談員 20 歳以上 55 歳以下	・連絡協議会事業 ・地区事業 ・子ども村ｷｬﾝﾌﾟ ・機関紙発行	175 人

青少年相談員いちかわ子ども村
水遊びを思い切り楽しもう

４　良好な環境づくり

（１）放課後保育クラブ

①概要

放課後保育クラブは、保護者等が就労等により昼間家庭にいない小学生の放課後等において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的として運営している。現在、市内 47 ヵ所に保育クラブを開設しており、令和４年５月１日現在 5,199 人の児童が入所している。

②対象

小学校及び義務教育学校前期課程（１～６年）並びに特別支援学校の小学部に就学している児童。

③開所時間

平日は、下校時から午後６時 30 分まで。学校休業日（土曜日、夏休み等）は午前８時から午後６時 30 分（延長保育は午後７時）まで。

④費用

ア．保育料　児童１人当たり月額 8,000 円。
（同一世帯で２人以上利用する場合は、２人目から 4,000 円。）

イ．おやつ代　月額 2,000 円

⑤開設場所

下表のとおり。

勉強の時間

楽しいおやつの時間

〔放課後保育クラブ開設場所一覧〕

開設場所	所在地	開設場所	所在地
市川小	市川2丁目32番5号	百合台小	曽谷6丁目10番1号
真間小	真間4丁目1番1号	富美浜小	南行徳2丁目3番1号
中山小	中山1丁目1番5号	柏井小	柏井町1丁目1149番地の1
八幡小	八幡3丁目24番1号	大洲小	大洲4丁目18番1号
国分小	東国分2丁目4番1号	幸小	幸1丁目11番1号
大柏小	大野町2丁目1877番地	新井小	新井1丁目18番13号
宮田小	新田4丁目8番15号	南新浜小	新浜1丁目26番1号
冨貴島小	八幡6丁目10番11号	大野小	南大野1丁目42番1号
若宮小	若宮3丁目54番10号	塩焼小	塩焼5丁目9番8号
国府台小	国府台5丁目25番4号	稲越小	稲越3丁目21番8号
平田小	平田3丁目28番1号	塩浜学園	塩浜4丁目5番1号
鬼高小	鬼高2丁目13番5号	大和田小	大和田1丁目1番3号及び2番6号
菅野小	菅野6丁目14番1号	福栄小	南行徳2丁目2番1号
行徳小	富浜1丁目1番40号	妙典小	妙典2丁目14番2号
信篤小	原木2丁目16番1号	稲荷木（こども発達センター分館内）	稲荷木1丁目14番1号
南行徳小	欠真間1丁目6番38号		
鶴指小	大和田4丁目11番1号	妙典（プレハブ）	妙典2丁目11番13号
宮久保小	宮久保5丁目7番1号	八幡（アクス本八幡内）	八幡3丁目4番1号
二俣小	二俣678番地	幸公民館	幸1丁目16番18号
中国分小	中国分1丁目22番1号	南行徳公民館	相之川1丁目3番7号
曽谷小	曽谷7丁目18番1号	本行徳公民館	本行徳12番8号
大町小	大町84番地の10	行徳地域ふれあい館	富浜2丁目5番19号
北方小	北方町4丁目1356番地の1	香取地域ふれあい館	香取2丁目19番1号
新浜小	行徳駅前4丁目5番1号	富美浜地域ふれあい館	欠真間2丁目31番5号

※令和元年度より本行徳公民館は休室中

（２）子どもの居場所づくり

【放課後子ども教室】

①ねらい

公立小学校において、放課後や長期休業等に子どもたちが安心して過ごすことのできる、安全な居場所の提供を目的とし、学習活動やスポーツ・文化・芸術活動及び地域住民との交流活動を実施している。

令和２年度から、業務委託により順次開室数を増やしている。

②対　象

小学生

放課後は、学校から直接または帰宅してから利用できる。

③開室時間

平日は放課後から午後５時まで。

学校休業日（土曜日、夏休み等）は午前８時から午後５時まで。

活動の様子
卓球など、置いてある玩具で遊んでいるところ

④開室場所

下表のとおり

〔子ども教室開室場所一覧〕

開室年月	開室場所
平成 31 年 4 月	八幡小学校
	宮田小学校
	富美浜小学校
	塩浜学園
令和 2 年 1 月	市川小学校
	平田地域ふれあい館（平田小学校隣接）
	稲荷木小学校
	鶴指小学校
	曽谷小学校
令和 2 年 10 月	行徳小学校
	新井小学校
	大和田小学校
令和 2 年 11 月	国府台小学校
	中国分小学校
	南新浜小学校
令和 3 年 10 月	国分小学校
	信篤小学校
	二俣小学校
	大町小学校
	北方小学校
	百合台小学校
	柏井小学校
	稲越小学校
令和 4 年 10 月	真間小学校
	中山小学校
	若宮小学校
	菅野小学校
	幸小学校
	大野小学校
	塩焼小学校
	妙典小学校

第５節　文化財の保護と活用

本市には、先人によって古くから残された歴史的な文化財も数多く存在する。文化財は郷土の歴史を伝え、また一度失われたら二度と元に戻せない貴重な国民的財産である。

本市は、文化財の調査、指定の拡充と修理等における補助、史跡の環境整備、博物館等の郷土理解のための施設などを通じて、文化財の保護と活用の推進に努めている。

＜文化財の保護・活用例＞

常夜灯公園内に設置された常夜灯

国登録有形文化財である西洋館倶楽部（渡辺家住宅）

第４章　教育機関

1　市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

2　市川市教育センター・・54

3　市川市立図書館・・・57

4　市川市公民館（社会教育課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

5　市川考古博物館・・68

6　市川歴史博物館・・70

7　市川自然博物館・・72

8　市川市少年自然の家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74

１．市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4（中央図書館）
TEL 047-320-3346(代表)　FAX 047-320-3351

特　色

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）は、市制施行60周年に合わせ平成６年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など80万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育んでいく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所でできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿　革

昭和63年４月　中央図書館等複合施設建設検討会設置
63年７月　ワーキンググループ設置（基本計画案検討）
63年10月　中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
63年11月　用地取得
平成元年７月　「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定
元年10月　競技設計実施
２年７月　基本設計完了
３年３月　実施設計完了
３年12月　着工
６年６月　竣工
６年11月　メディアパーク市川開館

利　用

○開館時間

・中央図書館
火曜日～金曜日　10:00～19:30
土・日曜日・祝日　10:00～18:00

・こどもとしょかん
火曜日～金曜日　10:00～18:00
土・日曜日・祝日　10:00～17:00

・中央こども館
火曜日～金曜日　10:00～18:00
土・日曜日・祝日　10:00～17:00

・文学ミュージアム
火曜日～金曜日　10:00～19:30
土・日曜日・祝日　10:00～18:00

・文学ミュージアム資料室
火～日曜日・祝日　10:00～17:00

・教育センター
研修グループ：月曜日～金曜日　10:00～17:00
相談グループ：火曜日～土曜日　9:00～17:00

・少年センター
電話相談：月曜日～金曜日　9:00～17:00
（水曜日のみ）　9:00～19:00
面接相談：月曜日～金曜日　9:00～17:00
eメール相談：24時間

○休館日

・月曜日
・年末年始（12/28 ～１/４）
・館内整理日（土・日を除いた月末）

施　設

１　概要

敷地面積 11,012㎡　　構　造　鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1 階、地上３階 一部４階建)
建築面積　6,164㎡　　延床面積 19,647.79㎡　　総工費　125億 1,600万円

２　施設案内

１階	中央 図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊　・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こども としょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央 こども館	1,655㎡	・遊びを通してこども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
２階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ　・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
３階	教育センター	2,198㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所及び電話による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム 資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導、地区補導を通して青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
４階 地下１階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,379㎡	・一般駐車場９５台　・音楽スタジオ、集会室

３　整備機能

地下１階
- 音楽スタジオ
  （１室はドラムセット・デジタルピアノを設置、５～６人演奏練習に利用可）

１階　中央図書館
- ポピュラーライブラリー
- レファレンスライブラリー
- レファレンスカウンター
  （調べものの相談対応）
- ブラウジングコーナー
  （新聞、雑誌の軽読書に利用）
- 予約受取コーナー
- ＡＶコーナー
- 調べもの用インターネットブース
- 持ち込みPC利用ブース
- 障害者サービス室
- 対面朗読室
- シニアルーム（研究個室）
- ビジネスルーム
  （パソコン・電卓持込利用可）
- ヤングアダルトルーム
- 資料検索コーナー
- ＩＣゲート（貸出確認システム）設置

１階　こどもとしょかん
- おはなし室
- くつろぎ広場（じゅうたんｺｰﾅｰ）

１階　中央こども館
- アスレティック･フォーリー
- 光のトンネル　・卓球
- バスケットボール

中２・３階
- 閉架書庫（収蔵能力80万冊）

２階　文学ミュージアム
- グリーンスタジオ
  最大260人収容、可動床によりさまざまな催しができる多目的スタジオ
- ベルホール
- 通常展示フロア
- 企画展示室
- 映像メディア編集室
- 文学研修室
- アナウンスブース

３階　教育センター
- 研修室４室　・和室研修室
- コンピュータ研修室
- 教育相談室
- 和室相談室　　・プレイルーム
- ふれんどルーム市川

３階　文学ミュージアム資料室

３階　少年センター

２．市川市教育センター

〒272-0015　市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335(研修担当事務室)
047-320-3336(相談担当事務室)
047-320-3345(少年センター事務室)
教育センター行徳相談室
〒272-0192　末広1-1-31
TEL 047-318-3223

特 色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、機能を整備し拡充してきた。

平成６年11月に、市川市生涯学習センターの設置と同時に移転し、生涯学習の基礎を担う一端に位置づけられた。

主に市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修、学校の情報化に関すること、子どもや保護者からの教育相談などを行っている。教育相談の内容は、子育てに関することから不登校など学校生活に関することまで幅広く、教育に関する経験と見識を併せ持つ相談員や臨床心理士が常駐している。

沿 革

昭和36年４月	市川市役所内に市川市教育研究所を置く
昭和37年１月	教育相談事業開始
昭和38年３月	小学３・４年生用副読本「わたしたちの市川」初版発行
昭和48年４月	教職員等研修事業開始
昭和49年４月	就学指導委員会条例施行
昭和54年４月	教育実践記録論文「いぶき」第１回募集
昭和54年６月	「教育いちかわ」１号発行
昭和58年12月	南八幡5-20-3に移転、「市川市教育センター」と改称
平成元年	公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始
平成６年11月	市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転
平成６年	適応指導教室開級
平成８年	文部省指定「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」～10年
平成11年	文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」
平成13年	文部科学省指定「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」
平成13年	文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年
	文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年
平成15年	文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」
平成16年	文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」～18年
平成18年	文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」～20年
平成19年	きらきら体験留学事業
平成21年	文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」
平成22年	文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～23年
平成22年	「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管
平成25年	文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」～26年

平成25年	校内ＬＡＮシステム、校務支援システム、ＩＣＴ機器等の導入
平成27年	教育支援委員会条例施行 文部科学省委託「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」～29年
平成30年	文部科学省委託「学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館利活用に係る調査研究」～令和元年
令和元年５月	教育センター行徳相談室開室
11月	校内ＬＡＮシステム機器入れ替え
令和２年	文部科学省委託「学校図書館の振興に向けた調査研究」 適応指導教室週５日開室
令和３年	文部科学省委託「学校図書館の活性化に向けた調査研究」 ＧＩＧＡスクール構想 ＧＩＧＡネットワーク、無線ＬＡＮ、タブレット端末の導入

施　設

市川市生涯学習センター　３階　2,233㎡
（通称　メディアパーク市川）

事　業

１　学校情報化研究事業

情報活用能力育成のために、文部科学省より示された「教育のＩＣＴ化に向けた環境整備５か年計画（2018～2022年度）」等を参考に、学校のＩＣＴ環境整備を進めていく。また、学習の基盤となる資質能力としての情報活用能力を育てるために必要な研修の機会等を実施する。

２　学校図書館支援事業

図書を相互利用する物流システム、図書の管理等を効率的に行う図書管理システムを活用し、学校図書館の支援を目的に学校図書館の機能の充実・強化を図る。

３　教職員等研修事業

市川市の教職員の資質・力量の向上を図るため、市川市、千葉県、国の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応じた研修を行う。

（１）層別研修
（２）職務別研修
（３）希望研修

４　社会科副読本等製作事業

小学校における郷土に関する学習指導の在り方を研究するとともに、副読本「わたしたちの市川」（小学校３・４年用）及び指導解説資料等の作成をする。

５　教育情報事業

（１）「教育いちかわ」による教育情報配信

市川市教育委員会の施策や新しい教育情報等を市民・保護者・学校関係者にＨＰ、ＳＮＳを通じて提供する。

（２）教育実践記録論文集「いぶき」

教職員の日常の教育活動をまとめた論文を募集し、論文集を発行する。優れた実践を紹介し、市川教育の向上に努める。

（３）教科書センター

各種教科書を常設し、学習指導のための資料提供や教科内容の研究等を行うことができる。また、保護者、市民にも利用できるようにすることで、教科書や教科への理解を深める。

６　教育情報収集・提供事業

学校要覧、教育課程編成資料、研究紀要を収集し、各学校へ情報を提供する。

７　教育支援委員会運営事業

（市川市教育支援委員会）

特別な支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及び転学に関し教育委員会の諮問に応じ調査審議するとともに必要に応じ建議する。

８　教育相談事業

（１）教育相談

市内在住の３歳以上の幼児・小学生・中学生とその保護者を対象に、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員等が保護者との面接相談やカウンセリングを行ったり、子どもとのプレイセラピー（遊戯療法）を実施したりすることで悩みの軽減や解消を図る。

（２）ほっとホッと訪問相談

不登校をはじめとする子育て全般の悩みに対して、経験豊かな相談員が電話相談や訪問相談等を行うことで、児童生徒及び保護者の心の安定を図る。

９　適応指導教室運営事業

（ふれんどルーム市川）

心理的な要因等で不登校の状態になっている児童生徒に対して、小集団での活動を通じて自己肯定感を高め、集団生活への適応力を育む等、個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援を行う。

10　補導員活動事業

非行の早期発見・未然防止のため、市が委嘱した160名の少年補導員と市川・行徳両警察署の協力を得て、実施計画に基づいた市内全域の補導活動を実施する。

11　少年相談事業

複雑化、深刻化する傾向にある相談者の悩みやニーズに対応できるよう、電話や電子メールから、面接相談や他の専門機関などへの適切な受け渡しに努め、相談効果を高める。併せて、ＳＮＳを活用した相談窓口を開設する。

12　社会浄化啓発活動事業

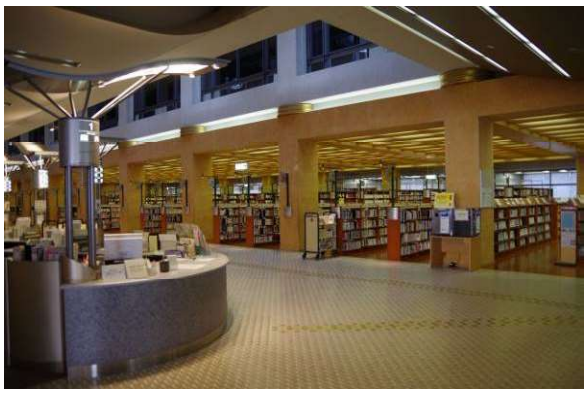
少年非行及び犯罪の発生予防を目的として、少年（青少年）に有害な社会環境の浄化・改善活動、少年の非行化防止活動、ネットトラブル防止出張授業など少年の健全育成のために必要な施策を行う。

13　少年センター運営協議会事業

教育委員会の諮問に応じて、少年センターの運営についての方向性等を審議する少年センター運営協議会を開催する。

３．　市川市立図書館

〒272-0015　市川市鬼高 1-1-4（中央図書館）
TEL　047-320-3346　　FAX　047-320-3351



特　色

図書館は、社会を取り巻くさまざまな課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料･情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性については、平成 26 年度に「市川市立図書館運営基本計画」を策定しており、その評価を実施し公表している。本計画では、三つの柱の下に、7 つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けている。

1　情報拠点としての市民の学びを支える図書館
- （1）さまざまな市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
- （2）図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実
- （3）関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供

2　子どもの成長をサポートする図書館
- （1）発達に応じた豊かな読書のための環境整備
- （2）公共図書館と学校等との連携の強化

3　地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館
- （1）市川市の歴史・文化の保存と継承
- （2）行政の情報拠点としての役割

沿　革

昭和		
25 年	9 月	創立開館 市川小学校に併設（２教室）
32 年	5 月	葛飾八幡宮境内に移転して独立館として新設
37 年	5 月	夜間開館実施
39 年	3 月	図書館設置条例の制定
	6 月	徳願寺境内に行徳分館開館
43 年	5 月	八幡本館隣りに新館開館
50 年	9 月	移動図書館「みどり号」運行
54 年	2 月	信篤図書館開館、行徳分館を行徳図書館に改称
55 年	4 月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56 年	10 月	行徳図書館、行徳支所４・５階に移転して開館
58 年	10 月	南行徳図書館開館
60 年	11 月	電算システムを導入し、市内５館をオンラインで結び、システムによる貸出開始
62 年	10 月	平田図書室開室
平成		
元年	4 月	行徳図書館、行徳支所隣に新館として開館
6 年	11 月	市川市中央図書館開館
12 年	10 月	蔵書公開を開始
14 年	11 月	ウェブからの所蔵予約開始
15 年	3 月	自動車図書館車を圧縮天然ガス（CNG）車に更新
17 年	4 月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける
18 年	10 月	宅配サービス開始
21 年	4 月	指定管理者制度を導入し、市川駅南口図書館開館
23 年	4 月	中期計画を策定
26 年	11 月	中央図書館開館 20 周年記念行事を開催
27 年	3 月	運営基本計画を策定
28 年	4 月	赤ちゃんカード発行
	7 月	行徳図書館に IC 機器導入
	12 月	大野公民館図書室蔵書管理のバーコード化
31 年	3 月	西部公民館図書室蔵書管理のバーコード化

令和
元年　11月　中央図書館・こどもとしょかんを IC 化、自動貸出機・自動返却機・予約受取確認機を設置
行徳図書館に予約受取確認機を設置
中央図書館・行徳図書館に予約受取コーナーを新設

施 設

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012	—	4,958	—	410	—
建築面積	6,164	—	674	304	120	—
延べ床面積	6,411	256	2,223	912	360	573
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上４階地下１階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上２階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上５階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上３階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上３階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下２階/地上 45 階（3 階部分）
蔵書冊数（冊）	758,924	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668
雑誌（点）	46,415	801	4,650	1,595	1,200	1,076
CD（点）	11,712	—	7,346	—	—	—
ビデオ（点）	329	—	7	—	—	—
ＤＶＤ（点）	2,011	—	457	—	—	990
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日　年末・年始及び蔵書点検期間 ※　中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席（席）	380	17	166	36	9	61
駐車場（台）	（共有）95	—	（共有）69	（共有）20	—	—
利用者端末（台）	(*1)23	1	(*2) 7	1	1	(*2) 7
職員数（女性）*3	31（16）	2（1）	8（4）	3（2）	3（1）	指定管理者制度
司書数（女性）*3	22（14）	1（1）	5（4）	2（2）	2（1）	指定管理者制度
交通手段（最寄駅）	京成鬼越駅より徒歩 13 分 JR本八幡駅下総中山駅より徒歩 15 分	JR本八幡駅より徒歩 10 分 京成菅野駅より徒歩8分	東西線行徳駅より徒歩5分	東西線原木中山駅より徒歩2分	東西線南行徳駅より徒歩 15 分	ＪＲ市川駅より徒歩2分

＊１　Webーopac 等を含む。
＊２　外部データベース閲覧3台含む
＊３　再任用職員を含む。令和4年4月1日現在

事 業

１　資料の提供

市内に５館１室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポスト 12 箇所の配置により、利便性の向上に努めている。

２　資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度の「資料収集計画」という体系のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけではなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

（１）地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。また、市川市民の著作の収集に努める。

（２）視聴覚資料

ＣＤ・ＤＶＤ等図書以外の多様な媒体を提供できるよう、幅広い資料収集と保存を行う。

（３）逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物（新聞・雑誌）の収集・整理・保存を行う。

３　リクエストサービス

（１）リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

（２）国･県･市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

令和３年度は、他の自治体等への貸出冊数は 3,711 冊、借用冊数は 6,365 冊となった。

４　レファレンスサービス

探している資料が見つからない、知りたい「人」や「事柄」についてどのような資料を調べればよいのかわからないなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、図書館のウェブサイト上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

令和３年度の実績は 52,489 件となっている。

５　児童・青少年サービス

（１）児童サービス

子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に務め、館内の展示を行い、ブックリストやパスファインダーの作成・読み聞かせの会などを実施している。また、子どもをとりまく大人に対してもサービスを行う。

（２）ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult（若い大人）としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めた Young Adult コーナーを中央・行徳・信篤に、中学生コーナーを南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができる Young Adult Room があり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

（３）学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養い育てるために、公共図書館と学校図書館が連

携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約 1 万 800 冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

令和３年度、学校からの依頼件数は 479 件、4,266 冊の貸出があり、その他に学級文庫用に 2,260 冊を提供した。

６　特定対象別のサービス

（１）障がい者サービス

心身等、図書館を利用する上で何らかの障がいがある方に、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供する。

一般の図書の形態での読書が困難な方には、点字図書、大活字図書、ＣＤブック、ＤＡＩＳＹ図書等を用意し、また、来館の困難な障がいがある方には、郵送サービスを行っている。

（２）外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの一つとして、市川市に居住する外国人に対して、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集し提供している。また、外国人利用者向けの図書館利用案内（英語版・中国語版・韓国語版）を用意している。

令和３年度の主な言語別蔵書冊数は、英語 7,246 冊、中国語 3,889 冊、韓国語 1,661 冊、その他の言語 1,663 冊となっている。

７　自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障がいのある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。

なお、令和４年度に車両の更新を行った。

令和３年度末の蔵書冊数は 16,483 冊、延べ利用者数は 5,331 人、貸出点数は、25,797 点となっている。

８　公民館図書室

市内 15 の公民館のうち、７つの公民館（西部・東部・曽谷・大野・市川・市川駅南・本行徳）に設置されている。図書館が設置されていない市北部地域の図書館サービスを補完する拠点として、大野と西部の２室については、ＩＣによる蔵書管理とし、図書館システムのデータベースを一元化している。

９　市民図書室

３つの小学校（塩焼・福栄・大柏）に、学校図書室とは別に設置されている。

当初、コミュニティ・スクールの一環としてはじまり、現在も、地域ボランティアが主体となり、読書活動を推進する目的で、絵本の読み聞かせ会や人形劇など、地域に根ざした活動を行っている。

平成 12 年 10 月より、オンラインの図書館ＰＣを設置して、予約図書の貸出、返却を実施。

令和３年３月に稲越市民図書室は閉室。

10　市内大学図書館との連携事業

市と各大学の包括協定の内容に含まれており、市民の専門的・学術的な資料要求に応えるために市内の大学図書館と相互利用等を提携している。

（１）千葉商科大学付属図書館

市川市立図書館の 18 歳以上の登録利用者に、紹介状を発行することで、大学側が図書館の年度内利用を認めている。

令和３年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、学外利用者は大学に入構できないことから、紹介状発行は実施していない。

令和元年度の紹介状発行件数は 142 件。

（２）和洋女子大学メディアセンター

市立図書館に所蔵がない図書を対象に、和洋女子大学で所蔵する専門的な図書（雑誌・貴重書等を除く）を、市内の図書館に取り寄せて館内閲覧することができる。

令和３年度の借用件数は０件、市川市立図書館からの貸出件数０件。

11　返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内 12 ヶ所（市川市役所本庁舎・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学付属図書館・イオン市川妙典店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店・菅野公民館）の図書館以外の施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。

令和３年度の実績は、約 21 万冊の返却があった。

図書返却ポスト

12　リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。

例年、中央・行徳図書館では、「市川図書館友の会」の協力のもと実施している。

また、中央図書館では、小・中学校図書室、こども館、放課後保育クラブ等、私立幼稚園等の施設を対象にしたリサイクルブック市も行っている。

なお、令和３年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

令和３年度統計
（１）蔵書冊数

（単位：冊）

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,528	52	323	2,620	358	327	361	15,569
1哲学	23,301	205	723	3,457	1,091	696	741	30,214
2歴史	32,164	254	1,474	8,732	1,750	1,542	2,710	48,626
3社会科学	58,008	443	2,418	15,799	2,572	2,508	1,693	83,441
4自然科学	28,104	397	1,490	6,095	1,685	1,602	1,104	40,477
5技術	21,184	1,697	2,929	8,535	2,907	2,886	5,755	45,893
6産業	9,117	100	723	2,812	751	625	856	14,984
7芸術	36,338	336	2,112	9,403	2,553	1,682	2,854	55,278
8言語	9,858	44	402	1,988	452	357	511	13,612
9文学	50,992	6,870	8,963	29,039	10,981	8,439	7,378	122,662
郷土行政	56,046	0	399	3,990	616	522	496	62,069
参考資料	27,443	0	145	2,072	326	220	409	30,615
外国語資料	13,735	0	0	724	0	0	0	14,459
障がい者資料	9,767	246	0	691	0	0	0	10,704
コーナー別資料	275,146	0	4,531	22,010	9,242	6,244	48,061	365,234
一般計	662,731	10,644	26,632	117,967	35,284	27,650	72,929	953,837

（単位：冊）

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	522	28	89	283	180	80	76	1,258
1哲学	528	26	105	229	85	69	59	1,101
2歴史	4,527	92	502	1,551	432	523	424	8,051
3社会科学	4,226	117	499	1,591	370	515	421	7,739
4自然科学	8,839	530	1,336	2,818	1,061	1,391	1,206	17,181
5技術	2,893	244	466	1,173	381	491	557	6,205
6産業	1,689	82	250	601	162	254	223	3,261
7芸術	3,622	308	605	1,418	677	594	649	7,873
8言語	962	22	173	349	132	157	126	1,921
9文学	26,247	1,756	4,006	10,108	3,820	4,936	3,103	53,976
E絵本	35,772	2,491	6,594	15,943	5,266	6,070	6,501	78,637
P紙芝居	1,331	143	238	510	140	215	311	2,888
児童郷土	1,404	0	5	309	78	16	0	1,812
児童参考	792	0	17	165	47	26	83	1,130
児童研究	2,839	0	0	574	67	135	0	3,615
児童計	96,193	5,839	14,885	37,622	12,898	15,472	13,739	196,648

図書計	758,924	16,483	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668	1,150,485

（単位：点）

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,415	0	801	4,650	1,595	1,200	1,076	55,737
ビデオ	329	0	0	7	0	0	0	336
DVD	2,011	0	0	457	0	0	990	3,458
CD	11,712	0	0	7,346	0	0	0	19,058
その他付録等	745	0	7	70	2	3	51	878
図書以外計	61,212	0	808	12,530	1,597	1,203	2,117	79,467

総計	820,136	16,483	42,325	168,119	49,779	44,325	88,785	1,229,952

		大野公民館図書室	17,378	市川駅南公民館図書室	7,039	図書館以外	
塩焼市民図書室	19,562	西部公民館図書室	15,491	本行徳公民館図書室	17,503	市民図書室	
福栄市民図書室	19,825	曽谷公民館図書室	13,287	公民館図書室計	90,997	公民館図書室	
大柏市民図書室	17,336	東部公民館図書室	11,615	ウィズ情報資料室	15,104	その他	
市民図書室計	56,723	市川公民館図書室	8,684	その他計	15,104	合計	162,824

他施設含む総計 1,392,776

（２）分類別貸出冊数

（単位：冊）

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,324	38	543	5,051	446	686	2,072	14,160
1哲学	23,620	262	1,268	12,998	1,588	1,976	8,360	50,072
2歴史	18,559	687	2,645	20,231	2,712	2,536	15,273	62,643
3社会科学	35,881	510	2,901	28,659	2,743	3,793	13,441	87,928
4自然科学	18,552	369	1,732	13,810	1,854	1,701	7,001	45,019
5技術	16,260	1,798	5,083	31,849	3,974	5,284	28,368	92,616
6産業	4,943	156	660	6,295	653	834	3,719	17,260
7芸術	18,569	236	1,474	13,200	1,990	1,596	9,720	46,785
8言語	9,894	151	392	4,000	353	546	3,203	18,539
9文学	23,805	6,980	10,927	62,123	11,465	11,630	42,100	169,030
郷土行政	3,221	9	110	622	172	209	1,014	5,357
参考資料	688	1	9	23	14	4	12	751
外国語資料	2,111	5	84	790	40	52	344	3,426
障がい者資料	6,087	137	69	1,145	42	191	328	7,999
コーナー別資料	469,626	2,027	16,166	125,454	31,375	21,931	185,749	852,328
一般計	657,140	13,366	44,063	326,250	59,421	52,969	320,704	1,473,913

（単位：冊）

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1,060	38	104	730	85	147	541	2,705
1哲学	1,426	90	137	787	68	82	484	3,074
2歴史	4,805	143	371	3,153	289	249	1,648	10,658
3社会科学	7,280	340	487	3,548	225	357	2,099	14,336
4自然科学	19,853	973	1,264	11,982	1,210	1,340	7,387	44,009
5技術	8,222	429	1,035	5,860	598	1,105	4,408	21,657
6産業	2,829	123	431	1,606	210	289	1,111	6,599
7芸術	10,232	880	1,123	5,920	880	917	4,266	24,218
8言語	1,649	48	216	1,201	84	177	678	4,053
9文学	74,335	3,609	8,207	46,602	4,127	5,536	27,333	169,749
E絵本	211,367	5,267	17,519	110,912	15,856	17,365	77,384	455,670
P紙芝居	7,257	154	332	2,934	198	556	2,623	14,054
児童郷土	636	0	3	69	7	2	19	736
児童参考	28	0	2	9	1	3	3	46
児童研究	816	3	21	244	13	59	169	1,325
児童計	351,795	12,097	31,252	195,557	23,851	28,184	130,153	772,889

図書計	1,008,935	25,463	75,315	521,807	83,272	81,153	450,857	2,246,802

（単位：点）

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	42,601	207	3,406	20,557	3,665	5,882	10,970	87,288
ビデオ	71	0	0	29	0	0	0	100
DVD	10,989	0	117	2,625	123	244	3,286	17,384
CD	24,288	0	445	13,624	471	414	2,249	41,491
その他付録等	2,554	127	256	2,545	272	164	16,773	22,691
図書以外計	80,503	334	4,224	39,380	4,531	6,704	33,278	168,954

総計	1,089,438	25,797	79,539	561,187	87,803	87,857	484,135	2,415,756

		大野公民館図書室	81,678	ウィズ情報資料室	3,165	図書館以外	
塩焼市民図書室	4,072	西部公民館図書室	49,551	情報プラザ	48,130	市民図書室	
福栄市民図書室	4,520	曽谷公民館図書室	8,609	千葉商科大学図書館	0	公民館図書室	
大柏市民図書室	1,506	東部公民館図書室	3,732	宅配	445	その他	
市民図書室計	10,098	公民館図書室計	143,570	その他計	51,740	合計	205,408

他施設含む総計 2,621,164

（3）関連施設統計

①市民図書室

	開室日数	利用者数	一日平均	貸出日数	貸出冊数	一日平均	受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
塩焼市民図書室	150	13,312	88.7	150	24,582	163.9	529	0	19,562
福栄市民図書室	149	9,981	67.0	149	24,495	164.4	557	112	19,825
大柏市民図書室	147	4,700	32.0	147	7,017	47.7	224	94	17,336
計	446	27,993	62.8	446	56,094	125.8	1,310	206	56,723

４．市川市公民館（社会教育課）

〒272-8501 市川市南八幡 2-20-2 第２庁舎４階
TEL 047-320-3343　FAX 047-320-3344

特　色

１　公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性と自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応えて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取組む。

２　具体的な目標

（１）施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
（２）あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
（３）生涯学習に関する情報の提供に努める。
（４）サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

３　公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）の発行

公民館主催講座の情報紙として、９月と３月の年２回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容の紹介および受講生の募集をしている。

新聞折込配布、公共施設・駅スタンド配布、タブロイド版、２色刷り。

利　用

１　開館時間　午前９時～午後９時
２　休館日　毎月の最終月曜日、祝日（祝日が日曜日の場合は振替休日の日）、年末年始（12月29日～１月３日）

菅野公民館（平成23年４月開館）

沿　革

昭和27年５月	市川市公民館が開館（現在の中央公民館）
昭和49年11月	西部公民館が開館 市川市公民館を中央公民館に改称
昭和53年９月	行徳公民館が開館
昭和53年10月	鬼高公民館が開館
昭和54年４月	東部公民館が開館
昭和55年３月	柏井公民館が開館
昭和55年４月	本行徳公民館が開館
昭和56年５月	市川駅南公民館が開館
昭和56年９月	大野公民館が開館
昭和57年４月	信篤公民館が開館
昭和58年５月	曽谷公民館が開館
昭和62年５月	若宮公民館が開館
平成元年４月	「公民館だより」発行 （翌年「カルチャーガイド」に改称）
平成元年５月	幸公民館が開館
平成２年５月	南行徳公民館が開館
平成３年５月	市川公民館が開館
平成７年10月	一部公民館にて月曜開館の試行開始
平成10年９月	公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定
平成11年４月	公民館組織改正 （地域別に４ブロック制に）
平成12年４月	公民館使用料の単価を、午前・午後・夜間の３区分から、１時間単位に変更
平成12年５月	インターネットによる公民館予約システム運用開始
平成13年３月	「ミーティアムガイド」（「カルチャーガイド」から改称）を発行
平成13年４月	公民館組織改正 （公民館センターの設置）
平成14年４月	行徳公民館に新館を増設
平成16年６月	中央公民館菅野分館が開館
平成17年４月	全館で月曜開館の実施
平成18年４月	夜間を管理委託から直営に
平成23年４月	菅野公民館が開館
平成25年４月	公民館組織改正 （公民館センターから社会教育課に変更）

平成27年10月	公民館使用料に、市民等以外の料金を新設
平成28年４月	施設使用料統一減免基準施行開始
平成30年４月	一部のレクリエーションホール等で面積２分の１利用のサービス導入
令和２年７月	新たな学習機会の提供として公民館オンライン講座（動画配信）を開始
令和３年11月	中央公民館が閉館

令和３年度の状況

公民館名	総利用者数（人）	主催講座講座数 ※2	令和３年度開催講座の例
中央 ※1	8,911	1	市川のむかし話（第１話～第３話）
鬼高	10,865	2	足裏リフレクソロジー おうちで手軽に！うち楽ストレッチ
信篤	29,038	2	筑前琵琶弾き語り いにしえのリュートの音色に心と耳を傾けて
東部	36,794	2	キッチンハーブ 食べ方・暮らし方 気象予報士Kentaのお天気チャンネル（雲と天気）
柏井	10,373	3	地球温暖化防止とＳＤＧｓ 食べると笑顔になるクッキーの作り方
大野	50,839	2	地球にやさしい！エコなみつろうラップを作ろう 親子でｒｅ工作（リサイクル工作）
若宮	7,264	2	若宮さんぽ！落語家と行く名所巡りPart１ 知っておきたい！お正月のしきたり
市川	41,937	1	万葉の里 市川
西部	40,804	2	裂きあみコースターをつくる～布のリサイクル ママとキッズのマスクにも映える春のヘアアレンジ
市川駅南	25,190	3	バランスボール入門編 肩こり・腰痛予防 おうち時間のお楽しみ 簡単キッシュを作ろう
曽谷	67,298	3	ライアーの世界へようこそ 楽しい陶芸を学びましょう
行徳	58,478	2	親子で粘土 楽しい時間 親子で楽しいお菓子作り
本行徳	8,860	5	それ行け！行徳調査隊 行徳の今昔とおみこし作り 誰でもできる！正しい姿勢と歩き方
幸	16,329	2	中高年のフレイル予防 ストレッチ＆筋トレ 変わり種餃子を作ってみよう
南行徳	40,450	5	相之川・欠真間歴史散策 アロマのマスクスプレーづくり
菅野	29,935	4	市川の民話 奉免の常盤井姫 日本の伝統話芸 のぞいてみよう浪曲の世界
社会教育課		7	市川の魅力 ここをおさえればプロ級の写真が撮れる お子さんのネットトラブルを防ぐために
合計	483,365	48	

※1　中央公民館は令和３年11月末日で閉館
※2　令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、すべての講座は動画配信等による
　　オンライン方式で開催した。

５．　市川考古博物館

〒272-0837　市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202　FAX 047-373-2205

▲博物館全景

●博物館案内図

特　色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、しかも堀之内貝塚・曽谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を含んでいる。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる考古専門館である。

生涯学習の時代の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿　革

昭和47年11月　市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
50年２月　登録博物館となる。登録第７号。
57年11月　市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
60年３月　常設展展示替えによる新装開館。

施　設

１　施設案内
建物構造　鉄筋コンクリート造２階建（一部地階）
敷地面積　7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積　931.80㎡
延床面積　1,513.68㎡

〔主な施設〕
ホール展示室　90.9㎡
常設展示室　387.2㎡
学習室　28.2㎡
収蔵室　346.5㎡

２　交通案内
●北総線「北国分駅」から徒歩10分
●ＪＲ総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「堀の内３丁目」バス停下車徒歩５分、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収 蔵 資 料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

１　先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
２　縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曽谷貝塚、堀之内貝塚等
３　弥生時代関係
須和田遺跡、木戸口遺跡、後畑遺跡、国府台遺跡等
４　古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
５　奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事　業

１　常設展示

過去十数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

＜展示内容＞

○前室　環境の変化

過去十数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石・クジラ化石・サンゴ化石・地層模型などで紹介している。

○第１室　最初の住民＜先土器時代＞

原人・旧人・新人の胸像模型と、１万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第２室　貝塚の形成＜縄文時代＞

土器を使用した縄文人は、狩猟・漁労・植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第３室　稲作文化の伝来＜弥生時代＞

朝鮮半島から伝来した稲作等の農耕とその文化が人々の暮らしを大きく変え、市川に普及した様子を展示している。

○第４室　古墳の出現＜古墳時代＞

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には６世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第５室　律令の社会＜奈良・平安時代＞

７世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺・国分尼寺が置かれた。仏像・瓦・墨書土器・役人の服・伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

２　展示

ホール小展示

・「下総に咲いた華」
　令和元年８月10日～令和３年８月29日

・「市川出土の縄文土器」
　令和３年９月７日～令和４年７月31日

３　講座・説明会・体験学習・見学会など

行　事　名		内　　容
講座・講演会等	○考古学教室（令和３年度中止）	『続日本紀』を読む全6回 『日本霊異記』を読む全8回
	○歴史カレッジ（１年間延期）	第12期
	○歴史カレッジ関連（令和３年度中止）	
	○展示解説	75回　1,491人
体験・見学会・養成	○小学校出前授業	26校　2,334人
	○小学校巡回展	５校　3,010人
	○中学校火おこし指導	１校　38人
	○ボランティア研修	17回　111人
	以下R3年度中止	
	○博物館体験学習	
	○サマーフェスタ	
	○縄文フェスタ	
	○ナイトミュージアム	
	○バス見学会	

４　協力

市川市史編さん事業

５　学生・教員研修

学芸員館務実習５大学５人

利　用

１　利用案内

・開館時間　９時～16時30分
・休館日　月曜、月曜が祝日の翌日
　年末年始（12月28日～１月４日）

２　入館料　常設展・企画展は無料

３　利用状況(表1参照)

表１（令和３年度）　開館日数302日

入館者			外部サービス利用者			合　計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計
6,684	11,025	17,709	5,060	920	5,980	11,744	11,945	23,689

６．　市川歴史博物館

〒272-0837　市川市堀之内2-27-1
TEL 047-373-6351　FAX 047-372-5770

第４室　台地の人々の生活のコーナー

特　色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿　革

昭和 57 年 11 月　市立市川歴史博物館として開館。
12 月　登録博物館となる登録 17 号。

施　設

１　施設案内
建物構造　鉄筋コンクリート造２階建(塔屋付)
敷地面積 3,388.04 ㎡ 建築面積 1,199.16 ㎡
延床面積 2,001.57 ㎡
〔主な施設〕
常設展示室 430 ㎡　特別展示室 249 ㎡
講　　堂 104 ㎡　収　蔵　室 234 ㎡

２　交通案内
●北総線「北国分駅」から徒歩８分
●ＪＲ総武線「市川駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス停下車徒歩 10 分、ほか。

案内図は、２ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収 蔵 資 料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

１　中世（鎌倉～戦国時代）関係
　板碑、日蓮関係資料（複製）等
２　近世（江戸時代）関係
　高札、古文書、製塩用具等
３　近現代（明治～昭和時代）関係
　古写真、戦争関係資料、学校関係資料等
４　民俗関係
　生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事　業

１　常設展示

○前室
当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第１室　中世以降の市川
中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論（複製）、空襲日誌等

○第２室　海辺の人々の生活
かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。
展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第３室　水路と陸路
市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果してきた。

一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わるところに、市川関所と行徳新河岸があった。

ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には市域の水路と陸路の概略を紹介する。

展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第４室　台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここでは、民家の一部を移築復元して、土間を中心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行事を組み合わせる事により、一年を周期とする生活を紹介する。

展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第５室　郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節の民俗資料を展示する。

展示資料：坪井玄道関係資料

２　展示

企画展

「発見・体験・昔のくらし」

令和３年 11 月３日～１月 31 日

「葛飾八幡宮と八幡の藪知らず」

令和３年３月 23 日～５月９日

季節の展示　春、夏、秋、冬

通年

３　講座・説明会・体験学習など

行　事　名		内　　容
講座・講演会	○近代史講座 ○民俗学講座 ○中世史講座 ○歴史カレッジ ○歴史カレッジ公開講演会	全て中止
体験・養成	○小学校体験学習	昔のくらし体験（来館型）15 回 〃　（出前型）１回
	○昔遊び体験	中止
	○子ども歴史講座	中止
	○サマーフェスタ	中止
	○ナイトミュージアム	中止
	○ボランティア講習会	昔のあそび指導員養成５回

４　協力

市川市史編さん事業

５　研修

学芸員館務実習５大学５人

利　用

１　利用案内

・開館時間　９時～16 時 30 分

・休 館 日　月曜、月曜が祝日の翌日

年末年始（12 月 28 日～１月４日）

２　入 館 料

・常設展・企画展は無料。

３　利用状況（表１参照）

表１（令和３年度）開館日数 302 日

入　館　者			外部サービス利用者			合　計		
18 歳未満	18 歳以上	計	18 歳未満	18 歳以上	計	18 歳未満	18 歳以上	総計
5,099	13,017	18,116	140	77	217	5,239	13,094	18,333

７．　市川自然博物館

〒272-0801　市川市大町284
TEL 047-339-0477　FAX 047-339-1210

特　色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見することを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

沿　革

平成元年10月24日　開館
　　開館記念特別展「市川の植物」
平成２年度　企画展「大町自然観察園の自然」
平成３年１月10日　千葉県博物館原簿に登録
平成３年度　企画展「市川の鳥」
平成４年度　企画展「江戸川放水路の自然」
平成６年度　企画展「市川のさかな」
平成９年度　企画展「柏井雑木林の自然」
平成12年度　企画展「市川市内の絶滅危惧種」
平成15年度　企画展「長田谷津（大町自然観察園）」
平成18年度　企画展「いちかわの動植物　基本ブック」
平成21年度　企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」
平成24年度　企画展「いきものの成長」
平成27年度　企画展「いきものの体」
平成30年度　企画展「動物のなかまわけ」及び「堀之内地区一帯の土地利用の変遷とかつての自然景観」
令和3年度　企画展　「長田谷津、江戸川放水路」

施　設

１　施設案内

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下１階、地上２階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

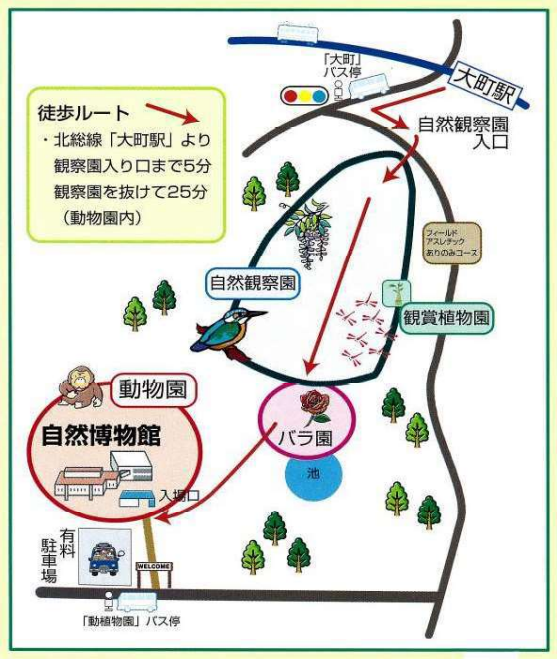
２　交通案内

JR総武線本八幡駅北口またはJR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩10分（毎日運行）。

北総線大町駅より、本八幡行き京成バス「駒形」下車徒歩10分。

コミュニティバス「動植物園」下車徒歩１分。

３　博物館案内地図



収 蔵 資 料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種　目	品　　目
標本資料	植　物　さく葉標本 植　物　藻類さく葉標本 鳥　類　剥製標本 鳥　類　骨格標本 鳥　類　古巣標本 鳥　類　卵標本 鳥　類　付随標本 哺乳類　剥製標本 哺乳類　骨格標本 哺乳類　付随標本 魚　類　液浸標本 昆　虫　乾燥標本 昆　虫　古巣標本 昆　虫　付随標本 貝　類　貝殻標本 貝　類　液浸標本 甲殻類　乾燥標本 甲殻類　付随標本 地　学　遺骸・化石標本 地　学　土壌標本 地　学　岩石鉱物標本 その他　人工物など
映像資料	写真　デジタル画像 写真　35ミリポジ原版 写真　6×7センチポジ原版 写真　35ミリネガ原版 写真　プリント 映画　35ミリ

常 設 展 示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の４つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際にさまざまな生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第１テーマ「市川のおいたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

・ひろがる市街地　・市川の大地

○第２テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

・市川の林　・市川の海辺

○第３テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

・帰化植物　・都市鳥　・身近な昆虫

○第４テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行　事　名	内　　容
おやこ自然観察会 （令和３年度中止）	親子を対象にした自然観察園での観察会
長田谷津散策会 （令和３年度中止）	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
野草名札付け （令和３年度中止）	自然観察園で学芸員の指導により野草に名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備 （令和３年度中止）	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動 令和3年度　20校1,716人
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援（少年自然の家休館のため日帰りで実施） 令和3年度　8校693人
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援 令和3年度　なし

利　用

●開館時間　午前９時30分～午後４時30分（入館は４時まで）

●休館日　毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

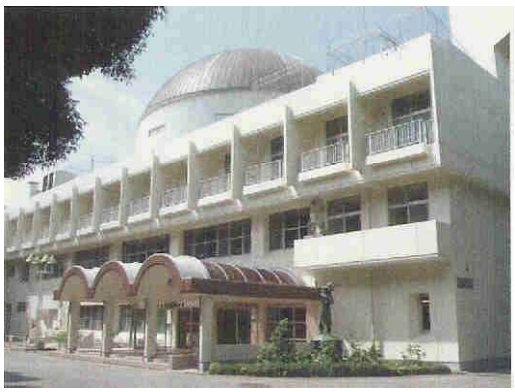
●入館料　無料

・利用状況（令和3年度）　開館日数 303日

	18歳未満	18歳以上	計
入館者	53,250	73,203	126,453
外部サービス利用者	2,409	383	2,792
合計	55,659	73,586	129,245

８．市川市少年自然の家

〒272-0801　市川市大町 280-4
TEL 047-337-0533　FAX 047-337-0534



特　色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・観賞植物園・バラ園・自然観察園・自然博物館に隣接した、自然豊かな地域に立地している。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・食堂・体育室・研修室（３室）・視聴覚室・プラネタリウム室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）

沿　革

昭和 57 年７月　開所
　　８月　プラネタリウム一般公開開始
昭和 62 年　５周年記念式典
昭和 63 年　野外活動倉庫建設
平成　５年　10 周年フェスティバル実施
　18 年９月　改修工事開始
　19 年７月　リニューアルオープン
　23 年４月　祝日開所開始

施　設

１　施設案内

敷地面積　10,513.00 ㎡
延床面積　3,730.79 ㎡（建築面積 1,209 ㎡）
建築様式　鉄筋コンクリート造４階建て

建物内訳

・宿泊室
　児童・生徒用　18 室　定員 180 人
　バリアフリー対応型　５室　定員　20 人
　引率者用　２室　定員 10 人
・研修室
　第１研修室　１室　定員 80 人
　第２研修室　１室　定員 50 人
　和室研修室　１室　定員 40 人
・視聴覚室　１室　定員 50 人
・プラネタリウム室　１室　定員 217 人
・体育室　縦 28m　横 14m
・食堂　１室　最大 204 席
・その他
　浴室、事務室、保健室他
付帯設備　集いの広場 2,475 ㎡
　野外炊事場

２　交通案内

・北総線松飛台駅　徒歩 20 分
・ＪＲ武蔵野線市川大野駅　徒歩 40 分
　または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車
　徒歩７分・・・乗車時間　約 10 分
・ＪＲ総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」　下車　徒歩７分・・・乗車時間　約 35 分

３　近隣地図

利　用

１　利用できる人

・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者

・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

２　宿泊利用に関わる経費

（令和４年４月１日現在）

・宿泊施設使用料（税込）

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	550 円
市外の方	高校生以下	2,470 円
	大学生以上	3,300 円

・シーツ、枕カバー洗濯代（税込）

１人　　198 円

・食事代（税込）

朝食・昼食　560 円～580 円

夕食　　580 円～790 円

◎プラネタリウム投影

毎週土・日・祝日（12 月 29 日～１月３日の休所日を除く）午後１:30 より

（７・８月は毎週日曜日・祝日）

25 名以上の団体は、予約により受付

※投影時間は、約１時間

・プラネタリウム見学料（税込）

	個　人	団　体
市内の方	160 円	130 円
市外の方	330 円	260 円

◎休所日

月曜日（祝日の場合はその後の平日）

年末・年始（12 月 29 日～１月３日）

★利用状況（令和３年度利用者）

開所日数０日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため通年にわたり臨時休所した。

区　　分				団体数	人　数
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校		0	0
		青少年団体		0	0
		そ　の　他		0	0
	市外	学校・青少年団体他		0	0
	小　計　A			0	0
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	0	0
			市外	0	0
		団　体	市内	0	0
			市外	0	0
	無料	小中高・特別支援学校他		0	0
		その他（減免団体）		0	0
		宿泊団体　D		0	0
	小　計　B			0	0
日帰り利用	プラネタリウム見学なし　C			0	0
	プラネタリウム見学あり			0	0
	小　計			0	0
合　計（A＋B＋C－D）				0	0

★主催･共催事業（令和4年度計画）

月	事　　業　　名
5	バラまつり
6	チャレンジャー・スクール①、プラネタリウムコンサート
7	ザ・チャレンジ！自由研究、チャレンジャー・スクール②
8	
9	親子宿泊体験
10	
11	チャレンジャー・スクール③
12	
1	チャレンジャー・スクール④
2	親子冬の天体観望会①、親子で火を囲もう
3	親子冬の天体観望会②、竹細工工房、チャレンジャー・スクール⑤

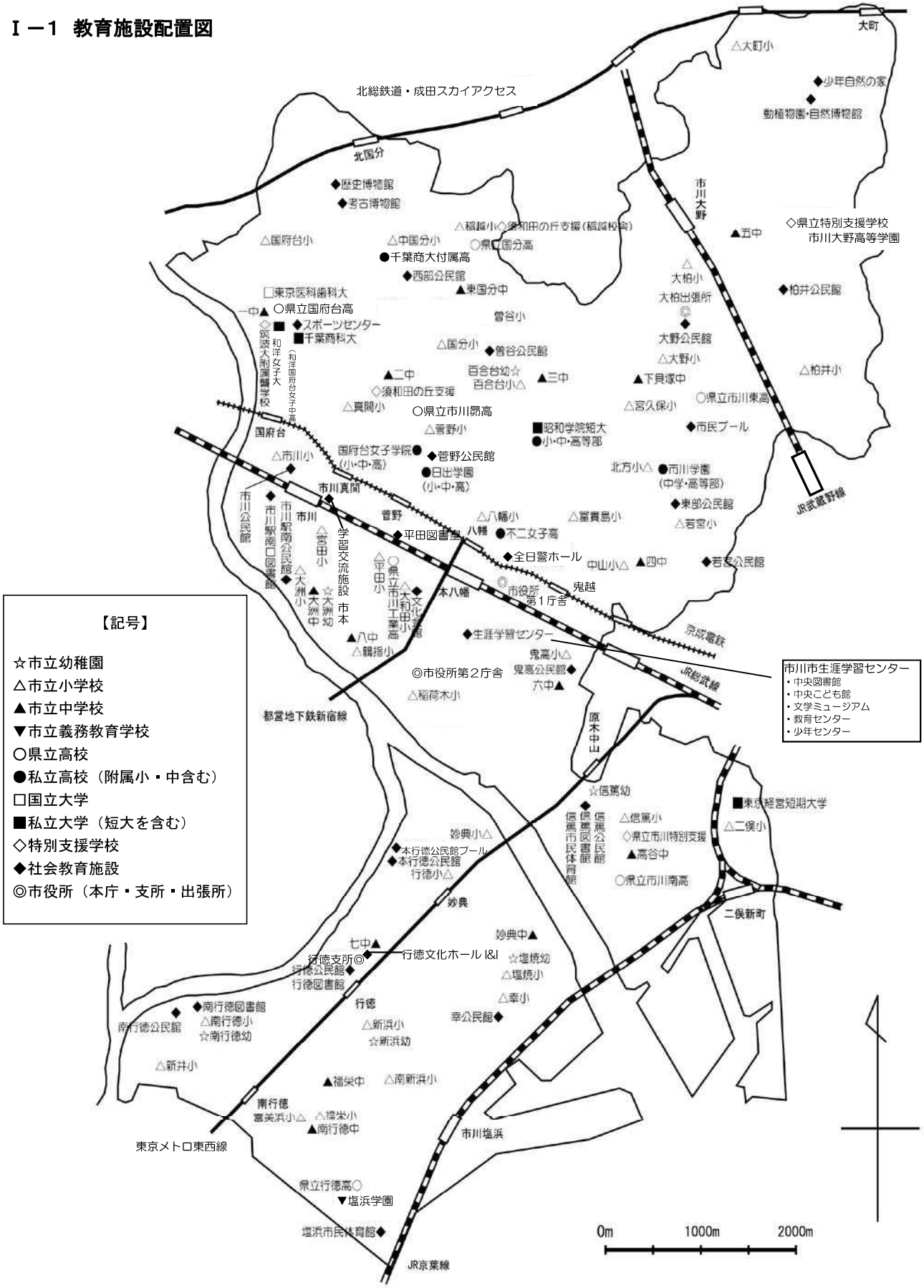
※新型コロナウイルス感染拡大防止により、通年にわたり臨時休所したため全て中止。

資料編

Ⅰ　学校施設関係・・・

Ⅰ　学校施設関係

Ⅰ－1　教育施設配置図



Ⅰ－2 学校一覧及び児童・生徒・園児数

【小　学　校】　（令和４年５月１日現在）

	学校名	所在地	電話	創立年月日	児童数 普通 学級数	男	女	計	特別支援学級 学級数	児童数
1	市川小	市川2-32-5	(325)4758～9	明 7. 6. 1	22	339	349	688	1	8
2	真間小	真間4-1-1	(372)4726～7	昭 9.11. 1	20	314	296	610	1	8
3	中山小	中山1-1-5	(335)2711～2	明16. 6.15	19	310	315	625	2	13
4	八幡小	八幡3-24-1	(325)4763～4	明 6. 3. 1	22	351	333	684		
5	国分小	東国分2-4-1	(371)6793～4	明 6. 6. 1	12	167	140	307	4	27
6	大柏小	大野町2-1877	(337)8141～2	明 6. 2.20	22	363	321	684	4	25
7	宮田小	新田4-8-15	(379)7647～8	昭25. 4. 1	14	225	213	438		
8	冨貴島小	八幡6-10-11	(334)2624～5	昭26. 4. 1	22	336	340	676		
9	若宮小	若宮3-54-10	(339)2177～8	昭27. 4. 1	21	332	319	651	2	12
10	国府台小	国府台5-25-4	(372)4672～3	昭27. 4. 1	19	313	268	581	3	11
11	平田小	平田3-28-1	(379)6761～2	昭28. 4. 1	15	208	217	425	4	30
12	鬼高小	鬼高2-13-5	(335)0304～5	昭31. 4. 1	29	443	443	886		
13	菅野小	菅野6-14-1	(324)5955～6	昭32. 4. 1	19	299	290	589	2	12
14	行徳小	富浜1-1-40	(357)3116～7	明 6. 2.16	25	432	396	828	3	23
15	信篤小	原木2-16-1	(328)0165～6	明 8. 7.12	24	357	398	755	2	13
16	稲荷木小	稲荷木1-14-1	(376)5961～2	昭31. 4. 1	15	229	191	420		
17	南行徳小	欠真間1-6-38	(357)3126～7	明 6.10. 9	24	382	350	732	3	18
18	鶴指小	大和田4-11-1	(379)3588～9	昭42. 4. 1	16	232	206	438	2	14
19	宮久保小	宮久保5-7-1	(371)2747～8	昭43. 4. 1	19	336	305	641		
20	二俣小	二俣678	(328)0105～6	昭45. 4. 1	7	114	64	178	2	9
21	中国分小	中国分1-22-1	(371)7886～7	昭47. 4. 1	17	255	216	471	1	4
22	曽谷小	曽谷7-18-1	(371)7888～9	昭47. 4. 1	12	193	177	370	1	2
23	大町小	大町84-10	(337)3610・3635	昭48. 4. 1	6	45	46	91		
24	北方小	北方町4-1356-1	(339)1701～2	昭49. 4. 1	11	114	115	229	3	20
25	新浜小	行徳駅前4-5-1	(395)5331～2	昭50. 4. 1	23	364	353	717	4	30
26	百合台小	曽谷6-10-1	(374)1811～2	昭52. 4. 1	19	273	329	602	2	14
27	富美浜小	南行徳2-3-1	(396)2522～3	昭53. 4. 1	27	428	428	856	3	21
28	柏井小	柏井町1-1149-1	(337)8877～8	昭54. 4. 1	13	172	193	365	1	4
29	大洲小	大洲4-18-1	(370)0300・0315	昭54. 4. 1	18	260	266	526		
30	幸　小	幸1-11-1	(396)0770・0773	昭54. 4. 1	23	388	339	727		
31	新井小	新井1-18-13	(357)1722・1727	昭55. 4. 1	22	352	337	689	2	13
32	南新浜小	新浜1-26-1	(396)9731・9757	昭55. 4. 1	19	299	287	586		
33	大野小	南大野1-42-1	(338)3000～1	昭55. 4. 1	19	276	284	560		
34	塩焼小	塩焼5-9-8	(397)1231～2	昭56. 4. 1	25	395	404	799	4	26
35	稲越小	稲越3-21-8	(373)8401～2	昭56. 4. 1	8	106	115	221		
37	大和田小	大和田1-1-3	(378)5001・5032	昭58. 4. 1	20	347	306	653		
38	福栄小	南行徳2-2-1	(397)8115～6	昭60. 4. 1	12	172	172	344	1	6
39	妙典小	妙典2-14-2	(399)5891～2	平11. 4. 1	25	407	353	760	1	3
		計			705	10,928	10,474	21,402	58	366

※№36塩浜小学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載（79ページ参照）

【通級指導教室（人数は再掲）】　（令和４年５月１日現在）

	学校名	種別	設置年月日	男	女	計
1	市川小	言語	昭43. 9. 1	16	4	20
2	八幡小	言語	昭39. 9. 1	22	10	32
3	行徳小	言語	昭45. 9. 1	24	9	33
4	北方小	言語	平21. 4. 1	17	12	29
5	新井小	言語	平 8. 4. 1	10	4	14
6	稲荷木小	聴覚	昭47. 7. 1	6	12	18
7	第七中	聴覚	昭53. 4. 1	3	2	5
8	平田小	自閉症情緒	平14. 5. 1	13	6	19
9	※信篤小	自閉症情緒	令 2. 4. 1	4	0	4
10	鶴指小	自閉症情緒	平28. 5. 1	11	3	14
11	中国分小	自閉症情緒	平18. 9. 1	9	3	12
12	新浜小	自閉症情緒	平10. 4. 1	10	2	12
13	大野小	自閉症情緒	平26. 4. 1	8	0	8
14	妙典小	自閉症情緒	平26. 4. 1	8	2	10
15	中山小	自閉症情緒	平31. 4. 1	8	3	11
16	鬼高小	自閉症情緒	平31. 4. 1	8	2	10
17	第五中	自閉症情緒	平29. 4. 1	2	2	4
18	※下貝塚中	自閉症情緒	平29. 4. 1	2	0	2
19	※福栄中	自閉症情緒	平27. 4. 1	5	0	5
20	東国分中	自閉症情緒	平31. 4. 1	9	1	10
21	※大洲中	自閉症情緒	平31. 4. 1	1	1	2
22	※塩浜学園	自閉症情緒	令 3. 4. 1	4	2	6

※…巡回による指導

【中　学　校】　（令和４年５月１日現在）

学校名		所在地	電話	創立年月日	生徒数 普通 学級数	男	女	計	特別支援学級 学級数	生徒数
1	第一中	国府台2-7-1	(371)6045～6	昭22. 5. 1	15	262	246	508	2	13
2	第二中	須和田2-34-1	(371)6188～9	昭22. 5. 1	19	345	294	639	2	11
3	第三中	曽谷3-2-1	(371)7341～2	昭22. 5. 1	23	417	379	796	2	13
4	第四中	中山1-11-1	(335)3431～2	昭22. 5. 1	15	262	286	548	2	13
5	第五中	大野町3-1993	(337)8344～5	昭22. 5. 1	18	297	315	612	3	17
6	第六中	鬼高3-16-1	(370)0535～6	昭34. 4. 1	17	311	280	591		
7	第七中	末広1-1-48	(357)3183～4	昭37. 4. 1	23	416	378	794	3	24
8	第八中	大和田4-9-1	(370)1394～5	昭42. 4. 1	17	284	280	564	6	37
9	下貝塚中	下貝塚3-13-1	(371)8800～1	昭54. 4. 1	17	296	296	592		
10	高谷中	高谷1627-1	(328)0211～2	昭54. 4. 1	12	211	200	411	1	7
11	福栄中	福栄3-4-1	(396)0701～2	昭54. 4. 1	21	402	336	738	3	20
12	東国分中	東国分3-5-1	(371)5963～4	昭55. 4. 1	9	149	154	303	5	27
13	大洲中	大洲4-21-5	(378)5783・5785	昭57. 4. 1	夜(3) 13	夜(11) 187	夜(11) 207	夜(22) 394		
15	南行徳中	南行徳2-2-2	(397)5910～1	昭60. 4. 1	18	326	312	638	2	16
16	妙典中	妙典5-22-1	(395)5811～2	昭61. 4. 1	25	447	434	881	2	12
計					夜(3) 262	夜(11) 4,612	夜(11) 4,397	夜(22) 9,009	33	210

※№13大洲中学校及び計欄の夜（　）は夜間中学校の学級数、生徒数である

※№14塩浜中学校は、平成28年度より下記「義務教育学校・塩浜学園」として掲載

【義務教育学校】　（令和４年５月１日現在）

学校名		所在地	電話	創立年月日	生徒数 普通 学級数	男	女	計	特別支援学級 学級数	生徒数
1	塩浜学園	塩浜4-5-1	(397)4421～2	平28. 4. 1	15	220	191	411		
計					15	220	191	411		

【特別支援学校】　（令和４年５月１日現在）

学校名		所在地	電話	創立年月日	生徒数 普通 学級数	男	女	計	特別支援学級 学級数	生徒数
1	須和田の丘小	稲越3-21-8	(373)9000	昭48. 4. 1	16	53	22	75		
2	須和田の丘中	須和田2-34-1	(371)2258～9	昭32. 4. 1	10	35	9	44		
3	須和田の丘高	〃	〃	昭47. 4. 1	9	36	18	54		
計					35	124	49	173		

【幼　稚　園】　（令和４年５月１日現在）

幼稚園名		所在地	電話	創立年月日	園児数（年少～年長） 学級数	男	女	計	特別支援学級 学級数	園児数
1	信篤	高谷1-8-1	(328)2325	昭46. 4. 1	2	20	22	42		
2	大洲	大洲4-3-12	(370)3648	昭49. 9.20	2	19	22	41	1	4
3	南行徳	欠真間1-6-15	(358)5333	昭50. 4. 1	4	34	39	73	1	8
4	百合台	曽谷6-10-1	(373)8937	昭50. 7. 3	2	10	5	15	1	2
5	新浜	行徳駅前4-5-2	(396)2521	昭53. 4. 1	2	21	25	46		
6	塩焼	塩焼5-9-1	(397)3857	昭57. 4. 3	4	55	45	100		
計					16	159	158	317	3	14

【小　学　校】　（再任用含む）　　（令和４年５月１日現在）

学校名		教職員等の状況									校長名
		校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄養職員 栄養教諭	事務 職員	定数内 欠補	計	
1	市川小	1	1	31	0	1	0	1	1	36	小篭　宏
2	真間小	1	1	23	0	1	0	0	2	28	福地　かがり
3	中山小	1	1	24	0	1	1	1	1	30	松永　裕思
4	八幡小	1	1	29	0	1	0	2	1	35	石井　辰治
5	国分小	1	1	17	0	1	0	1	2	23	片岡　玲子
6	大柏小	1	1	30	0	1	1	1	1	36	飯田　毅
7	宮田小	1	1	16	0	1	1	1	1	22	近藤　政人
8	冨貴島小	1	1	24	0	1	1	1	3	32	小松﨑　聡
9	若宮小	1	1	25	0	1	0	1	1	30	棚澤　恵子
10	国府台小	1	1	24	0	1	1	1	4	33	城戸　三郎
11	平田小	1	1	22	0	1	1	1	1	28	蜂須賀　久幸
12	鬼高小	1	1	33	0	2	1	1	3	42	黒岩　大二
13	菅野小	1	1	24	0	1	1	1	1	30	塩谷　真由美
14	行徳小	1	1	35	0	1	1	2	5	46	黒田　雄一
15	信篤小	1	1	28	0	1	1	1	4	37	佐々木　英充
16	稲荷木小	1	1	18	0	1	1	1	2	25	松本　啓祐
17	南行徳小	1	1	30	0	1	0	1	2	36	柴　健一
18	鶴指小	1	1	23	0	1	0	1	0	27	後藤　勉
19	宮久保小	1	1	23	0	1	0	1	0	27	鷲崎　和也
20	二俣小	1	1	9	0	1	1	0	3	16	川名　弘則
21	中国分小	1	1	22	0	1	1	1	0	27	菊池　和彦
22	曽谷小	1	1	16	0	1	1	1	0	21	三瀬　敬
23	大町小	1	1	8	0	1	1	1	0	13	河上　真也子
24	北方小	1	1	18	0	1	1	1	1	24	中村　由美子
25	新浜小	1	1	31	0	1	0	1	4	39	森角　有和
26	百合台小	1	1	23	0	1	1	1	0	28	長尾　諭
27	富美浜小	1	1	34	0	1	1	1	3	42	佐々木　孝子
28	柏井小	1	1	16	0	1	1	0	3	23	横田　礼名
29	大洲小	1	1	20	0	1	1	1	1	26	田中　敏則
30	幸　小	2	1	26	0	1	1	1	1	33	河部　純
31	新井小	1	1	28	0	1	1	1	1	34	海老原　澄子
32	南新浜小	1	1	22	0	1	1	1	1	28	鳥海　勉
33	大野小	1	1	25	0	1	1	1	0	30	清水　秀峰
34	塩焼小	1	1	28	0	1	0	1	7	39	大熊　和男
35	稲越小	1	1	9	0	1	1	1	0	14	吉田　直美
37	大和田小	1	1	22	0	1	1	1	1	28	古田　由美子
38	福栄小	1	1	15	0	1	0	1	1	20	蓮尾　弘子
39	妙典小	1	1	28	0	1	1	1	1	34	野口　敏樹
計		39	38	879	0	39	27	37	63	1,122	

※№36塩浜小学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載（81ページ参照）

【中　学　校】　（再任用含む）　（令和４年５月１日現在）

学校名		教職員等の状況									校長名
		校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	定数内 欠補	計	
1	第一中	1	2	29	0	1	0	1	3	37	石原　一幸
2	第二中	1	1	31	0	1	1	1	2	38	石田　清彦
3	第三中	1	1	37	0	1	0	2	1	43	牧　雅英
4	第四中	1	1	25	0	1	0	1	2	31	新部　操
5	第五中	1	1	32	0	1	0	1	3	39	川俣　興一
6	第六中	1	1	24	0	1	0	1	5	33	渋谷　敬二
7	第七中	1	2	40	0	2	1	2	2	50	河合　滋
8	第八中	1	1	28	0	1	0	1	4	36	岡　良和
9	下貝塚中	1	1	27	0	1	1	1	2	34	浅原　慎介
10	高谷中	1	1	19	0	1	0	1	3	26	伊藤　潔
11	福栄中	1	1	36	0	1	1	1	2	43	伊藤　浩
12	東国分中	1	1	22	0	1	0	1	2	28	石塚　秀樹
13	大洲中	1	夜(1) 1	夜(5) 20	0	夜(1) 1	0	1	夜(1) 1	夜(8) 25	稲川　一男
15	南行徳中	1	1	33	0	1	1	1	1	39	小林　義行
16	妙典中	1	1	38	0	2	1	2	2	47	杉山　哲
計		15	夜(1) 17	夜(5) 441	0	夜(1) 17	6	18	夜(1) 35	夜(8) 549	

※№13大洲中学校及び計欄の夜（　）は夜間中学校の教職員数である

※№14塩浜中学校は、平成28年度より下記「義務教育学校・塩浜学園」として掲載

【義務教育学校】　（再任用含む）　（令和４年５月１日現在）

学校名		教職員等の状況									校長名
		校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	欠補	計	
1	塩浜学園	1	2	25	0	2	0	2	1	33	松井　聰
計		1	2	25	0	2	0	2	1	33	

【特別支援学校】　（再任用含む）　（令和４年５月１日現在）

学校名		教職員等の状況									校長名
		校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	欠補	計	
1	須和田の丘小	1	1	26	0	1	0	1	0	30	椎名　美幸
2	須和田の丘中・高		1	46	0	2	1	2	3	55	〃
計		1	2	72	0	3	1	3	3	85	

【幼稚園】（再任用含む）　（令和４年５月１日現在）

幼稚園名		教職員等の状況									園長名
		園長	教頭	教諭						計	
1	信篤	1	1	4						6	西山　智史
2	大洲	1	1	5						7	田代　美香絵
3	南行徳	1	1	7						9	川久保　葉子
4	百合台	1	1	4						6	仲川　貴子
5	新浜	1	1	2						4	北薗　由利子
6	塩焼	1	1	6						8	小沢　直美
計		6	6	28						40	

Ⅰ－3 教職員の構成（県費負担）

（栄養教諭、養護教諭、学校栄養職員、再任用等を除く）　（令和4年5月1日現在）

【小学校】

性別構成

	男	女	計（人）
小学校	299	522	821
割合（%）	36.4%	63.6%	100.0%

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計（%）
男（299人）	25	70	75	71	33	13	3	9	299
%	8.4%	23.4%	25.1%	23.7%	11.0%	4.3%	1.0%	3.0%	100.0%
女（522人）	31	109	96	87	62	43	26	68	522
%	5.9%	20.9%	18.4%	16.7%	11.9%	8.2%	5.0%	13.0%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計（%）
男（299人）	97	77	82	34	4	1	3	1	299
%	32.4%	25.8%	27.4%	11.4%	1.3%	0.3%	1.0%	0.3%	100.0%
女（522人）	124	116	91	95	19	4	49	24	522
%	23.8%	22.2%	17.4%	18.2%	3.6%	0.8%	9.4%	4.6%	100.0%

【中学校】

性別構成

	男	女	計（人）
中学校	199	187	386
割合（%）	51.6%	48.4%	100.0%

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計（%）
男（199人）	2	35	51	46	24	12	9	20	199
%	1.0%	17.6%	25.6%	23.1%	12.1%	6.0%	4.5%	10.1%	100.0%
女（187人）	5	27	39	38	20	26	16	16	187
%	2.7%	14.4%	20.9%	20.3%	10.7%	13.9%	8.6%	8.6%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計（%）
男（199人）	35	65	57	14	4	2	14	8	199
%	17.6%	32.7%	28.6%	7.0%	2.0%	1.0%	7.0%	4.0%	100.0%
女（187人）	37	38	51	23	13	5	12	8	187
%	19.8%	20.3%	27.3%	12.3%	7.0%	2.7%	6.4%	4.3%	100.0%

【義務教育学校】

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計（%）
総数23人	0	6	4	4	3	4	0	2	23
%	0.0%	26.1%	17.4%	17.4%	13.0%	17.4%	0.0%	8.7%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計（%）
総数23人	4	7	7	3	0	0	0	2	23
%	17.4%	30.4%	30.4%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	100.0%

【特別支援学校】

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計（%）
総数70人	6	17	14	13	6	6	4	4	70
%	8.6%	24.3%	20.0%	18.6%	8.6%	8.6%	5.7%	5.7%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計（%）
総数70人	28	17	11	7	2	0	3	2	70
%	40.0%	24.3%	15.7%	10.0%	2.9%	0.0%	4.3%	2.9%	100.0%

Ⅰ－4 学校施設の建物・面積

【小 学 校】 （令和４年５月１日現在）

No.	学校名	校舎 保有面積（㎡）				保有教室数 特別教室関係（室数）										屋内運動場 保有面積（㎡）			校地面積 保有面積（㎡）			
			鉄筋	鉄骨	木造	理科	生活	音楽	図画・工作	家庭	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談		鉄筋	鉄骨		建物敷地	運動場	その他
1	市川小	6,867	6,803	64	0	1	0	1	1	1	0	1	2	9	2	1,054	889	165	10,305	7,105	3,200	0
2	真間小	5,975	5,904	71	0	1	1	2	1	1	0	1	2	8	3	1,087	1,087	0	10,314	4,914	5,400	0
3	中山小	7,623	7,546	77	0	2	1	2	1	1	1	0	2	11	1	848	848	0	15,296	11,813	3,483	0
4	八幡小	5,744	5,546	198	0	1	0	1	1	1	0	1	1	11	1	1,110	0	1,110	9,435	5,571	3,864	0
5	国分小	5,963	5,963	0	0	1	0	1	1	1	0	1	2	12	2	1,042	0	1,042	13,183	6,487	6,696	0
6	大柏小	6,207	6,142	65	0	1	0	1	1	1	1	1	1	3	1	971	0	971	14,756	10,838	3,918	0
7	宮田小	4,353	4,210	126	17	1	0	1	1	1	0	1	2	7	1	711	711	0	7,478	3,701	3,777	0
8	冨貴島小	5,959	5,913	46	0	1	0	1	1	1	0	1	1	3	1	982	982	0	12,921	6,130	6,791	0
9	若宮小	5,782	5,724	58	0	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	944	944	0	11,864	7,019	4,845	0
10	国府台小	7,254	6,690	564	0	1	1	2	1	2	0	1	2	4	2	973	0	973	15,477	8,127	5,605	1,745
11	平田小	6,210	6,157	53	0	1	1	2	1	1	1	1	2	8	1	981	0	981	12,379	7,874	4,505	0
12	鬼高小	7,700	7,673	27	0	2	0	2	1	1	1	1	2	7	2	1,025	0	1,025	15,680	8,984	6,696	0
13	菅野小	5,922	5,749	173	0	1	0	1	1	1	1	1	2	6	1	1,024	0	1,024	0	0	0	0
14	行徳小	8,005	7,961	44	0	2	1	2	1	1	0	1	2	15	0	963	0	963	17,927	9,999	7,928	0
15	信篤小	6,605	6,561	44	0	2	0	2	1	1	0	1	3	9	1	962	0	962	14,757	6,776	7,981	0
16	稲荷木小	5,857	5,828	29	0	1	1	2	1	1	1	1	2	12	2	777	0	777	10,000	5,323	4,677	0
17	南行徳小	7,693	7,581	112	0	2	1	2	1	1	0	1	2	11	1	1,158	1,158	0	18,354	10,594	7,760	0
18	鶴指小	7,443	7,416	27	0	2	1	2	1	1	1	1	2	10	2	732	732	0	13,299	6,820	6,479	0
19	宮久保小	6,096	6,030	66	0	1	0	1	1	1	0	1	2	9	3	873	873	0	14,354	7,938	6,416	0
20	二俣小	5,813	5,762	51	0	1	1	2	1	1	0	1	3	16	3	1,125	1,125	0	19,075	6,793	12,282	0
21	中国分小	4,975	4,938	37	0	1	0	1	1	1	0	1	2	6	1	819	0	819	16,824	8,654	8,170	0
22	曽谷小	6,691	6,658	33	0	1	0	2	1	1	1	1	2	14	2	819	0	819	17,580	7,636	9,944	0
23	大町小	4,541	4,518	23	0	1	1	1	1	1	1	1	2	7	2	837	0	837	13,330	5,480	7,850	0
24	北方小	5,233	5,077	156	0	1	1	1	1	1	0	1	2	7	2	911	0	911	12,728	5,201	7,527	0
25	新浜小	7,720	7,693	27	0	1	0	2	1	1	1	1	1	15	2	858	0	858	15,555	7,949	7,606	0
26	百合台小	6,070	6,043	27	0	1	0	1	1	1	1	1	1	7	1	963	0	963	14,649	6,983	6,466	1,200
27	富美浜小	7,237	7,156	81	0	2	0	2	1	1	1	1	2	7	1	900	0	900	16,527	7,621	8,906	0
28	柏井小	5,025	4,128	897	0	1	1	1	1	1	0	1	2	9	1	963	0	963	15,559	8,204	7,355	0
29	大洲小	4,667	4,640	27	0	1	0	1	1	1	1	1	2	5	2	896	0	896	13,833	5,807	8,026	0
30	幸小	7,108	7,081	27	0	1	0	2	1	1	1	1	2	8	2	1,104	1,104	0	9,849	5,411	4,438	0
31	新井小	7,540	6,173	1,367	0	1	1	1	1	1	1	1	2	16	2	972	0	972	14,286	5,803	6,645	1,838
32	南新浜小	5,680	5,640	40	0	1	1	2	1	1	0	1	2	6	2	971	0	971	18,168	7,272	10,896	0
33	大野小	7,387	6,615	772	0	2	0	2	1	1	0	1	2	17	1	972	0	972	16,057	7,646	8,411	0
34	塩焼小	7,439	7,412	27	0	2	0	2	1	1	1	1	2	11	2	944	0	944	17,367	7,174	10,193	0
35	稲越小	4,551	4,524	27	0	1	1	1	1	1	0	1	1	7	2	917	0	917	19,700	7,780	11,920	0
37	大和田小	4,596	4,031	565	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	789	0	789	12,794	7,263	5,531	0
38	福栄小	4,592	4,565	27	0	2	0	2	1	1	0	1	1	5	2	1,100	1,100	0	10,910	4,536	6,367	7
39	妙典小	10,939	9,491	1,448	0	1	0	2	2	1	0	1	2	11	2	1,265	1,265	0	0	0	0	0
計		241,062	233,542	7,503	17	48	16	59	39	39	17	37	70	332	60	36,342	12,818	23,524	512,570	259,226	248,554	4,790

※No.36塩浜小学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載（84ページ「塩浜学園・前期課程」参照）

【中 学 校】

（令和４年５月１日現在）

No.	学校名	校舎 保有面積（㎡）				保有教室数 特別教室関係（室数）												屋内運動場 保有面積（㎡）			校地面積 保有面積（㎡）			
			鉄筋	鉄骨	木造	理科	音楽	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	進路資料・指導		鉄筋	鉄骨		建物敷地	運動場	その他
1	第一中	7,551	7,123	428	0	2	2	1	2	2	2	1	1	2	15	4	0	1,403	0	1,403	973	973	0	0
2	第二中	6,342	6,097	245	0	2	2	1	1	2	0	0	1	1	6	1	1	1,062	0	1,062	19,640	10,293	9,347	0
3	第三中	6,923	6,812	111	0	2	1	1	1	2	0	0	1	1	9	1	0	1,155	0	1,155	21,101	13,015	6,861	1,225
4	第四中	6,201	6,201	0	0	2	1	1	1	2	0	1	1	1	9	1	1	1,588	0	1,588	13,262	6,190	6,451	621
5	第五中	7,964	7,892	42	30	3	2	1	1	2	0	1	1	1	14	3	1	1,150	0	1,150	11,293	2,285	8,548	460
6	第六中	7,531	7,444	87	0	3	2	1	2	2	0	0	1	1	9	1	0	1,485	0	1,485	16,764	7,318	8,971	475
7	第七中	12,038	11,866	172	0	3	2	2	2	2	0	1	2	1	12	1	1	1,389	1,389	0	23,518	15,096	8,422	0
8	第八中	7,836	7,783	53	0	2	2	1	2	2	0	1	1	1	10	2	0	1,144	1,144	0	17,463	7,375	10,088	0
9	下貝塚中	6,167	6,128	39	0	2	2	1	2	2	0	1	1	2	8	2	0	1,160	0	1,160	16,656	6,593	10,063	0
10	高谷中	6,830	6,791	39	0	2	2	2	2	2	0	1	1	2	12	2	0	1,159	0	1,159	18,535	5,805	12,598	132
11	福栄中	7,825	7,786	39	0	2	2	2	2	2	0	2	1	1	14	1	1	1,160	0	1,160	19,834	9,005	10,829	0
12	東国分中	6,181	6,168	13	0	2	2	1	1	2	0	0	1	1	11	1	0	1,163	0	1,163	20,014	6,953	13,061	0
13	大洲中	6,596	6,560	36	0	2	1	1	1	2	0	1	1	1	13	1	0	1,353	1,353	0	14,182	7,073	7,109	0
15	南行徳中	6,737	6,016	721	0	2	2	1	1	2	0	0	1	1	10	3	0	1,403	1,403	0	14,234	4,861	9,172	201
16	妙典中	8,056	6,291	1,765	0	3	2	1	1	2	0	0	1	2	8	2	0	1,446	73	1,373	16,540	7,980	8,560	0
計		110,778	106,958	3,790	30	34	27	18	22	30	2	10	16	19	160	26	5	19,220	5,362	13,858	244,009	110,815	130,080	3,114

※No.14塩浜中学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載（下記「塩浜学園・後期課程」参照）

【義務教育学校】

（令和４年５月１日現在）

No.	学校名	校舎 保有面積（㎡）				保有教室数 特別教室関係（室数）										屋内運動場 保有面積（㎡）			校地面積 保有面積（㎡）			
			鉄筋	鉄骨	木造	理科	生活	音楽	図画・工作	家庭	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談		鉄筋	鉄骨		建物敷地	運動場	その他
1	塩浜学園前期課程	3,087	2,755	332	0	1	0	0	1	0	0	0	1	8	2	804	0	804	13,254	7,925	5,329	0

No.	学校名	校舎 保有面積（㎡）				保有教室数 特別教室関係（室数）												屋内運動場 保有面積（㎡）			校地面積 保有面積（㎡）			
			鉄筋	鉄骨	木造	理科	音楽	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	進路資料・指導		鉄筋	鉄骨		建物敷地	運動場	その他
1	塩浜学園後期課程	4,364	4,056	308	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	6	1	0	1,023	0	1,023	19,581	11,708	7,873	0
計		7,451	6,811	640	0													1,827	0	1,827	32,835	19,633	13,202	0

【特別支援学校】

（令和４年５月１日現在）

No.	学校名	校舎				校地面積			
		保有面積（㎡）				保有面積（㎡）			
			鉄筋	鉄骨	木造		建物敷地	運動場	その他
1	須和田の丘	3,051	2,900	151	0	3,636	1,890	1,746	0
2	須和田の丘（稲越校舎）	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0
計		4,103	3,952	151	0	3,636	1,890	1,746	0

【幼 稚 園】

（令和４年５月１日現在）

No.	幼稚園名	園舎				校地面積			
		保有面積（㎡）				保有面積（㎡）			
			鉄筋	鉄骨	木造		建物敷地	運動場	その他
1	信篤幼	1,218	1,178	40	0	3,313	2,081	1,232	0
2	大洲幼	1,149	1,149	0	0	2,048	1,344	704	0
3	南行徳幼	1,706	1,706	0	0	2,911	2,092	819	0
4	百合台幼	1,341	1,341	0	0	2,734	1,708	1,026	0
5	新浜幼	1,059	1,046	13	0	2,000	938	1,062	0
6	塩焼幼	1,258	1,258	0	0	2,800	1,620	1,180	0
計		7,731	7,678	53	0	15,806	9,783	6,023	0

Ⅰ－5 令和4年度 学校施設の整備状況

1　学校施設の整備について

学校施設は子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、地域の重要な拠点ともなっていることから、安全で快適な環境を確保するという観点から整備を行っている。

旧耐震基準（昭和 56 年以前）の学校施設については、耐震診断の結果に基づき、補強が必要な施設について、建替え工事や耐震改修工事を行った。

また、学校施設はその大半が築 30 年以上経過し、老朽化が進んでいることから、順次改修工事を行うこととしている。

2　令和４年度実施の主な事業

（1）営繕事業

学校施設は、建設後相当年数が経過し、老朽化が進んでいるため、児童・生徒等の安全確保、衛生面及び環境面の改善を行う必要があり、年次改修計画に基づいたトイレの改修工事（洋式便器化及び車椅子使用者用便所の設置）などを行った。また、環境負荷軽減のため、消費電力の少ない LED 照明への改修工事を行った。

（2）中学校校舎整備事業

須和田の丘支援学校は、生徒数の増加による教室不足を早期に解消するため、隣接する第二中学校の敷地の一部に新校舎を建設した。昨年度末に着工し、令和 4 年 7 月末に竣工を迎え、9 月に供用開始した。

（3）修繕事業（避難所トイレ改修）

一時避難所となる小中学校の体育館のトイレについて、避難者に配慮し、トイレの質的改善を図るため、年次計画に基づき順次改修修繕を行っており、今年度は 8 校の体育館トイレの改修（洋式便器化等）を行った。

3　営繕事業の主な実績

・塩焼小 便所改修工事	・鬼高小 給食室冷暖房機設置工事
・国府台小 屋内運動場改修工事	・信篤小 LED 照明改修工事
・真間小 教室床等改修工事	・大和田小 受水槽等改修工事

塩焼小 便所改修工事

鬼高小 給食室冷暖房機設置工事

国府台小 屋内運動場改修工事

信篤小 LED 照明改修工事

真間小 教室床等改修工事

大和田小 受水槽等改修工事

4　中学校校舎整備事業の実績

・須和田の丘支援学校特別教室棟の校舎等完成状況

外観

内観（廊下）

内観（家庭科室）

5　修繕事業（避難所トイレ改修）の主な実績

・屋内運動場（体育館）便所改修修繕（稲荷木小外７校）

鶴指小学校体育館トイレ

妙典小学校体育館トイレ

Ⅰ－6　令和4年度 国・県・私立学校・私立幼稚園等一覧

1　大学

No.	学校名	所在地	開学年月	電話	学長名	設置学部等
1	和洋女子大学	国府台2-3-1	昭24.4	(371) 1111	岸田 宏司	人文学部 国際学部 家政学部 看護学部
2	千葉商科大学	国府台1-3-1	昭25.4	(372) 4111	原科 幸彦	商経学部 政策情報学部 ｻｰﾋﾞｽ創造学部 人間社会学部 国際教養学部
3	東京医科歯科大学（教養部）	国府台2-8-30	昭40.4	(300) 7105	田中 雄二郎	医学部 歯学部

2　短期大学

No.	学校名	所在地	開学年月	電話	学長名	設置学部等
1	昭和学院短期大学	東菅野2-17-1	昭25.4	(324) 7115	菅沼　恵子	人間生活学科 ﾍﾙｽｹｱ栄養学科
2	東京経営短期大学	二俣625-1	平4.4	(328) 6161	増田　哲也	経営総合学科 こども教育学科 留学生別科

3　高等学校（県立）

No.	学校名	所在地	創立年月日	電話	校長名	学科
1	市川工業高等学校	平田3-10-10	昭18.4.25	(378) 4186	稲葉　保	機械・電気・建築・インテリア
2	市川工業高等学校（定時制）	平田3-10-10	昭18.4.25	(378) 4186	稲葉　保	工業
3	国府台高等学校	国府台2-4-1	昭18.4.1	(373) 2141	臼井　武彦	普通
4	国分高等学校	稲越2-2-1	昭39.4.1	(371) 6100	川嶋　篤	普通
5	行徳高等学校	塩浜4-1-1	昭49.4.8	(395) 1040	高橋　重幸	普通
6	市川東高等学校	北方町4-2191	昭52.4.1	(338) 6810	小口　祐司	普通
7	市川昴高等学校	東国分1-1-1	平23.4.6	(371) 2841	長谷川 裕子	普通
8	市川南高等学校	高谷1509	昭56.4.13	(328) 6001	宇佐美 泰孝	普通

※行徳高等学校の定時制は、令和４年度に船橋高等学校の定時制と統合

4　高等学校（私立）

No.	学校名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	学科
1	昭和学院高等学校	東菅野2-17-1	昭23.3.31	(323) 4171	大井　俊博	普通
2	市川高等学校	本北方2-38-1	昭23.3.31	(339) 2681	及川　秀二	普通
3	和洋国府台女子高等学校	国府台2-3-1	昭23.3.31	(371) 1120	宮﨑　康	普通・ファッションテクニックス
4	日出学園高等学校	菅野3-23-1	昭25.3.3	(324) 0071	堀越　克茂	普通
5	千葉商科大学付属高等学校	中国分2-10-1	昭26.1.30	(373) 2111	浅川　潤一	普通・商業
6	国府台女子学院高等部	菅野3-24-1	昭26.2.13	(326) 8100	平田　史郎	普通・英語
7	不二女子高等学校	八幡4-5-7	昭52.12.9	(333) 6345	會田　一雄	普通

5　中学校

No.	大学名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	区分
1	昭和学院中学校	東菅野2-17-1	昭22.5.19	(323) 4171	大井 俊博	共学
2	市川中学校	本北方2-38-1	昭22.5.19	(339) 2681	及川　秀二	共学
3	和洋国府台女子中学校	国府台2-3-1	昭24.1.21	(371) 1120	宮﨑　康	女子
4	日出学園中学校	菅野3-23-1	昭22.5.19	(324) 0071	堀越 克茂	共学
5	国府台女子学院中学部	菅野3-24-1	昭22.5.5	(322) 7770	平田 史郎	女子

6　小学校

No.	大学名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	区分
1	昭和学院小学校	東菅野2-17-1	昭24.12.26	(300) 5844	山本　良和	共学
2	日出学園小学校	菅野3-23-1	昭9.3.31	(322) 3660	荻原　巌	共学
3	国府台女子学院小学部	菅野3-24-1	昭34.12.17	(322) 5644	平田 史郎	女子

7　特別支援学校

No.	学校名	所在地	創立年月日	電話	校長名	学科
1	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	国府台2-2-1	明8.5.22	(371) 4135	西垣　昌欣	幼稚部 小学部 中学部 高等部普通科 高等部専攻科造形芸術科 高等部専攻科ﾋﾞｼﾞﾈｽ情報科 高等部専攻科歯科技工科
2	県立市川特別支援学校	原木1862	昭59.4.1	(327) 4155	井上　宏樹	小学部 中学部 高等部
3	県立特別支援学校 市川大野高等学園	大野町4-2274	平24.4.1	(303) 8011	小倉　京子	園芸技術科 工業技術科 生活デザイン科 流通サービス科

8　各種学校

No.	学校名	所在地	設置認可 年月日	電話	校長名	学科
1	若宮珠算学校	中山1-25-3	昭31.5.23	(333) 7713	渡辺　道代	初等科（夜間） 中等科（夜間） 高等科（夜間） 研究科（夜間）

9　私立幼稚園一覧表

No.	幼稚園名	所在地	設置認可年月日	電話	園長名
1	日出学園幼稚園	菅野2-21-12	昭　9. 3. 30	(322)4012	鍛冶　礼子
2	自然幼稚園	市川1-24-21	〃　24. 8.31	(322)4095	山田　豊
3	和光幼稚園	相之川2-12-28	〃　30. 5. 4	(357)2331	吉田　みのり
4	市川学園幼稚園	八幡5-1-10	〃　28. 1.31	(334)4770	藤谷　佐和子
5	市川学園第２幼稚園	東菅野4-13-1	〃　40. 2.18	(339)1531	白金　顕
6	みどり幼稚園	中山3-10-4	〃　29. 3.12	(334)1224	緑谷　一樹
7	国府台文化幼稚園	中国分3-6-24	〃　40. 4. 1	(372)7005	吉川　宜範
8	つくし幼稚園	大和田3-3-3	〃　41. 5.31	(376)5922	小幡　加実
9	昭和学院幼稚園	宮久保１-3-8	〃　42. 4. 11	(374)8300	鈴木　祐子
10	市川聖マリヤ幼稚園	八幡3-19-12	〃　24. 8.31	(323)5371	宮﨑　真琴
11	真間山幼稚園	真間4-9-1	〃　27. 12. 3	(371)7251	小平　一良
12	富貴島幼稚園	八幡6-12-12	〃　27. 12.25	(334)4860	由田　由佳理
13	共立幼稚園	新田4-15-27	〃　31. 3.29	(377)0851	腰本　和代
14	曽谷幼稚園	曽谷1-4-1	〃　40. 4. 1	(371)5440	松丸　早苗
15	白菊幼稚園	南八幡3-15-1	〃　40. 4. 1	(378)2160	山﨑　一範
16	大町不二幼稚園	大町103	〃　45. 4. 1	(337)8337	山崎　良子
17	若宮幼稚園	若宮3-53-4	〃　40. 3. 1	(339)2057	栗原　政實
18	わかたけ幼稚園	北方町4-1798	〃　40. 4. 1	(338)1661	櫻庭　公子
19	ソフィア幼稚園	稲荷木3-22-5	〃　40. 4. 1	(379)1015	難波　香子
20	宮久保幼稚園	宮久保6-7-2	〃　42. 4.11	(371)7320	吉原　正実
21	浄光寺幼稚園	大野町3-1917	〃　42. 4. 6	(337)8413	二宮　由泰
22	国分幼稚園	曽谷5-32-18	〃　43. 4. 1	(373)1481	鈴木　敬子
23	いなほ幼稚園	国分3-4-12	〃　47. 3.15	(373)2201	山﨑　和男
24	築葉根幼稚園	北方町4-2171	〃　51. 3.31	(338)4800	岩橋　伸孝
25	原木幼稚園	原木1-8-1	〃　52. 3.31	(327)1291	藍原　惠子
26	アンデルセン幼稚園	堀之内1-9-17	〃　52. 3.31	(374)1751	廣木　美代子
27	東浜幼稚園	行徳駅前3-12-14	〃　53. 2.25	(396)5321	川崎　善明
28	市川東学院三愛幼稚園	東国分1-20-12	〃　54. 2.28	(373)7272	芝田　弘一
29	塩浜幼稚園	塩浜4-2-28-101	〃　56. 2. 28	(399)2578	近藤　喜盛

10　私立幼保連携型認定こども園

No.	こども園名	所在地	開所年月日	電話	園長名
1	幼保連携型認定こども園 鬼高幼稚園	鬼高3-14-18	令　3. 4. 1	(370)6583	堀内　しほ子
2	認定こども園 アイリス幼稚園	北方2-29-9	〃　3.11. 1	(335)5530	新垣　博幸
3	幼保連携認定こども園 須和田幼稚園	須和田1-20-3	〃　4. 4. 1	(371)5457	楠﨑　史子

Ⅱ　学校教育関係

Ⅱ－1　令和4年度
第6期　いちかわ学校三ヵ年計画（創意と活力のある学校づくり）　推進テーマ一覧

1　小学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	市川小	安全・安心で豊かに生きることを目指して	国語科
2	真間小	○自分の良さを生かし、互いに認め、励まし、高めあえる子どもを育てる。 ○子ども一人一人の良さを見いだし、伸ばす教職員となる。 ○子どもの成長のために、全教職員がそれぞれの特長を生かして協働する学校を創る。	国語科
3	中山小	変化の激しい２１世紀をたくましく生き抜いていく『サファリな子』の育成 ・教育は人にあり、子どもにとって最大の教育環境は、教師自身の姿である。	理科 生活科
4	八幡小	【や】やさしい心をもつ子　…心 【は】わかる・できる・がんばる子　…頭 【た】たくましくげんきな心と体をつくる子　…体	国語科・ 総合的な学習の時間
5	国分小	ワクワク学び、ニコニコあいさつ、イキイキ育つ子の育成	国語科
6	大柏小	「主体性の伸長」…児童の達成感・満足感を高め、自己肯定感を涵養する。わかる喜びなど小さな成功体験から児童一人ひとりの学びに火をつける。	国語科 算数科
7	宮田小	望ましい集団活動の日常化を図り、楽しい学校生活を創る子どもを育成する。 家庭や地域に信頼される学校をつくる。	特別活動 学級活動
8	冨貴島小	教師として必要な基礎基本を大前提として、子供達の思考力、判断力、表現力を育成する	国語科
9	若宮小	みんなのよさをみんなでつなぐ、楽しい学校	理科 生活科
10	国府台小	自分のめあてを持ち、自ら行動し自分の意志で決定でき、自己肯定感を持ち、他者を意識できる豊かな心を持つ児童を育成する	国語科
11	平田小	共に学び、共に育ち、共に感動し、共に未来を創る （共学・共有・共感・共創）	算数科
12	鬼高小	「お思いやりの心を持って　に人間性豊かに　たたくましく　かかがやく未来へ」 一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、保護者・地域・社会と連携・協働し、社会に開かれた、子供たちが安心して通える学校を作り、新たな教育を生み出していく。	国語科
13	菅野小	すすんで考え、がんばりやでたくましく、のびのびと心豊かな児童の育成	国語科
14	行徳小	【確かな学力】　・自己受容　・思考　・表現 【豊かな心】　・コミュニケーション　・人間関係形成　・他者貢献 【健やかな体】　・感染防止　・自己免疫　・危険回避 ○経営ビジョン「人間力・授業力・組織力・協働力」で、「自己表現・人間関係形成・社会参画」を目指す	生活科 総合的な学習の時間
15	信篤小	自分らしさが輝く信篤っ子の育成 （個性をお互いに認め合いながら高めていく児童の育成）	生活科 社会科
16	稲荷木小	「あいさついっぱい　やさしい子」 「自分の考えをもち、進んで学ぶ子」 「命や健康であることを大切にする子」	国語科
17	南行徳小	教職員がていねいに子どもと向き合い、組織で子どもを育む（チーム南行）	国語科
18	鶴指小	温かい心と　やりぬく強さを培う ～学校・家庭・地域が連携し、人間教育の推進を図る～	国語科
19	宮久保小	心身ともに健康でたくましく、相手を思いやる豊かな情操をもち、自分で考え判断し、他者と協力し行動できる児童の育成を図る	国語科
20	二俣小	豊かな心・健やかな体・確かな学力を身につけた児童の育成	算数科

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
21	中国分小	（めざす学校像）　一人一人のよさが発揮でき、感動と喜びのある学校 （めざす子ども像）　豊かな人間性を身に付けた子ども （めざす教職員像）　子ども一人一人に目を向け、あたたかい心で寄り添う教職員	国語科 算数科 理科 生活科 図画工作科
22	曽谷小	個性を尊重し、児童自らが主体的に学び、生活する力を育成する 「自ら進んで学ぶ子」 ◎「わかる授業」　◎「認め合う学級（学校）」　◎「寄り添う生徒指導」	国語科
23	大町小	豊かな自然と小規模校の特色を生かし、地域社会と連携した教育活動の展開を図る　～小さな学校　大きな家族～	国語科
24	北方小	一人一人のよさを見つけ・認め・伸ばす学校　家庭・地域とともに歩む学校	国語科
25	新浜小	○学校職員、子ども、保護者、地域の方の笑顔があふれる学校をつくる。 ・「かしこく」…　自分で考え、判断し行動できる子、学びを生活にいかす子を育てる。 ・「すこやかに」…心も体も健康な子を育てる。	算数科
26	百合台小	人と関わる力を育てる教育活動を推進する	カリキュラムマネジメント（教科は問わず）
27	富美浜小	学力・体力の基礎を培い、共に成長しあう豊かな関係を築く中で、確かな自己実現を目指す児童の育成	算数科
28	柏井小	豊かな心を持ち、友達と協働できる子 チャレンジ精神を持ち、最後まで頑張る子 自ら考え、めあてを持ち、主体的に学ぶ子	学力向上・授業改善
29	大洲小	信頼される社会に開かれた学校 （１）子どもたちが学ぶ楽しさや触れ合う喜びを感じる学校 （子どもたち一人一人の自己実現） （２）教職員が協働で学校づくりに参画し、やりがいと誇りを感じる学校 （教職員の自己実現） （３）保護者・地域から信頼され、地域の教育力を学校の教育活動に生かすことのできる学校（地域とともにある学校）	国語科
30	幸　小	○自分で考え行動する子の育成（自主） ○自分の心と体をコントロールできる子の育成（自律） ○自分と他人を大切にする子の育成（共生）	算数科
31	新井小	新井小ブランド力で、新井小すべての子供たちが幸せを実感できる学校、 新井小で学んでよかったと思える学校を目指して… 「チーム新井」で！	国語科・説明的な文章
32	南新浜小	豊かな関わり、つながりを大切にし、考えを深められる子どもを育む	国語科
33	大野小	Well-being　すべての子どもたちが幸せを実感できる学校 【３つの柱】 子どもに自信を持たせること 子どもの居場所を作ること 「人のため」を大切にすること	金融教育
34	塩焼小	主体性を育む教育を推進するとともに、交流を意識した活動を推奨する。また、学校・保護者・地域が互いに尊重し合う関係性を築くとともに、地域が求める塩焼っ子象“あいさつができ、思いやりをもった子”を目指しながら、教職員の人材育成にも傾注する。テーマは継続して“希望の登校、笑顔の下校”とする。	国語科 算数科
35	稲越小	かしこく　誇らしく　ねばり強く ～家庭、地域と共にある学校を目指して～	国語科
36	大和田小	自ら学び、伝え合い、学び合う児童の育成を目指して	国語科
37	福栄小	愛情あふれる環境の中、他者との関わりの中で豊かに学び、これからの社会がいかに変化しようと未来をたくましく生きぬいていく子どもを育てる。	国語科
38	妙典小	「させられないで、する子ども」 自分の願いや目標を持ち、自分で考え、判断、行動し、多様な人々と協働しながら、自らの可能性を発揮していく児童の育成	生活科 総合的な学習の時間

2　中学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	第一中	自ら学び、自ら考え、心豊かな生徒の育成 青春の花々が咲きあう第一中学校の実現	各教科
2	第二中	○令和4年度の学校運営の重点 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現 ・自己肯定感・自己有用感の向上 ・規則正しい生活習慣の確立 ・情報発信と情報共有の充実	全教科
3	第三中	「将来大人として社会で立派に通用する人間の育成」	全教科
4	第四中	人生を拓く「確かな学力」の育成をめざして ～「わかる」「できる」を実感し、「調べたい」「学びたい」と思える授業づくり～	全教科・領域
5	第五中	生徒指導の機能を生かした自己指導能力を育成する ～自己有用感に裏付けられた自尊感情の高揚～	国語・数学・理科・社会・英語・音楽・家庭科・保健体育・道徳
6	第六中	・生徒一人ひとりを大切にし、誰もが温かい信頼関係で結ばれている学校をつくる。 ・和をもって支え合い、教育活動に邁進する教職員集団をつくる。 ・家庭・地域と連携して、命を大切にし、安全・安心な教育環境をつくる。	全教科・領域
7	第七中	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の在り方を探る」 ～表現力の伸長・生徒がいきいきと取り組める授業づくり～	全教科・領域
8	第八中	「主役の生徒たちが生き生きと学ぶ学校」 ～基礎・基本を身に着け、思考し、判断し、表現できる生徒の育成を目指して～	全教科
9	下貝塚中	主体的に学び考え、よりよく生きる生徒を育む授業つくり	全教科・領域
10	高谷中	・心の教育、道徳教育の推進 ・学力向上を目指す生徒、支える教師集団 ・連携の促進　～保護者、地域との共育・協育～	全教科・領域
11	福栄中	基礎・基本の定着を図り、わかる授業の実践と豊かな心を育む教育の推進	全教科・特別支援
12	東国分中	『チーム東国分』	各教科
13	大洲中	すべての生徒と教職員が幸せな生活を送れる学校、 そして保護者と地域の方々に信頼される学校づくりの推進	各教科・領域
14	南行徳中	「あたりまえのことがきちんとできる学校」と「授業改善を推進する学校」に重点をおいて	全教科・領域
15	妙典中	学ぶ楽しさを知り、自ら学び続ける生徒の育成 「わかった」「できた」と生徒が実感できるための指導の工夫 社会で生きる力を身につけるための指導の工夫	全教科・領域

3　義務教育学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	塩浜学園	小中一貫教育の充実 コミュニティ・スクールの推進 小規模校によるきめ細かな教育の推進	塩浜ふるさと防災科

4　特別支援学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	須和田の丘支援	小学部から高等部までの12年間を捉えた「つながりのある学び」 （個々のよい面を大切にしながら意欲を育み、学年や学部、教職員・保護者・地域とのつながりを大切にし、子どもたちの無限な可能性が引き出し育てていく）	小学部： 生活・道徳・音楽 中学部：数学 高等部： 職業・家庭

5　幼稚園

No.	園　　名	推進テーマ	研究教科等
1	信篤幼	自分の思いや考えを持ち主体的に遊ぶ幼児の育成 ～興味や関心に基づく援助を通して～	保育全般
2	大洲幼	一人一人の子どもの育ちをつなぐ園生活を考える（地域と共に） ～みんなちがって　みんないい　自分色に輝け　大洲の子～	幼児教育
3	南行徳幼	主体的に行動する幼児を育てるための教師の援助を考える ～幼児の遊びの読み取りをとおして～	保育全般
4	百合台幼	遊びの読み取りと振り返りを通して明日につながる保育を考える	保育全般
5	新浜幼	多文化　異年齢　学級の中で育ちあう幼児の育成 ～指導計画の見直しと教材開発をとおして～	保育全般
6	塩焼幼	一人ひとりが夢中になって遊ぶための教師の援助を探る ～幼児の主体的な姿をめざして～	保育全般

Ⅱ-2 令和4年度 研究指定校一覧

令和５年１月３１日現在

No.	学校名	指定の種別 文部科学省 県・市町村等	新規 又は 継続	指定 開始 年度	指定 終了 年度	教科・領域等	研究主題等	今年度 公開の 有無	公開期日
1	市川市立大洲中学校 夜間学級	国	新規	4	4	図書館	夜間中学の設置促進・充実事業	無	
2	市川市立第四中学校	国	新規	4	4	人権教育	人権教育研究指定校	有	10月31日
3	市川市立南新浜小学校	県	継続	2	4	福祉教育	福祉教育推進校	無	
4	市川市立福栄小学校	県	継続	2	4	福祉教育	福祉教育推進校	無	
5	市川市立福栄中学校	県	継続	2	4	福祉教育	福祉教育推進校	無	
6	市川市立塩浜学園	県	継続	2	4	福祉教育	福祉教育推進校	無	
7	市川市立国府台小学校	市	新規	4	5	福祉教育	福祉教育推進校	無	
8	市川市立稲荷木小学校	市	新規	4	5	福祉教育	福祉教育推進校	無	
9	市川市立第三中学校	市	新規	4	5	福祉教育	福祉教育推進校	無	
10	市川市立第六中学校	市	新規	4	5	福祉教育	福祉教育推進校	無	
11	市川市立第七中学校	市	新規	4	4	図書館	学校図書館活用推進に向けた調査研究校	無	
12	市川市立中山小学校	市	新規	4	4	理科・生活科	市川市理科研修センター校	有	12月2日
13	市川市立第四中学校	市	新規	4	4	理科	市川市理科研修センター校	有	9月20日
14	市川市立鬼高小学校	市	新規	4	5	ICT活用	ＧＩＧＡスクール推進校	無	
15	市川市立大野小学校	市	新規	4	5	ICT活用	ＧＩＧＡスクール推進校	無	
16	市川市立第三中学校	市	新規	4	5	ICT活用	ＧＩＧＡスクール推進校	無	
17	市川市立真間小学校	市	新規	4	5	国語科	市学力向上推進校	無	
18	市川市立中山小学校	市	継続	3	4	理科・生活科	市学力向上推進校	有	12月2日
19	市川市立八幡小学校	市	新規	4	5	国語科・総合的な学習の時間	市学力向上推進校	有	6月21日
20	市川市立宮田小学校	市	新規	4	5	特別活動	市学力向上推進校	有	12月14日
21	市川市立冨貴島小学校	市	継続	3	4	国語科	市学力向上推進校	有	10月26日
22	市川市立若宮小学校	市	継続	3	4	理科・生活科	市学力向上推進校	有	12月7日
23	市川市立信篤小学校	市	新規	4	5	生活科・社会科	市学力向上推進校	有	1月31日
24	市川市立南行徳小学校	市	新規	4	5	国語科	市学力向上推進校	無	
25	市川市立幸小学校	市	新規	4	5	算数科	市学力向上推進校	無	
26	市川市立新井小学校	市	継続	3	4	国語科	市学力向上推進校	有	12月12日
27	市川市立塩焼小学校	市	新規	4	5	国語科・算数科	市学力向上推進校	有	12月2日
28	市川市立第一中学校	市	新規	4	5	全教科・領域	市学力向上推進校	有	9月9日
29	市川市立第二中学校	市	継続	3	4	全教科・領域	市学力向上推進校	有	7月6日
30	市川市立第四中学校	市	新規	4	5	全教科・領域	市学力向上推進校	有	9月20日
31	市川市立新浜幼稚園	市	継続	3	4	保育全般	市学力向上推進校	有	11月9日

Ⅱ－3 地域の教育力の活用事例（令和3年度）

学校名	各校の代表的な活用事例
市川小	２年生　生活科　「町探検」　地域の様々な事業所の協力を得て
真間小	６年生　図画工作科　生け花教室と花瓶作成
中山小	１～６年生　道徳科　様々な方と触れ合う「ふれあい道徳」
八幡小	６年生　総合的な学習の時間　八幡小の魅力つなぎ隊
国分小	４・５年生　音楽科　音楽科を招いてのお琴教室
大柏小	５年生　「米づくり」　地域の農家の方々
宮田小	３年生　保健指導　「食事と運動」　食事と運動の仕方を改めて見直す
冨貴島小	３～６年生　国語科　書初めを通して表現の楽しさを学ぶ
若宮小	５年生　総合的な学習の時間　伝えたい食文化
国府台小	全学年　国語科　読み聞かせサークル「あめんぼ」による読み聞かせ
平田小	２・３年生　生活・社会科　平田の町歴史さんぽ～地域の方々とともに～
鬼高小	５年生　特別活動　インターネットトラブル防止教室
菅野小	４年生　総合的な学習の時間 みんなで共に生きる～やさしさの輪を広げよう～
行徳小	３年生　総合的な学習の時間 お神輿とお囃子で全力ＥＮＪＯＹ！おみこし集会
信篤小	３～６年生　国語科　日本の伝統を学ぶ ～書初め指導～
稲荷木小	全学年　国語科　「読み聞かせ」　６年生　社会科　「被ばく体験講話」
南行徳小	３・６年生　国語科　高校教諭の書写の指導
鶴指小	３年生　道徳科　助産師さんによる「いのちの授業」
宮久保小	４年生　総合的な学習の時間　福祉教育　車いす体験や白杖体験
二俣小	６年生　外国語　国際交流学習　留学生の母国語や文化に触れて
中国分小	５年生　総合的な学習の時間　お米マイスター
曽谷小	５年生　総合的な学習の時間 稲作指導　地域支援者による校内にあるミニ水田での指導
大町小	６年生　総合的な学習の時間　本物にふれる・感じる体験活動
北方小	５年生　社会科　稲作体験～身近な自然に触れる～
新浜小	２・４年生　体育科　アルティメットを楽しもう
百合台小	４年生　音楽科　「お琴教室」　伝統文化の継承
富美浜小	１年生　国語科　はたらく自動車体験　　生活科　昔遊び体験

学校名	各校の代表的な活用事例
柏井小	全学年　サツマイモ栽培　地域の力を生かし全校で取り組む体験活動
大洲小	委員会活動　花ボランティア　協働の花づくりで心豊かに
幸小	読み聞かせサークルによるパネルシアター　福祉体験「車いすバスケット」
新井小	全学年　国語科　「どんぐりの会」による読み聞かせ
南新浜小	全学年　お話サークル「かるがも」による朝の読み聞かせや業間休みお話会
大野小	３～６年生　国語科　地域の方から学ぶ～書初め練習会～
塩焼小	３～６年生「席書会」～学校・保護者・地域との連携～
稲越小	３年生　社会科、総合的な学習の時間における「梨づくり」
大和田小	６年生　図画工作科　土器づくり　　社会科　租税教室
福栄小	４年生　理科　野鳥観察　　社会科　水育授業　　算数科　珠算教室
妙典小	６年生　総合的な学習の時間　市川市のごみと資源物　江戸川のごみ調査
一中	全学年　音楽科　院内学級での音楽授業
二中	３年生　総合的な学習の時間　進路学習として高校生活についての講演会
三中	２年生　総合的な学習の時間　事業所の方をお招きして話を伺う「職業講話」
四中	総合的な学習の時間　体験講座　職業講演会　エイズ教育講演会
五中	１・２年生　総合的な学習の時間　パラリンピック競技者講演会
六中	思いやりの心を育てる「学習支援実践講座」
七中	２年生　道徳科　学校支援実践講座　地域交流会　オンライン職場体験
八中	全学年　音楽科　合唱コンクール ～地域の教育力を生かして～
下貝塚中	１年生　道徳科　地域の方々との交流を生かした学習　道徳交流会
高谷中	園芸体験活動～地域の方々の力を借りて～「花いっぱい活動」
福栄中	３年生　総合的な学習の時間　「進路講演会」　高校の先生をお招きして
東国分中	１年生　道徳科　人権教育講演会　　保健体育科　学校保健講演会
大洲中	夜間学級　総合的な学習の時間　日本の伝統芸能に触れる「生け花教室」
南行徳中	１年生　総合的な学習の時間　「民話を語りで聴く会」 市川や行徳にまつわる話を地域の方に聴く
妙典中	２年生　総合的な学習の時間　「国際理解教育」～ＳＤＧｓ講演会を通して～
塩浜学園	５年生　塩浜ふるさと防災科　防災学習講演
須和田の丘支援	小学部　音楽科　地域支援者を招いての音楽鑑賞会

Ⅱ－4　市内公立中学校全卒業者の状況

1　進路内訳　（令和４年３月31日現在）

区分	卒業者総数	高校進学者数	純就職	各種学校 訓練校等	その他 自営家事等
男(人)	1,668	1,644	2	1	21
女(人)	1,596	1,583	0	1	12
計(人)	3,264	3,227	2	2	33
率(%)	100	98.9	0.1	0.1	1

2　高校進学内訳（特別支援学校を含む）

区分	高校 進学者数	国・公立高校進学者数					私立高校進学者数				特別支援学校
		全日制				定時 通信 制	全日制			定時 通信 制	
		高専	県内	県外	小計		県内	県外	小計		
男(人)	1,644	8	878	11	897	41	393	214	607	71	28
女(人)	1,583	2	787	14	803	34	394	240	634	100	12
計(人)	3,227	10	1,665	25	1,700	75	787	454	1,241	171	40
率(%)	100	0.3	51.6	0.8	52.7	2.3	24.4	14.1	38.5	5.3	1.2

3　高校進学者の推移

卒業 年度	卒業者 総人数	高校進学者			全日制 進学率	定時 通信制 進学率	高校 進学率
		全日制	定時 通信制	合計			
	（人）	（人）	（人）	（人）	%	%	%
21	2,979	2,793	116	2,909	93.8%	3.9%	97.7%
22	2,693	2,543	49	2,592	94.4%	1.8%	96.2%
23	2,786	2,606	69	2,675	93.5%	2.5%	96.0%
24	3,053	2,911	72	2,983	95.3%	2.4%	97.7%
25	3,099	2,984	71	3,055	96.3%	2.3%	98.6%
26	3,271	3,110	122	3,232	95.1%	3.7%	98.8%
27	3,392	3,225	122	3,347	95.1%	3.6%	98.7%
28	3,336	3,162	140	3,302	94.8%	4.2%	99.0%
29	3,324	3,136	151	3,287	94.3%	4.5%	98.9%
30	3,334	3,109	192	3,301	93.3%	5.8%	99.0%
R1	3,278	3,071	165	3,236	93.7%	5.0%	98.7%
R2	3,023	2,781	213	2,994	92.0%	7.0%	99.0%
R3	3,264	2,981	246	3,227	91.3%	7.5%	98.9%

Ⅱ－5 令和4年度 児童生徒の体位・体力

※平成12年度の欄は新体力テストが導入された年度の翌年度のデータである。

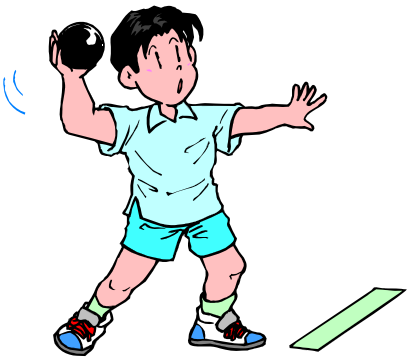
1 学年別体位平均（小学校）

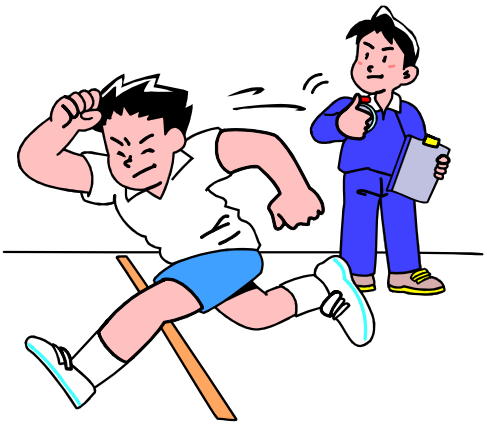
種別	年度	学年	1		2		3	
		性別	男	女	男	女	男	女
身長（cm）	R3	全国	116.9	115.8	122.9	121.9	128.6	127.8
	R3	千葉県	117.0	115.7	122.9	122.1	128.8	128.1
	R3	市川市	117.2	116.1	123.0	122.3	128.9	127.8
	R4	市川市	117.3	116.3	123.4	122.4	128.9	128.4
	H12	市川市	116.8	115.9	122.8	121.6	128.2	127.6
体重（kg）	R3	全国	21.4	20.9	24.1	23.6	27.5	26.6
	R3	千葉県	21.9	21.1	24.5	24.1	27.9	27.0
	R3	市川市	21.7	21.2	24.6	23.9	28.0	26.8
	R4	市川市	21.8	21.4	24.7	24.0	28.0	27.3
	H12	市川市	21.5	21.2	24.5	23.5	27.6	27.0

種別	年度	学年	4		5		6	
		性別	男	女	男	女	男	女
身長（cm）	R3	全国	133.7	134.0	139.3	141.5	145.8	147.4
	R3	千葉県	134.3	134.2	140.0	141.6	146.2	147.9
	R3	市川市	134.1	134.5	139.8	141.0	146.6	147.7
	R4	市川市	134.5	134.5	139.9	141.7	146.5	147.6
	H12	市川市	133.8	133.8	139.4	140.1	145.1	147.0
体重（kg）	R3	全国	30.4	30.1	34.1	34.9	38.7	39.6
	R3	千葉県	31.4	31.0	35.8	36.0	39.7	40.4
	R3	市川市	31.3	30.4	35.2	34.7	39.9	39.9
	R4	市川市	31.7	30.5	35.4	35.0	39.9	40.1
	H12	市川市	31.2	30.8	35.2	34.5	39.3	39.7

2 学年別体位平均（中学校）

種別	年度	学年	1		2		3	
		性別	男	女	男	女	男	女
身長（cm）	R3	全国	154.1	152.4	161.1	154.9	166.2	156.6
	R3	千葉県	154.2	152.4	161.1	155.5	165.8	156.7
	R3	市川市	154.1	152.4	160.6	154.9	166.3	157.2
	R4	市川市	154.5	152.5	161.4	155.2	166.3	156.5
	H12	市川市	153.1	152.3	160.0	155.5	165.8	157.2
体重（kg）	R3	全国	43.9	44.0	49.1	46.5	54.2	49.2
	R3	千葉県	45.8	44.3	50.7	47.9	54.9	50.0
	R3	市川市	45.0	43.9	49.3	46.8	54.6	49.3
	R4	市川市	45.4	44.2	50.0	47.0	54.3	49.1
	H12	市川市	45.2	44.6	50.1	48.4	55.4	50.5





3　学年別体力平均（小学校1年から3年）

種別	年度	学年	1		2		3	
		性別	男	女	男	女	男	女
握力（kg）	R3	全国	9.24	8.71	10.74	10.18	12.73	11.95
	R3	千葉県	9.72	9.17	11.35	10.86	12.97	12.40
	R3	市川市	9.14	8.59	10.54	9.96	12.69	12.01
	R4	市川市	8.67	8.08	10.76	10.13	12.52	11.88
	H12	市川市	8.84	8.11	10.93	10.02	12.65	11.82
上体起こし（回）	R3	全国	12.05	11.56	13.86	13.46	15.73	15.91
	R3	千葉県	12.20	11.96	14.36	14.04	16.24	15.61
	R3	市川市	10.73	10.36	12.84	12.72	15.17	14.90
	R4	市川市	10.61	10.19	13.61	13.12	15.48	14.84
	H12	市川市	10.37	9.48	12.29	11.67	14.75	13.54
長座体前屈（cm）	R3	全国	26.39	28.78	28.61	31.01	30.34	33.91
	R3	千葉県	26.66	29.13	28.66	31.47	30.48	33.77
	R3	市川市	25.06	27.48	27.14	29.60	29.75	32.81
	R4	市川市	26.47	28.17	27.54	30.01	29.43	32.41
	H12	市川市	25.94	27.96	26.92	29.00	29.49	32.28
反復横とび（点）	R3	全国	28.28	27.39	31.65	30.74	34.95	33.75
	R3	千葉県	27.55	26.47	31.16	29.86	34.49	32.92
	R3	市川市	25.67	24.49	28.59	27.32	31.37	30.27
	R4	市川市	25.94	25.08	29.14	28.23	31.75	30.37
	H12	市川市	25.42	24.35	29.18	27.86	33.33	31.64
20mシャトルラン（回）	R3	全国	18.92	15.75	28.40	23.14	36.45	29.13
	R3	千葉県	19.98	16.40	27.66	21.83	32.27	26.26
	R3	市川市	18.07	15.12	25.13	20.41	30.63	24.17
	R4	市川市	17.44	14.80	25.10	20.29	31.76	24.64
	H12	市川市	15.07	13.16	23.56	19.22	32.15	24.66
50m走（秒）	R3	全国	11.33	11.77	10.55	10.89	10.07	10.32
	R3	千葉県	11.19	11.55	10.44	10.83	10.03	10.29
	R3	市川市	11.63	11.97	10.72	11.07	10.20	10.49
	R4	市川市	11.71	12.08	10.70	11.07	10.23	10.55
	H12	市川市	12.01	12.24	11.05	11.25	10.40	10.60
立ち幅跳び（cm）	R3	全国	117.03	108.78	127.19	119.28	136.77	130.53
	R3	千葉県	117.19	109.54	127.24	119.58	135.86	128.28
	R3	市川市	111.98	104.69	122.21	113.29	132.04	124.51
	R4	市川市	111.31	102.47	122.69	114.20	132.74	125.21
	H12	市川市	114.04	104.31	123.55	114.37	137.31	128.42
ソフトボール投げ（m）	R3	全国	8.43	5.70	11.08	7.36	14.74	9.45
	R3	千葉県	8.63	6.00	11.66	7.87	14.45	9.68
	R3	市川市	7.35	5.36	10.24	7.00	13.36	8.84
	R4	市川市	7.38	5.08	10.33	6.99	13.56	8.91
	H12	市川市	8.50	5.42	12.03	7.26	16.13	9.67

4 学年別体力平均（小学校4年から6年）

種別	年度	学年	4		5		6	
		性別	男	女	男	女	男	女
握力（kg）	R3	全国	14.39	13.87	16.90	16.49	19.77	19.53
	R3	千葉県	14.88	14.52	17.40	17.29	21.10	19.72
	R3	市川市	14.21	13.75	16.40	16.06	19.65	19.22
	R4	市川市	14.48	13.74	16.48	16.33	19.82	19.49
	H12	市川市	14.90	13.77	17.30	16.29	20.68	19.76
上体起こし（回）	R3	全国	17.98	17.64	19.94	18.68	21.65	19.66
	R3	千葉県	18.09	17.43	20.42	19.11	22.12	19.69
	R3	市川市	17.58	17.10	18.79	18.15	21.29	19.70
	R4	市川市	17.52	16.77	19.23	18.36	21.51	20.06
	H12	市川市	16.38	15.09	18.31	16.87	20.71	18.40
長座体前屈（cm）	R3	全国	31.78	35.52	33.37	37.30	35.78	40.71
	R3	千葉県	32.81	36.27	35.41	40.11	37.71	42.34
	R3	市川市	30.67	34.87	33.24	37.55	36.45	41.03
	R4	市川市	31.69	35.37	34.19	38.63	36.93	41.85
	H12	市川市	32.36	34.59	34.49	36.70	36.36	39.52
反復横とび（点）	R3	全国	39.43	37.64	42.83	41.00	45.86	43.44
	R3	千葉県	38.13	36.67	43.10	41.22	46.06	42.77
	R3	市川市	35.53	34.09	39.48	38.35	43.73	41.06
	R4	市川市	35.89	33.83	39.49	37.83	44.30	41.84
	H12	市川市	37.12	34.98	40.27	38.04	43.71	41.03
20mシャトルラン（回）	R3	全国	44.27	35.60	52.45	42.33	61.16	47.52
	R3	千葉県	40.17	32.86	50.56	41.14	58.07	44.32
	R3	市川市	37.47	30.92	44.64	35.61	54.06	41.31
	R4	市川市	38.10	30.51	44.59	37.16	53.38	41.35
	H12	市川市	38.34	28.87	45.92	36.39	55.48	43.43
50m走（秒）	R3	全国	9.59	9.91	9.24	9.49	8.84	9.16
	R3	千葉県	9.63	9.83	9.11	9.42	8.65	9.12
	R3	市川市	9.82	10.00	9.42	9.69	8.95	9.23
	R4	市川市	9.79	10.06	9.46	9.58	9.01	9.34
	H12	市川市	9.92	10.16	9.55	9.77	9.03	9.32
立ち幅跳び（cm）	R3	全国	147.73	141.05	155.86	148.36	166.33	155.76
	R3	千葉県	145.25	139.28	157.44	149.38	170.13	155.01
	R3	市川市	139.85	134.89	150.29	142.37	161.76	151.14
	R4	市川市	141.85	133.90	148.46	143.60	161.97	150.16
	H12	市川市	145.88	137.57	155.07	146.26	165.72	155.62
ソフトボール投げ（m）	R3	全国	18.47	11.61	21.75	13.86	25.43	15.97
	R3	千葉県	17.75	11.80	21.28	13.79	25.03	15.49
	R3	市川市	16.29	10.94	19.60	12.50	23.14	14.48
	R4	市川市	16.56	10.75	19.51	12.93	22.89	14.36
	H12	市川市	20.16	11.55	23.56	13.87	28.10	16.09

5 学年別体力平均（中学校）

種別	年度	学年	1		2		3	
		性別	男	女	男	女	男	女
握力（kg）	R3	全国	24.53	21.73	30.39	24.19	34.65	25.73
	R3	千葉県	23.51	20.91	29.10	23.71	33.88	25.46
	R3	市川市	23.13	20.88	28.55	23.32	33.81	25.02
	R4	市川市	24.19	21.37	29.52	23.74	33.97	24.85
	H12	市川市	25.27	22.49	31.40	25.04	37.12	26.71
上体起こし（回）	R3	全国	23.92	20.50	27.31	23.23	28.96	24.55
	R3	千葉県	23.07	20.32	26.21	22.78	28.66	24.41
	R3	市川市	21.73	19.46	24.90	21.71	27.62	23.55
	R4	市川市	22.47	19.24	24.70	21.34	27.54	22.89
	H12	市川市	22.77	18.27	25.50	20.04	27.78	20.66
長座体前屈（cm）	R3	全国	40.98	43.64	44.80	46.65	47.81	49.00
	R3	千葉県	41.14	44.39	46.01	47.61	49.23	50.46
	R3	市川市	39.87	43.17	44.53	46.14	48.57	51.11
	R4	市川市	40.35	43.60	46.04	46.99	48.92	49.41
	H12	市川市	41.97	44.17	46.94	47.31	49.59	49.41
反復横とび（点）	R3	全国	49.69	45.78	53.77	48.31	56.28	49.34
	R3	千葉県	48.06	44.29	51.57	46.40	54.42	47.59
	R3	市川市	45.52	42.65	50.42	45.41	53.62	47.27
	R4	市川市	47.24	43.35	50.32	45.19	53.64	46.26
	H12	市川市	45.83	41.72	48.39	42.28	51.22	42.81
20mシャトルラン（回）	R3	全国	70.58	50.85	86.88	60.46	94.44	60.91
	R3	千葉県	65.68	48.60	79.68	54.07	87.86	56.46
	R3	市川市	63.11	45.81	77.51	52.18	87.04	56.21
	R4	市川市	62.84	44.54	78.79	52.82	86.08	53.51
	H12	市川市	62.95	44.91	77.64	51.28	85.23	52.81
50m走（秒）（秒）	R3	全国	8.38	8.98	7.78	8.66	7.41	8.58
	R3	千葉県	8.46	9.06	7.84	8.74	7.42	8.59
	R3	市川市	8.69	9.26	8.06	8.94	7.60	8.74
	R4	市川市	8.68	9.29	7.99	8.91	7.58	8.82
	H12	市川市	8.72	9.24	8.11	8.97	7.71	8.92
立ち幅跳び（cm）	R3	全国	185.41	167.23	203.80	174.40	216.35	178.61
	R3	千葉県	179.57	161.75	198.27	169.44	213.70	173.64
	R3	市川市	178.67	161.37	198.23	168.29	210.92	171.99
	R4	市川市	180.17	159.87	198.62	168.05	209.98	168.51
	H12	市川市	180.40	162.85	197.75	169.15	215.02	173.29
ハンドボール投げ（m）	R3	全国	18.14	11.92	21.09	13.35	23.54	14.44
	R3	千葉県	16.76	10.87	19.70	12.49	22.53	13.71
	R3	市川市	16.49	10.53	19.66	12.37	22.10	13.51
	R4	市川市	16.43	10.72	19.43	11.84	22.03	12.98
	H12	市川市	18.65	11.94	21.63	13.56	24.18	14.13

Ⅱ－6　令和3年度　学校管理下における災害発生状況

スポーツ振興センター
災害共済給付制度申請状況より

1　学年別発生状況　（単位：人）

区分	学年	男　子	女　子	合　計	比　率
小学校	１年	80	50	130	13.4
	２年	61	67	128	13.2
	３年	101	68	169	17.4
	４年	86	65	151	15.6
	５年	119	82	201	20.7
	６年	114	78	192	19.8
	小計	561	410	971	100.0
中学校	１年	141	93	234	32.2
	２年	161	111	272	37.4
	３年	113	108	221	30.4
	小計	415	312	727	100.0
特別支援学校	小学	0	0	0	0.0
	中学	0	0	0	0.0
	高等	1	1	2	100.0
	小計	1	1	2	100.0
幼稚園	年小	2	2	4	33.3
	年長	2	6	8	66.7
	小計	4	8	12	100.0
総合計		981	731	1,712	100.0

2　災害の種類別発生状況　（単位：人）

区分	種　類	人　数	比　率	区分	種　類	人　数	比　率
小学校	死　亡	0	0.0	幼稚園	死　亡	0	0.0
	骨　折	224	18.0		骨　折	1	8.3
	捻　挫	251	20.2		捻　挫	1	8.3
	脱　臼	16	1.3		脱　臼	0	0.0
	打　撲	212	17.1		打　撲	3	25.0
	挫　傷	217	17.5		挫　傷	3	25.0
	切　傷	21	1.7		切　傷	0	0.0
	裂　傷	14	1.1		裂　傷	1	8.3
	その他	286	23.0		その他	3	25.0
	小　計	1,241			小　計	12	
中学校	死　亡	0	0.0	総合計	死　亡	0	0.0
	骨　折	193	21.3		骨　折	418	19.3
	捻　挫	240	26.4		捻　挫	492	22.7
	脱　臼	5	0.6		脱　臼	21	1.0
	打　撲	111	12.2		打　撲	327	15.1
	挫　傷	108	11.9		挫　傷	328	15.2
	切　傷	4	0.4		切　傷	25	1.2
	裂　傷	2	0.2		裂　傷	17	0.8
	その他	245	27.0		その他	535	24.7
	小　計	908			小　計	2,163	
特別支援学校	死　亡	0	0.0				
	骨　折	0	0.0				
	捻　挫	0	0.0				
	脱　臼	0	0.0				
	打　撲	1	50.0				
	挫　傷	0	0.0				
	切　傷	0	0.0				
	裂　傷	0	0.0				
	その他	1	50.0				
	小　計	2					

Ⅱ－7 学校給食の実施状況

（令和４年４月１日現在）

学校番号	学校名	給食型	給食費(1食) 円	調理方式	給食室面積(㎡)	開設年月	備考
1	市川小	完全Ａ型	263	調理等業務委託方式	195	Ｓ３８．１	
2	真間小	〃	〃	直営方式	250	Ｓ３２．10	
3	中山小	〃	〃	調理等業務委託方式	254	Ｓ３６．５	
4	八幡小	〃	〃	調理等業務委託方式	263	Ｓ３４．11	
5	国分小	〃	〃	調理等業務委託方式	729	Ｓ３６．２	Ｈ２５．４新築
6	大柏小	〃	〃	調理等業務委託方式	324	Ｓ３８．３	
7	宮田小	〃	〃	直営方式	128	Ｓ３６．11	
8	冨貴島小	〃	〃	調理等業務委託方式	290	Ｓ３１．５	
9	若宮小	〃	〃	調理等業務委託方式	291	Ｓ３４．３	
10	国府台小	〃	〃	調理等業務委託方式	336	Ｓ３１．１	
11	平田小	〃	〃	調理等業務委託方式	328	Ｓ２９．12	
12	鬼高小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	Ｓ３６．２	
13	菅野小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	Ｓ３２．10	
14	行徳小	〃	〃	調理等業務委託方式	317	Ｓ３４．７	
15	信篤小	〃	〃	調理等業務委託方式	319	Ｓ３４．５	
16	稲荷木小	〃	〃	調理等業務委託方式	247	Ｓ３６．３	
17	南行徳小	〃	〃	直営方式	300	Ｓ３７．３	
18	鶴指小	〃	〃	調理等業務委託方式	201	Ｓ４２．４	
19	宮久保小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	Ｓ４３．４	
20	二俣小	〃	〃	調理等業務委託方式	316	Ｓ４５．７	
21	中国分小	〃	〃	調理等業務委託方式	252	Ｓ４７．４	
22	曽谷小	〃	〃	調理等業務委託方式	295	Ｓ４８．４	
23	大町小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	Ｓ４９．５	
24	北方小	〃	〃	調理等業務委託方式	338	Ｓ４９．５	
25	新浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	Ｓ５３．１	
26	百合台小	〃	〃	調理等業務委託方式	391	Ｓ５２．４	
27	富美浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	Ｓ５３．５	
28	柏井小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	Ｓ５５．４	
29	大洲小	〃	〃	調理等業務委託方式	330	Ｓ５５．４	
30	幸小	〃	〃	調理等業務委託方式	242	Ｓ５４．４	
31	新井小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	Ｓ５５．４	
32	南新浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	Ｓ５５．４	
33	大野小	〃	〃	調理等業務委託方式	304	Ｓ５５．５	
34	塩焼小	〃	〃	調理等業務委託方式	313	Ｓ５６．４	
35	稲越小	〃	〃	調理等業務委託方式	272	Ｓ５６．４	
37	大和田小	〃	〃	調理等業務委託方式	309	Ｓ５８．３	
38	福栄小	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ６０．４	福栄中調理場(親子方式)
39	妙典小	〃	〃	直営方式	431	Ｈ１１．４	
1	第一中	完全Ａ型	339	調理等業務委託方式	－	Ｓ５２．１	国分小調理場(親子方式)
2	第二中	〃	〃	調理等業務委託方式	288	Ｓ５２．１	
3	第三中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ４４．５	北方小調理場(親子方式)
4	第四中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ４４．６	柏井小調理場(親子方式)
5	第五中	〃	〃	調理等業務委託方式	280	Ｓ３９．１	
6	第六中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ４７．１	大和田小調理場(親子方式)
7	第七中	〃	〃	調理等業務委託方式	476	Ｓ３９．10	Ｈ１６．９新築
8	第八中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ４４．６	平田小調理場(親子方式)
9	下貝塚中	〃	〃	調理等業務委託方式	300	Ｓ５４．４	
10	高谷中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ５４．４	二俣小調理場(親子方式)
11	福栄中	〃	〃	調理等業務委託方式	302	Ｓ５４．５	
12	東国分中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ５５．４	百合台小調理場(親子方式)
13	大洲中	〃	〃	調理等業務委託方式	－	Ｓ５７．４	大洲小調理場(親子方式)
15	南行徳中	〃	〃	調理等業務委託方式	299	Ｓ６０．４	
16	妙典中	〃	〃	調理等業務委託方式	370	Ｓ６３．４	
1	塩浜学園前期	完全Ａ型	263	調理等業務委託方式	306	Ｓ５６．５	
2	塩浜学園後期	〃	339	調理等業務委託方式	－	Ｓ５７．４	
1	須和田の丘小	完全Ａ型	263	調理等業務委託方式	－	Ｓ５６．４	稲越小調理場(親子方式)
2	須和田の丘中	〃	339	直営方式	78	Ｓ３８．２	
	須和田の丘高	〃	〃				

平成28年度より、No.36塩浜小学校は「1 塩浜学園前期」、No.14塩浜中学校は「2 塩浜学園後期」として掲載

Ⅲ　生涯学習関係

Ⅲ－1　社会教育施設等一覧

（令和4年4月1日現在）

施設名	住所	電話	備考（延床面積㎡）
生涯学習センター （メディアパーク市川） 中央図書館 中央こども館 文学ミュージアム 教育センター 少年センター	鬼高１－１－４	 （320）3346 （320）3337 （320）3334 （320）3335 （320）3345	19,647.79
行徳図書館	末広１－１－３１	（358）9011	2,223.00
信篤図書館	高谷１－８－１	（328）8831	912.60
南行徳図書館	相之川１－２－４	（357）4188	360.00
市川駅南口図書館	市川南１－１０－1　３Ｆ	（325）6241	573.03
平田図書室	平田１－２０－１６	（321）2243	256.00
鬼高公民館	鬼高２－１２－２３	（334）2612	424.27
信篤公民館	高谷１－８－１	（327）6807	1,392.91
東部公民館	本北方３－１９－１６	（337）8886	2,633.23
柏井公民館	柏井町２－８４４	（338）2988	630.00
大野公民館	南大野２－３－１９	（339）3400	1,073.03
若宮公民館	若宮２－１５－８	（336）7958	600.00
市川公民館	市川２－３３－２	（321）1171	1,944.41
西部公民館	中国分２－１３－８	（373）8175	2,386.47
市川駅南公民館	大洲４－１８－３	（370）3564	1,689.96
曽谷公民館	曽谷６－２５－５	（372）2871	2,783.82
行徳公民館	末広１－１－３１	（356）0763	3,142.44
本行徳公民館	本行徳１２－８	（359）1351	958.89
幸公民館	幸１－１６－１８	（398）0481	693.64
南行徳公民館	相之川１－３－７	（356）7371	1,986.80
菅野公民館	菅野３－２４－２	（322）7761	477.32
学習交流施設　市本	市川１－１－１	（326）2822	122.24
市川考古博物館	堀之内２－２６－１	（373）2202	1,513.68
市川歴史博物館	堀之内２－２７－１	（373）6351	2,001.57
市川自然博物館	大町２８４	（339）0477	2,052.30
少年自然の家	大町２８０－４	（337）0533	3,730.79

Ⅲ－２ 史跡、文化財一覧

１ 史跡の公有化

（令和４年３月31日現在）

史 跡 名	指定年月日	指定面積	公有化面積	買収金額	買収年度
下総国分尼寺跡	昭42.12.27 平元. 3.29 平14. 9.20	6,615.49㎡	5,584.15㎡	954,547,463 円	昭42～44 平6~8.10.11.15.16 (10年)
姥山貝塚	昭42. 8.17	22,772.81㎡	22,772.81㎡	231,664,810 円	昭43～48(6年)
堀之内貝塚	昭39. 7. 6 昭42. 6.22 昭47. 2. 3	26,789.85㎡	25,738.62㎡	422,319,947 円	昭45～48(4年)
下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	昭42.12.27 平14. 9.20 平22. 8. 5	21,336.85㎡	6,728.18㎡	1,157,381,456 円	昭48.平15.16.17. 23.令2（6年）
曽谷貝塚	昭54.12.22 平21. 7.23 平28. 3. 1	50,216.87㎡	38,455.66㎡	6,164,369,111 円	昭54～平17.19～ 22.24～30 令元. 3 (40年)
計		127,731.87㎡	99,279.42㎡	8,930,282,787 円	8,930,282,787 円

（ ）内は、通算年

２ 史跡の整備

（令和４年３月31日現在）

史 跡 名	環 境 整 備	備 考
堀之内貝塚	昭和48～51、53、55、56、平成 4、 5、27年度、令和元年度、令和2年度 擁壁等崖地整備、巡回路、フェンス、張芝、植樹、ベンチ、説明板、地点表示等 総事業費 56,755,185 円	49～51、56年度 国庫補助事業 32,290,000 円
姥山貝塚	昭和44、46、48、49、52～58年度、平成元、30年度、令和元年度 擁壁等崖地整備、フェンス、張芝、四阿、丸太ベンチ、説明板 標識、案内板、照明灯、園路、正門、通用門、くずかご、吸殻入れ 車止、植栽等 総事業費 187,739,550 円	52～58年度 国庫補助事業 127,500,000 円
下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	昭和50、51年度、平成18、30年度、令和元～３年度 公有地分整備、盛土、整地、張芝、パーゴラ、ベンチ、管理柵、車止 標識、照明灯、説明版等 総事業費 9,517,220 円	現状変更により整備
下総国分尼寺跡	昭和43、44、50、52年度 平成12、13年度 整地、張芝、植樹、ベンチ、管理柵、園路等 総事業費 18,091,000 円	現状変更により整備
曽谷貝塚	昭和56～平成15、17、27～30年度、令和元～３年度 管理柵、看板、張芝、整地、説明板、ベンチ等 総事業費 47,202,203 円	現状変更により整備
計	319,305,158 円	

３ 市内指定文化財数

（令和４年３月31日現在）

種別	有形文化財						天然記念物		史跡	民俗文化財	無形文化財	計
区分	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造物	考古・歴史資料	昆虫	植物				
国指定	2		1	3	4			1	5			16
県指定	2	1	1			1			1		1	7
市指定		3	1	1	16	2	2	3	4	3		35
計	4	4	3	4	20	3	2	4	10	3	1	58

4 指定文化財一覧

（1） 国指定

（令和4年3月31日現在）

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	国宝 （書跡）	立正安国論	1巻	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和27年3月29日	
2	国宝 （書跡）	観心本尊抄 附添状・春日山蒔絵筥	1帖 1巻、1合	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和27年3月29日	
3	重要文化財 （建造物）	法華経寺五重塔	1基	中山2丁目10－1	法華経寺	大正5年5月24日	
4	重要文化財 （建造物）	法華経寺法華堂 附棟札	1棟 5枚	中山2丁目10－1	法華経寺	大正5年5月24日 昭和60年5月18日	
5	重要文化財 （建造物）	法華経寺四足門	1棟	中山2丁目10－1	法華経寺	大正5年5月24日 昭和30年6月22日	
6	重要文化財 （建造物）	法華経寺祖師堂 附棟札	1棟 11枚	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和60年5月18日	
7	重要文化財 （絵画）	絹本著色十六羅漢像	1双	中山2丁目10－1	法華経寺	明治37年2月18日	
8	重要文化財 （絵画）	絹本著色日蓮聖人像	1幅	中山3丁目10－4	浄光院	昭和27年7月19日	
9	重要文化財 （工芸）	刀（無銘伝兼永）	1口		個人所有	昭和30年2月2日	
10	重要文化財 （書跡）	日蓮自筆遺文 附蒔絵聖教箱	56巻、4冊 1帖、3幅、2合	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和42年6月15日 平成5年1月20日	
11	史跡	堀之内貝塚	26，789．85㎡	堀之内2丁目2899　ほか	市川市ほか	昭和39年7月6日 昭和42年6月22日 昭和47年2月3日	一部 追加 指定
12	史跡	姥山貝塚	22，772．81㎡	柏井町1丁目1212　ほか	市川市	昭和42年8月17日	
13	史跡	下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	21，336．85㎡ 2，287．74㎡	国分3丁目1790－1　ほか	市川市ほか	昭和42年12月27日 平成14年9月20日 平成22年8月5日	一部 追加 指定
14	史跡	下総国分尼寺跡	6，615．49㎡	国分4丁目1966－1　ほか	市川市ほか	昭和42年12月27日 平成元年3月29日 平成14年9月20日	一部 追加 指定
15	史跡	曽谷貝塚	50，216．87㎡	曽谷2丁目500－1　ほか	市川市ほか	昭和54年12月22日 平成21年7月23日 平成28年3月1日	一部 追加 指定
16	天然記念物	千本公孫樹	1樹	八幡4丁目2－1	葛飾八幡宮	昭和6年2月20日	

（2） 県指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	有形文化財 （工芸）	梵鐘 （元亨元年在銘）	1口	八幡4丁目2－1	葛飾八幡宮	昭和34年4月24日	
2	無形文化財	茶道　式正織部流		国府台3丁目8－2	織部桔梗会	昭和30年12月15日	
3	史跡	須和田遺跡	7，712㎡	須和田2丁目417ほか 須和田公園	市川市	平成6年2月22日	
4	有形文化財 （彫刻）	木造釈迦如来・多宝如来坐像 附像内納入品	2躯	中山2丁目10－1	法華経寺	平成10年3月20日	
5	有形文化財 （絵画）	絹本著色十羅刹女像	1幅	中山3丁目10－4	浄光院	平成12年2月25日	
6	有形文化財 （絵画）	柴田是真画連句額	1面	菅野1丁目15－2	白幡天神社	平成18年3月14日	
7	有形文化財 （考古資料）	鬼高遺跡出土品	51点	堀之内2丁目26－1 市立市川考古博物館	市川市	令和4年3月8日	

（3） 市指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	有形文化財 （建造物）	常夜灯	1基	本行徳34地先	市川市	昭和35年10月7日	
2	有形文化財 （建造物）	随神門	1棟	八幡4丁目2－1	葛飾八幡宮	昭和35年10月7日	
3	有形文化財 （建造物）	狩野浄天夫妻墓石・供養塔 附狩野浄天骨壺	3基 1個	香取1丁目16－26 市立市川歴史博物館	狩野一廣 市川市	昭和36年2月1日 昭和63年7月5日	
4	有形文化財 （建造物）	元弘の板碑	1基	高石神21－9	泰福寺	昭和36年2月1日	
5	有形文化財 （建造物）	法華経寺黒門 附太田資順筆扁額	1棟 1面	中山4丁目7地先	法華経寺	昭和36年11月9日	
6	有形文化財 （建造物）	本阿弥家分骨墓	3基	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和36年11月9日	
7	有形文化財 （建造物）	明戸古墳石棺	2基	国府台3丁目67－5 里見公園内	市川市	昭和37年6月11日	
8	有形文化財 （建造物）	妙好寺山門	1棟	妙典1丁目11－10	妙好寺	昭和43年2月27日	
9	有形文化財 （建造物）	小笠原政信夫妻供養塔	2基	国府台3丁目10－1	総寧寺	昭和54年4月24日	
10	有形文化財 （建造物）	庚申五層塔	1基	柏井町3丁目654	子安神社	昭和54年4月24日	
11	有形文化財 （建造物）	本阿弥光悦分骨墓	1基	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和54年9月27日	
12	有形文化財 （建造物歴史資料）	真間万葉顕彰碑 附鈴木長頼蔵骨器及び墓誌	3基1個	真間4丁目4－9 真間4丁目6－11 真間4丁目7－23	亀井院 弘法寺 真間史蹟保存会	昭和54年9月27日	
13	有形文化財 （建造物）	鈴近江翁碑	1基	真間4丁目3	亀井院	昭和57年3月10日	
14	有形文化財 （建造物）	徳願寺山門	1棟	本行徳5－22	徳願寺	平成16年3月24日	
15	有形文化財 （建造物）	徳願寺鐘楼	1棟	本行徳5－22	徳願寺	平成16年3月24日	

16	有形文化財 (建造物)	徳願寺経蔵	1棟	本行徳5－22	徳願寺	平成16年3月24日	
17	有形文化財 (彫刻)	木彫日蓮坐像	1躰	柏井1丁目1696	唱行寺	昭和36年9月18日	
18	有形文化財 (彫刻)	浄光寺二王像	1躰	大野町3丁目1917	浄光寺	昭和40年3月2日	
19	有形文化財 (彫刻)	法華経寺銅造釈迦如来坐像	1躰	中山2丁目10－1	法華経寺	平成31年3月13日	
20	有形文化財 (書跡)	光悦筆扁額 附「通本」	3面 1面	中山2丁目10－1	法華経寺	昭和36年11月9日 昭和54年9月27日	
21	有形文化財 (考古資料)	鬼高遺跡出土一括遺物	1括	堀之内2丁目26－1 市立市川考古博物館	市川市	昭和56年4月17日	
22	有形文化財 (工芸)	誕生仏	1躰	堀之内2丁目26－1 市立市川考古博物館	市川市	昭和56年4月17日	
23	有形文化財 (歴史資料)	「ワートル薬性論」版木	8枚	堀之内2丁目27－1 市立市川歴史博物館	市川市	昭和61年11月3日	
24	民俗文化財	御奉謝		大野町4丁目2759	駒形神社お奉謝部	昭和40年3月2日	
25	民俗文化財	国府台辻切り		国府台3丁目 (旧国府台地区)	国府台辻切り 保存会	昭和54年4月24日	
26	民俗文化財	武内宿禰山車人形	1体	市川3丁目20－5	春日神社	平成28年4月15日	
27	史跡	美濃輪台遺跡 －B地点－	1，745㎡	本北方3丁目18	市川市	昭和50年1月8日	
28	史跡	須和田遺跡	5，288㎡	須和田2丁目401ほか 須和田公園	市川市	昭和50年1月8日	
29	史跡	下総総社跡	1，120．5㎡	国府台1丁目6－4 市川市スポーツセンター	市川市	昭和50年1月8日	
30	史跡	鬼高遺跡	2，479㎡	鬼高1丁目95－1	日本毛織(株)	昭和63年7月5日	
31	天然記念物	ヒメアカネ		大町公園自然観察園周辺	市川市	昭和51年6月12日	
32	天然記念物	ヒヌマイトトンボ		河原、稲荷木地先の江戸川 河岸の湿地帯	市川市	昭和51年6月12日	
33	天然記念物	伊弉諾神社ハリギリ	1樹	堀之内4丁目26－13	伊弉諾神社	昭和54年4月24日	
34	天然記念物	愛宕神社イチョウ	2樹	北国分1丁目12－24	愛宕神社	昭和58年11月3日	
35	天然記念物	禅照庵マキ	1樹	北国分4丁目13－24	禅照庵	昭和58年11月3日	

5　登録文化財

（令和4年3月31日現在）

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	登録年月日	備考
1	有形文化財 (建造物)	西洋館倶楽部(渡辺家住宅)	1棟	新田5丁目6－21	個人所有	平成11年7月8日	
2	有形文化財 (建造物)	日本福音ルーテル市川教会会堂	1棟	市川4丁目288－14	宗教法人 日本福音ルーテル教会	平成20年10月23日	
3	有形文化財 (建造物)	加藤家住宅主屋 加藤家住宅煉瓦塀	1棟 1基	本行徳6－1	個人所有	平成22年4月28日	
4	有形文化財 (建造物)	旧浅子神輿店店舗兼主屋	1棟	本行徳37－2	市川市	平成22年9月10日	
5	有形文化財 (建造物)	昭和学院創立記念館	1棟	東菅野2丁目1470－1ほか	学校法人 昭和学院	平成23年1月26日	
6	有形文化財 (建造物)	中村家住宅主屋 中村家住宅離れ 中村家住宅煉瓦蔵 中村家住宅土蔵 中村家住宅北蔵及び事務所 中村家住宅倉庫 中村家住宅稲荷社 中村家住宅防空壕 中村家住宅門及び石塀	1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1基 1基	鬼越2丁目200－1ほか	個人所有	平成26年10月7日	
7	有形文化財 (建造物)	後藤家住宅主屋 後藤家住宅稲荷社	1棟 1棟	新田1丁目296ほか	個人所有	平成29年6月28日	
8	有形文化財 (建造物)	式場隆三郎家住宅	1棟	国府台6丁目2412	個人所有	令和3年10月14日	

令和４年度版　市川市の教育

発 行 日	令和５年３月
編集発行	市川市教育委員会　生涯学習部　教育総務課
住　　所	〒272-8501
	千葉県市川市南八幡２丁目 20 番２号
電　　話	047-334-1111（代表）　047-383-9224（直通）
U　R　L	http://www.city.ichikawa.lg.jp